高調波ガイドライン適合品

取扱説明書

DVD LDプレーヤー

DVL-K88

NTSC

この製品は
リージョンNo. 2 です

パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。

この取扱説明をよくお読みになり、正しくお使いください。特に本書及び別冊の「安全上のご注意」は必ずお読みください。
なお、「取扱説明書」及び「安全上のご注意」は「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。
●業務用には対応していません。

- ❑ **初めに、「ご使用の前に」（6ページ）、「接続のしかた」（68～71ページ）をご覧ください。**
- ❑ **10～13ページをお読みいただければ、再生ができます。**
- ❑ **26～27ページをお読みいただければ、カラオケを楽しむことができます。**

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

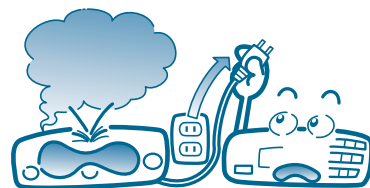
⃠ 記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

安全上のご注意（別冊の「安全上のご注意」もお読みください）

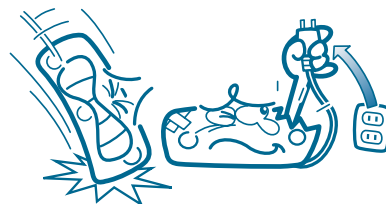
⚠ 警告 ［異常時の処理］

プラグを抜け

●万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

プラグを抜け

●万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜け

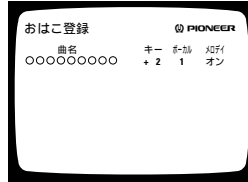
●万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
本書はマークによる機能の説明をしています。

こんなことができます

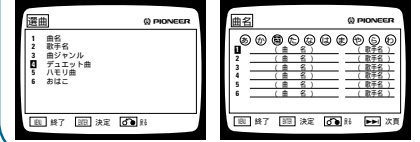
のどじまん

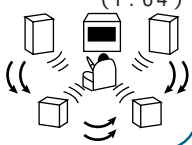
自分の歌を採点してくれる機能です。　（P. 32）

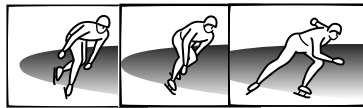
おはこ（得意な曲）登録 *

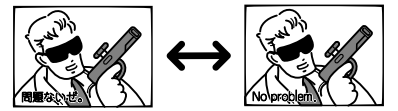
自分の得意な曲を歌う条件と一緒に登録することができます。　（P. 40）

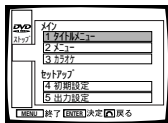
おはこ登録　PIONEER
曲名　キー　ボーカル　メロディ
○○○○○○○○○　+ 2　1　オン

画面選曲検索機能 *

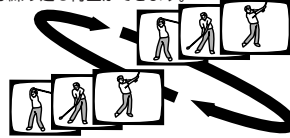
（P. 36）
テキストインフォメーション（曲の文字情報）入りのディスクでディスクに入っている曲を画面に表示させ簡単に選曲することができます。

ドルビーデジタル *

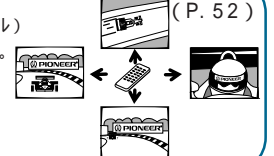
デジタルサラウンドアンプやサラウンドプロセッサーと接続して、5.1ch ドルビーデジタルサラウンド音声を楽しむことができます。　（P. 64）

静止画 *

静止画ができます。　（P. 23）

マルチ言語字幕 *

（P. 52）
映画などで字幕の言語を切り替えて見ることができます。

GUI 操作

パイオニア独自の美しいGUI画面で画面を見ながらリモコンで操作ができます。ディスクにメニューが入っていなくても、プレイヤーの持っているメニュー画面で GUI 操作ができます。　（P. 55）

リピート再生 *

いろいろな繰り返し再生ができます。　（P. 22）

マルチアングル *

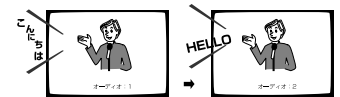
見たいシーン（アングル）を選ぶことができます。　（P. 52）

LD 両面再生 *

（P. 10）
LD では、両面（表面と裏面）を連続して再生できます。

マルチアスペクト *

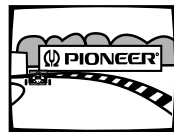
（P. 44）
ふつうの画面、ワイド画面、レターボックス画面の中からお好みの画面を選ぶことができます。

マルチ音声 *

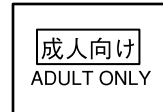
（P. 51）
複数の音声を収録してあるディスクではその音声を切り替えてお楽しみいただけます。

つづき再生（ラストメモリー）*

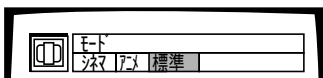
（P. 16）
映画等で途中でやめても次に同じ状態でつづきから見ることができます。

PBC 付きビデオ CD 対応

プレイバックコントロール（PBC）付きビデオ CD（バージョン 2.0）に対応し、ディスクによって 2 種類の再生を楽しむことができます。　（P. 12、P. 18）

パレンタルレベル *

（P. 64）
再生するソフトの視聴制限レベルを選ぶことができます。

成人向け
ADULT ONLY

シネマモード、アニメモード

（P. 46）
映画やアニメに適した画質で見ることができます。

パワーオンデモ表示

パワーオンデモ表示にすると、さまざまな表示がみられます。

パワーオンデモ表示をするには・・・
サビメドレーボタンを押しながら電源スイッチを押してください。デモ表示を解除するには、いずれかのボタンを押してください。

コンディションメモリー

（P. 50）
よく見る DVD の各種設定を記録し、その記録内容を自動的に呼びだします。

- マルチアスペクト
- シネマモード／アニメモード
- マルチ言語字幕
- マルチ音声
- 表示位置

＊ マークはディスクによってできないものもあります。

この製品には、マクロビジョンコーポレーション及びその他の権利者が所有している米国特許の方法クレームその他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、マクロビジョンコーポレーションの許可が必要ですが、家庭及びその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。またリバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

目　次

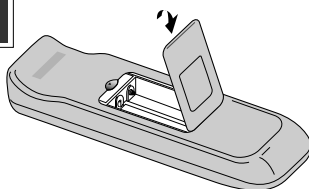
目　次

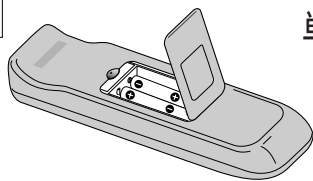
ご使用のまえに

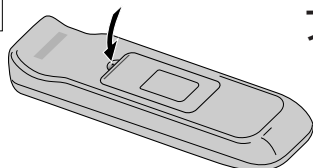
付属品を確認しよう

その他一緒に入っているもの

●保証書
●ご相談窓口・修理窓口のご案内
●取扱説明書（本書）
●安全上のご注意
● DVL-K88 の多彩なカラオケ機能

リモコンに電池を入れる

1 裏ブタを押しながら矢印の方向へ引きます

●フタが開きます。

2 単３形電池を入れる

●乾電池のプラス（＋）とマイナス（－）の向きを乾電池の表示通りに入れてください。

3 フタを閉める

注意！

◆ 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
◆ 乾電池は同じ形状のもので電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
◆ 長い間（1ヵ月以上）使用しないときは、乾電池の液漏れを防ぐために乾電池を取り出してください。
もし、液漏れを起したときは、ケース内についた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れてください。

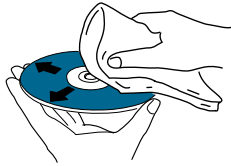
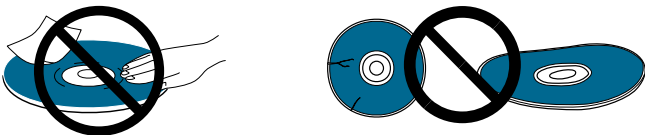
使用上の注意

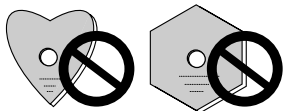
ディスクの取り扱いかた

■保管

●必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
●ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

■ディスクのお手入れ

●ディスクに指紋やホコリが付いた場合、音質や画質が低下することがあります。柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭いてください。

●ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。またレコードスプレー、帯電防止剤などは使用できません。
●ディスクの清掃には別売のディスククリーニングセット（JV-D11）の使用をおすすめします。
●汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。
●損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。
●レーベル面に紙やシールなどを貼付けたり、キズなどをつけないようにしてください。ノリなどがはみ出した場合、ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因になります。**特に、レンタルディスクにおいてはラベルが貼ってある場合が多く、このような故障が起こる恐れがありますので、のりなどのはみ出しを確認してから、ご使用ください。**

特殊な形状のCDは使用しないでください。

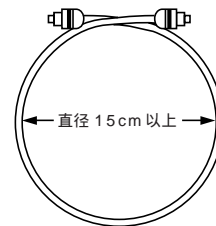
ハートの形など、円形以外の形状のCDは使用しないでください。使用すると故障の原因になります。

レンズクリーナーについて

ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときはアフターサービスの項（81ページ）をお読みの上、清掃をご依頼ください。なお、市販されているCDレンズクリーニングディスクには、レンズを破損する恐れのあるもの、あるいはディスクが取り出せないものがありますのでご注意ください。

結露について

冬期などに本機を寒いところから温かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部やレンズ）に水滴が付きます（結露）。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて1～2時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。
夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

別売りの光ファイバーケーブル取扱上のご注意

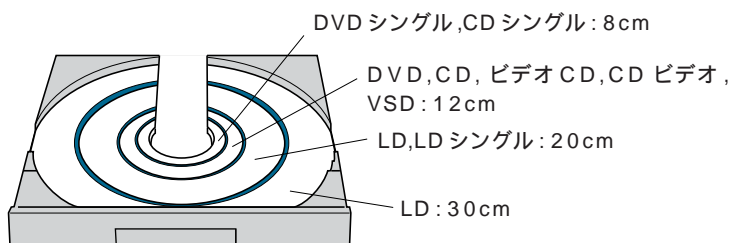
●急な角度に折り曲げないでください。保管するときは、直径が15cm以上になるようにしてください。
●接続の際はしっかり奥まで差し込んでください。
●長さが3m以下のものを使用してください。
●プラグに傷やほこりが付着したときは、柔らかい布で拭いてから接続してください。

本機で再生できるディスクの種類

● 右表に表示されているマークはディスクレーベル、またはジャケットに付いています。
この製品は右表のディスクをアダプター無しで、再生することができます。
● 故障などを防ぐため、8cm アダプター（CD 用）は使わないでください。

この製品は NTSC（日本のテレビ方式）に適合しています。
右表以外のディスクは使用できません。
＊ DVD の再生時間は、1 秒間に 4.7Mbit を転送した場合のものです。

ディスクの持ちかた

	LD	DVD、CD など
両手で持つ場合		
片手で持つ場合		

ディスクテーブル

注 意 ！
◆ このプレーヤーの再生可能地域番号（リージョン No.）は 2 番です。リージョン No. 2 を含まない DVD は再生できません。（79 ページ用語を参照）

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ／再生面		最大再生時間	
DVD ビデオ DVD VIDEO	DVD ビデオ		デジタル音声 デジタル映像 （MPEG 2 方式）	
	12cm/ 片面	1 層	133 分*	
		2 層	242 分*	
	12cm/ 両面	1 層	266 分*	
		2 層	484 分*	
	DVD ビデオ		デジタル音声 デジタル映像 （MPEG 2 方式）	
	8cm/ 片面	1 層	41 分*	
		2 層	75 分*	
	8cm/ 両面	1 層	82 分*	
		2 層	150 分*	
ビデオ CD COMPACT disc DIGITAL VIDEO	VIDEO CD 12cm/ 片面		デジタル音声 デジタル映像 （MPEG 1 方式） 74 分	
	VIDEO CD シングル 8cm/ 片面		デジタル音声 デジタル映像 （MPEG 1 方式） 20 分	
CD COMPACT disc DIGITAL AUDIO	CD 12cm/ 片面		デジタル音声 74 分	
CD グラフィックス GRAPHICS	CD シングル 8cm/ 片面		デジタル音声 20 分	
CDV CD VIDEO	CDV 12cm/ 片面		デジタル音声 20 分 デジタル音声 ＋映像　5 分	
VSD VIDEO SINGLE DISC	VSD 12cm/ 片面		デジタル音声 ＋映像　5 分	
レーザーディスク LASER DISC	LD 30cm/ 両面		CAV	1 時間
			CLV	2 時間
LaserVision	LD 20cm/ 両面		CAV	28 分
			CLV	40 分
LD CD VIDEO LD·G LASER DISC GRAPHICS （LD グラフィックス）	LD シングル 20cm/ 片面		CAV	14 分
			CLV	20 分

上記以外は再生できません。
故障などを防ぐため上記以外は再生しないでください。
（例）　DVD オーディオ、CD-ROM、LD-ROM、DVD-ROM、ハイビジョン LD、シェイプ CD 等

基本操作

LD を再生する

ディスクサイド A/B ボタン　4　3

1　2　5

スタンバイインジケーター

電　源

1

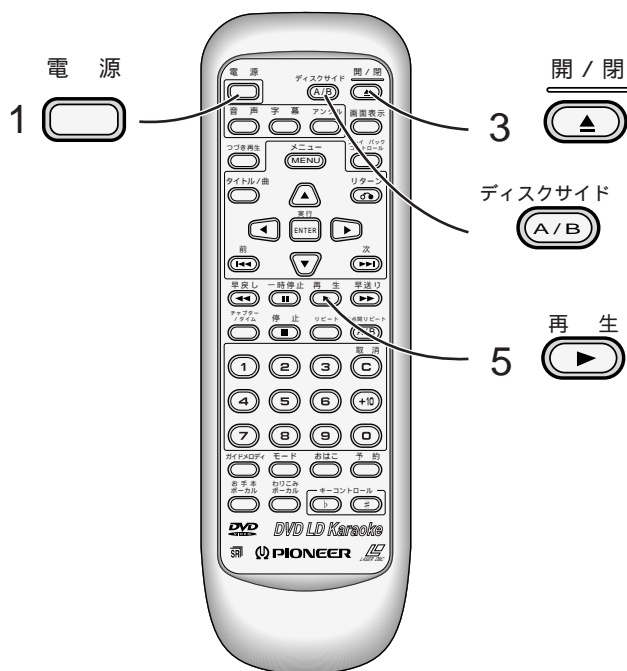
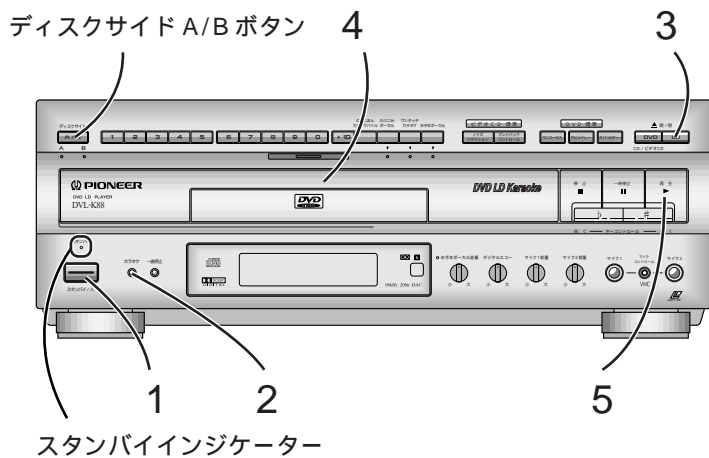
開／閉

3

ディスクサイド

A/B

再　生

5

● この製品は電源を入れたときは“カラオケファンクション（カラオケボタンが点灯）”になります。

注意！

ディスクテーブルのガイドからはずれてディスクをセットしたり、一度に2枚のディスクをセットするとディスクを傷つけたり、本体の故障の原因になります。

1 電源ボタンを押す

● スタンバイインジケーターが消灯します。

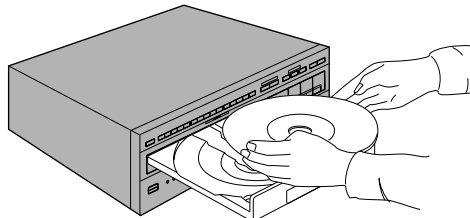
2 映画、音楽ディスクを再生する場合はカラオケボタンを押し“映画／音楽ファンクション”にする

押すたびに切り換わります。

→カラオケファンクション → 映画/音楽ファンクション → 外部入力ファンクション →

3 LD 開／閉ボタンを押す

●ディスクテーブルが出てきます。

4 ディスクを置く

● LD の片面ディスクはレーベル面を上に、両面ディスクは見たいレーベル面を上にして、ディスクテーブルのガイドに合わせて置きます。

5 再生ボタンを押す

●再生が始まります。

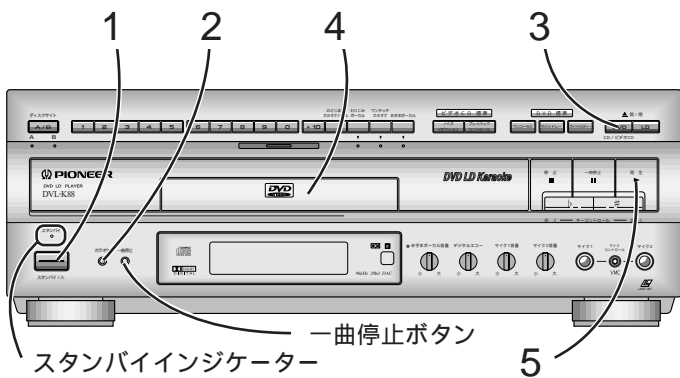
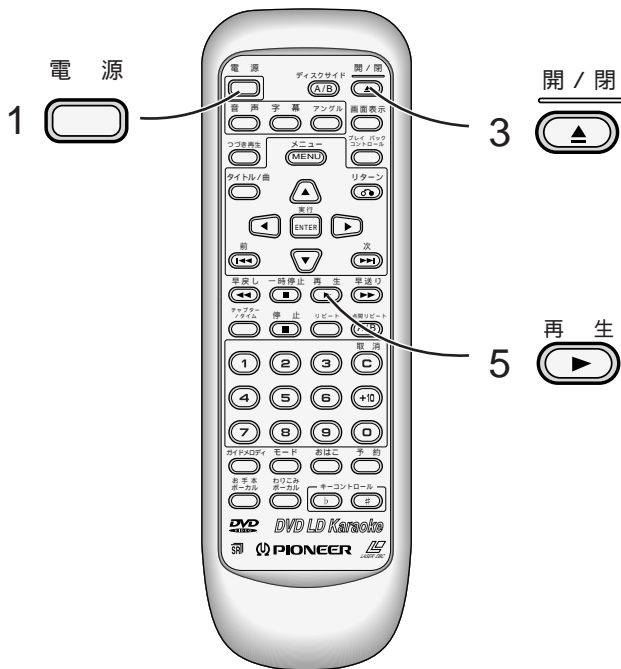
●LD の両面ディスクでは、A 面の最後まで再生すると自動的に B 面に移行し、B 面を再生します。

ポイント

●本体のディスクサイド A/B ボタンを押すたびに A 面、B 面と切り換わり、本体の A 面または B 面のインジケーターが点灯して、現在の再生面を確認できます。

●LD の両面ディスクでは A 面とはディスクテーブルに置いたときの上側をさし、B 面とは下側をさします。ディスク自体に記録された A 面、B 面とは異なります。

DVD/CD/PBC なしのビデオ CD を再生する

PBC（プレイバックコントロール付き）は P.12 をご覧ください。

●操作中に次のマークがテレビ画面にでることがあります。

：この製品自体で禁止している操作をしたとき

：ディスク自体が禁止している操作をしたとき

●DVD では、再生を停止後、メニューなどを使ってタイトルを指定せずに再生したときは、前と同じタイトルを再生します。

●前面の一曲停止ボタンを押してインジケーターを消灯させますと、一曲停止は切（オフ）になり、一曲停止することなく連続して曲を再生することができます。

●カラオケファンクション（前面のカラオケボタンが点灯）ではDVD、CD、ビデオ CD 再生時に接続しているテレビによってはマイク音量により音割れが発生することがあり、これを防ぐためアナログ音声出力を小さくしています。

●以前に再生したディスクの種類や開閉したディスクテーブルの種類により再生を開始する時間が異なることがあります。

1 電源ボタンを押す

●スタンバイインジケーターが消灯します。

2 映画、音楽ディスクを再生する場合はカラオケボタンを押して“映画／音楽ファンクション”にする

カラオケ

押すたびに切り換わります。

カラオケファンクション → 映画/音楽ファンクション → 外部入力ファンクション →

3 DVD ／ CD ／ビデオ CD 開／閉ボタンを押す

▲ 開／閉

DVD　LD

CD／ビデオCD

●ディスクテーブルが出てきます。

4 ディスクを置く

●レーベル面を上にしてディスクのガイドに合わせて置きます。

5 再生ボタンを押す

●再生がはじまります。

●DVD ディスクではメニュー（選択画面）を表示するものもあります。メニューが表示された場合は 18 ページを参照してください。

便利な機能

オートパワーオン機能

●電源が「切」のときに、ディスクテーブルを出したいときは、前面の開／閉（▲）ボタンを押してください。自動的に電源が入り、ディスクテーブルが出てきます。

●ディスクを入れたまま電源を切ったときは、前面の再生（▶）ボタンまたはリモコンの再生（▶）ボタンを押すと、自動的に電源が入り再生を開始します。

注意！

●このプレーヤーの再生可能地域番号（リージョン No.）は 2 番です。リージョン No. 2 を含まない DVD は再生できません。（79 ページ用語を参照）

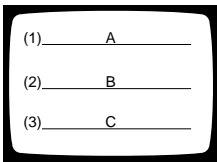
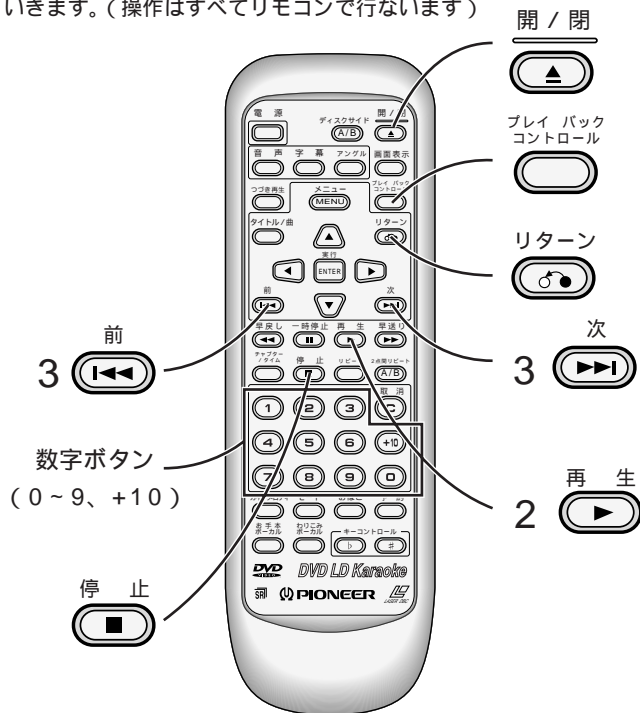
●DVD ビデオ以外の DVD は再生できません。

●この製品は電源を入れたときは“カラオケファンクション（カラオケボタン点灯）”になります。

ビデオCD(プレイバックコントロール付き)を再生する

ビデオCDディスクとは

MDと同等の音質とVHS並みの画質で動画再生を楽しめるディスクです。
デジタル信号の圧縮技術（MPEG方式）により最大74分のデジタル画像と音声が連続再生できます。ビデオCDディスクには再生手順をコントロールするための、プレイバックコントロール（以下PBC）信号が記録されたディスク（バージョン2.0）と記録されていないディスク（バージョン1.1）の2種類があります。

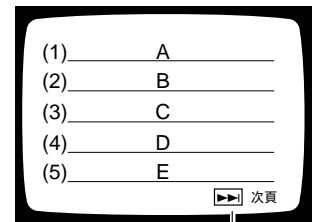
PBCなしのビデオCD （バージョン1.1）	**音声と映像をCDと同じように操作して再生できます。**
PBC付きビデオCD （バージョン2.0） メニュー画面 (1) A (2) B (3) C	●テレビ画面に表示されるメニュー画面を使って簡単な対話形式のソフトや検索機能のあるソフトが再生できます。また高精細または標準の静止画を再生できます。 ●PBCなしの場合と同じように楽しむこともできます。 （リモコンまたは本体のプレイバックコントロールボタンでPBCオフ（切）にしてください。

この製品では数字ボタンと実行（ENTER）ボタン、次（▶▶|）ボタン、前（|◀◀）ボタン、リターン（↶）ボタンを使って、PBC再生を進めていきます。（操作はすべてリモコンで行ないます）

メモ
●本体のノイズリダクションボタンについて
ノイズリダクションの機能はビデオCDのみに働きます。記録状態の悪いディスクのノイズを低減し、クリアーな画面にします。ボタンを押すとボタン自体が点灯し、この機能が働きます。再び押すと消灯し、機能が解除されます。

再生のしかた（PBC付きビデオCD）

1 11ページの手順 1〜4 を行なってください。

2 再生（▶）ボタンを押す

再 生

●プレイバックコントロール付きビデオCDでは、表示窓に PBC と表示され、メニュー画面が表れます。
●メニュー画面はディスクに記録されたものです。ディスクごとに表示は異なります。
例）メニュー画面

さらにメニューがあるとき

3 次のメニューがある場合

次
次（▶▶|）ボタンを押す。

●前のメニュー画面に戻るには

前
前（|◀◀）ボタンを押す。

4 数字ボタンでメニュー画面の数字を選ぶ

●再生がはじまります
例）3を選ぶとき 　10を選ぶとき +10 → 0
21を選ぶとき +10 → +10 → 1

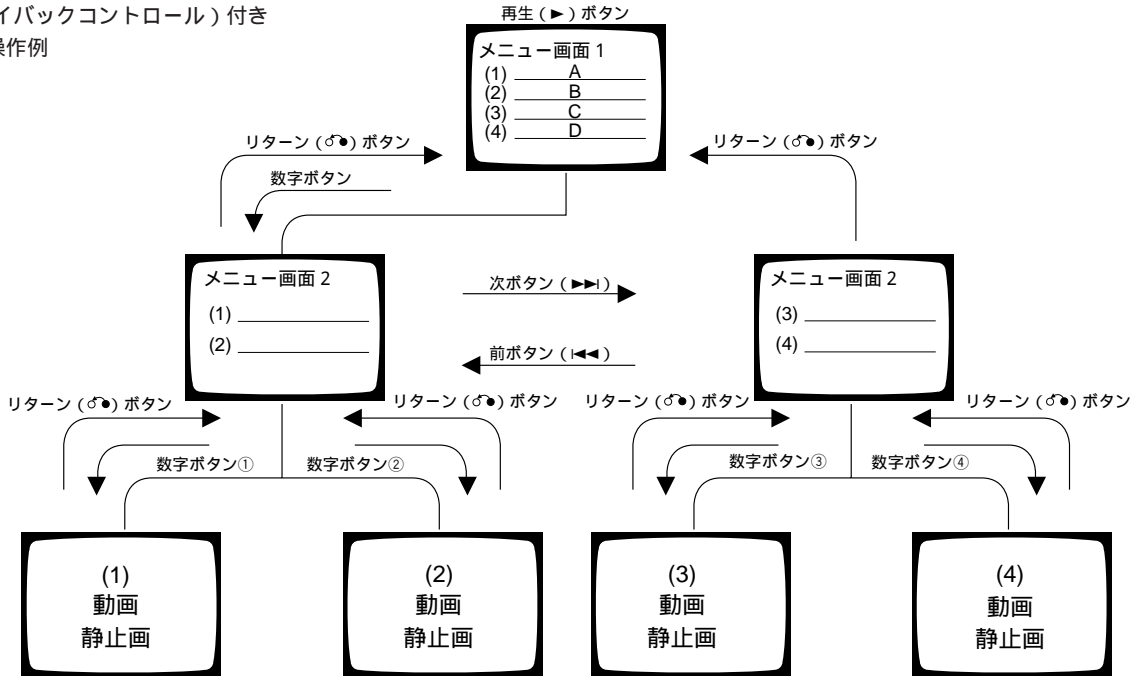
停止するには

停 止
開／閉
プレイ バック コントロール

●停止（■）ボタンを押します。
●開／閉（▲）ボタンを押します。
●プレイバックコントロールボタンを押します。
（この場合、プレイバックコントロールは切（オフ）になり、PBCなしビデオCDを再生するモードになります）
PBCなしのディスクでは、プレイバックコントロールボタンを押しても再生は止まりません。

ビデオ CD（プレイバックコントロール付き）を再生する

実行（▶）、前（|◀◀）、次（▶▶|）、リターン（↺）の各ボタン操作による画面の流れ

PBC（プレイバックコントロール）付き
ディスクの操作例

画面操作をするには

Ⓐ ひとつ前のメニュー画面に戻るにはリターンボタンを押す

● 押すたびにメニュー画面がひとつずつ前に戻ります。これを繰り返すと、最初のメニュー画面に戻ります。

Ⓑ 次のメニュー画面、前の画面に戻るには次（▶▶|）・前（|◀◀）ボタンを押す

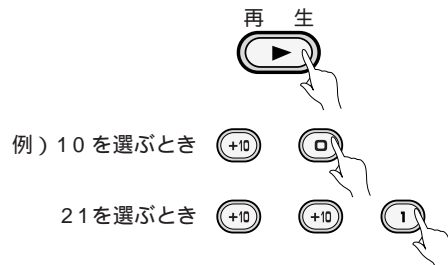
Ⓒ 動画を一時停止（静止）させるには一時停止ボタンを押す

● 解除するにはもう一度一時停止（❚❚）ボタンを押してください。

ビデオ CD ではメニュー画面を出さずに再生することもできます。

① プレイバックコントロールボタンを押す

● 本体前面のプレイバックコントロールボタンのインジケーターが消えます。

② 再生（▶）ボタンを押す または数字ボタンで曲を選ぶ

PBC付きビデオCDを画面操作で再生したときに働かない機能は次のとおりです。（表示窓に PBC　PLAY と表示が点灯しているとき）

●一曲停止 .... (P. 27)
●トラックを進める / 戻す .... (P. 14)
●予約 .... (P. 39)
●繰り返し（リピート） .... (P. 22)

基本操作　応用操作　カラオケ設定　いろいろな設定　準備　その他

チャプター(トラック)を進める／戻す

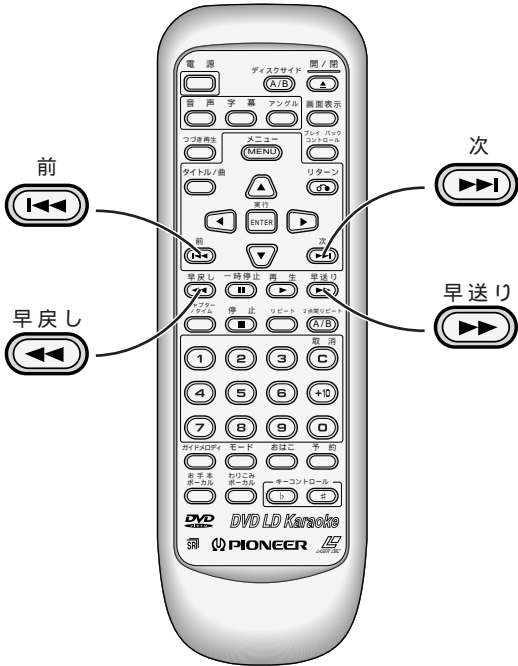
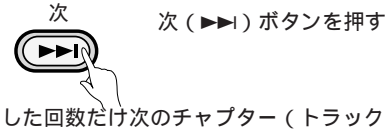
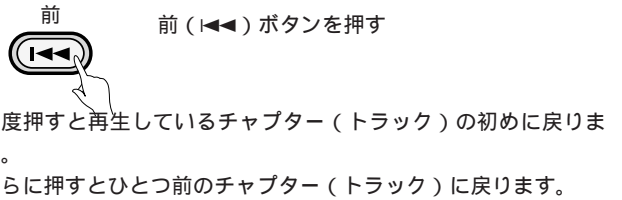
次のチャプター（トラック）へ進むには

次（▶▶I）ボタンを押す

● 押した回数だけ次のチャプター（トラック）に進みます。

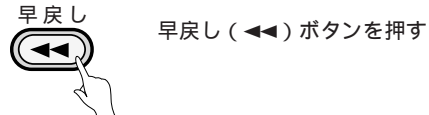
前のチャプター（トラック）に戻るには

前（I◀◀）ボタンを押す

● 一度押すと再生しているチャプター（トラック）の初めに戻ります。
● さらに押すとひとつ前のチャプター（トラック）に戻ります。

目的の場所に早く行くには(早送りするには)

早送り（▶▶）ボタンを押す

目的の場所に早く戻るには(早戻しするには)

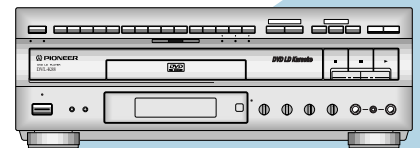
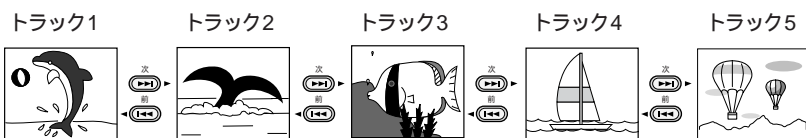
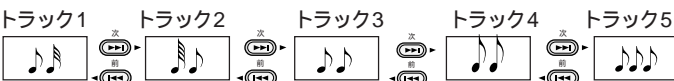
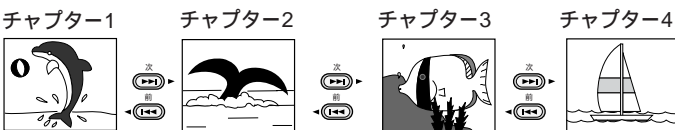
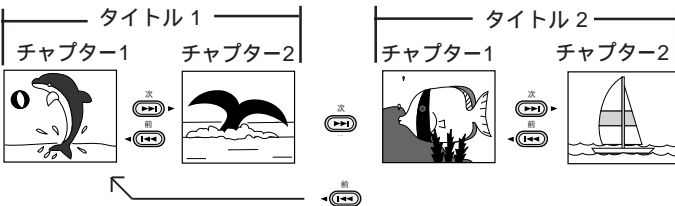
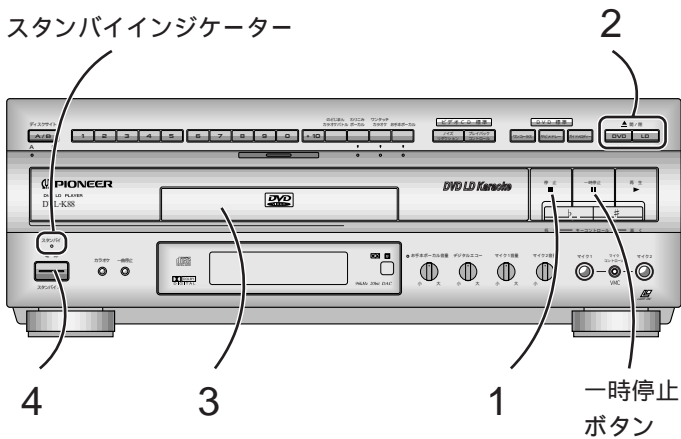
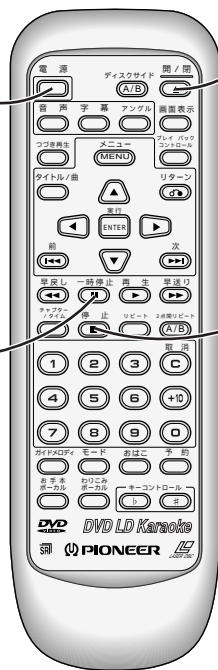
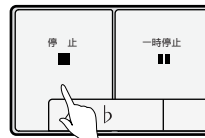
早戻し（◀◀）ボタンを押す

注意！

LD (CLV) ディスクでは早送り（▶▶）や早戻し（◀◀）を行うと一瞬、画面の色が付かないことがあります。

タイトル 1　チャプター1　チャプター2
タイトル 2　チャプター1　チャプター2

チャプター1　チャプター2　チャプター3　チャプター4

トラック1　トラック2　トラック3　トラック4　トラック5

トラック1　トラック2　トラック3　トラック4　トラック5

終了する

1 停止（■）ボタンを押す

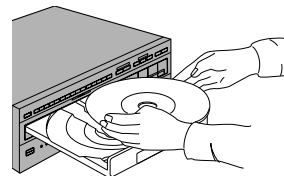
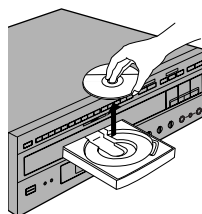
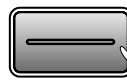
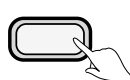
● 再生が終わります

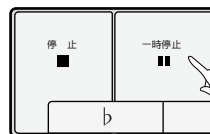
2 開／閉（▲）ボタンを押す

● ディスクテーブルが前面に出てきます。

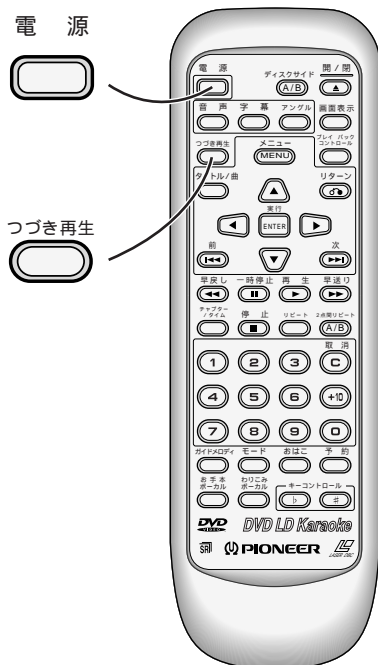
3 ディスクを取り出す

DVD／CDのとき

LDのとき

4 電源ボタンを押す

● ディスクテーブルが閉まり、電源が切れてスタンバイインジケーターが点灯します。

再生を一時止めるには

一時停止ボタンを押す。音が消え表示窓にPAUSEが表示されます。もう一度、一時停止ボタンを押すと、止めたところから再生が始まります。

● DVD、LD（CAVのみ）、ビデオCDでは、静止画（P.23）になります。

メモ DVD、LDでは途中まで見て、ディスクを取り出しても再びディスクをセットすると、前に見た部分のつづきから見ることができます。詳しくは16ページの「つづきから見る」を参照してください。

つづきから見る（つづき再生）

つづきから見る場所を記憶させるとき（ラストメモリー）

1 つづき再生

再生中に“つづき再生ボタン”を押す

● 画面にラストメモリーと表示し、つづき再生を記憶します。

2 電　源　停　止

電源ボタンで電源を切るか停止（■）ボタンで再生を停止する

● DVDの場合は停止してディスクを取り出しても、停止した場所は記憶されています。

つづきから見るとき

1 つづき再生

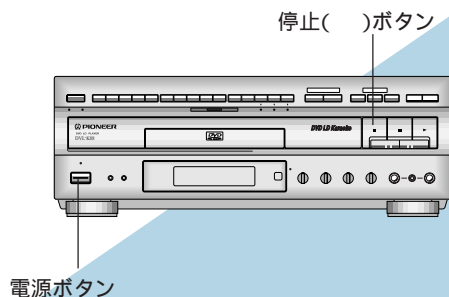
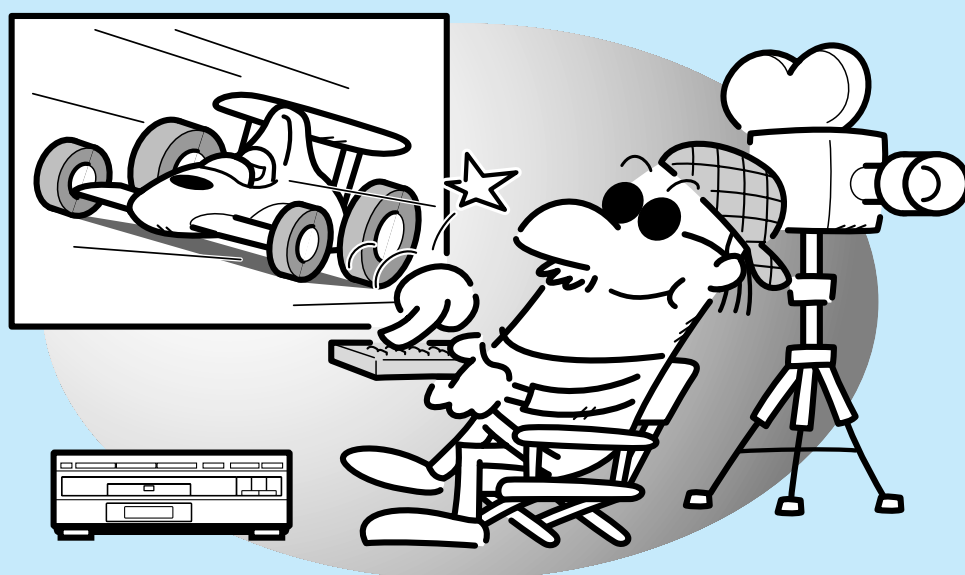
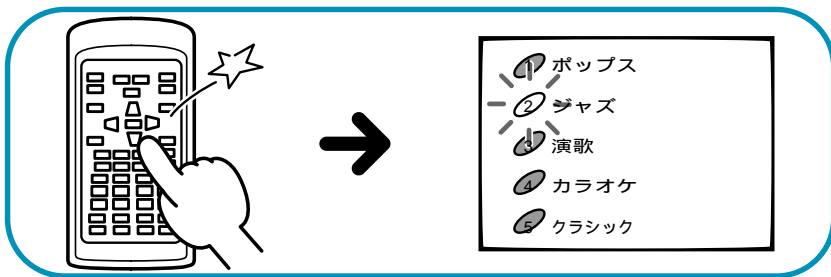
停止中につづき再生ボタンを押す

● DVDではタイトルメニューを表示中でも操作できます。
● 電源が入っていないときに、つづき再生ボタンを押すと電源が自動的に入り、つづき再生を始めます。
● 画面にラストメモリーと表示し、つづき再生を登録した場所の少し手前から再生を始めます。

ポイント

●DVDディスクでのつづき再生は記憶した場所だけではなく、アスペクト・音声・画面表示（ワイド／ノーマル）・アニメモード／シネマモードなどの各種設定も同時に記憶します。
●つづき再生で記憶させたディスクでも、再生（►）ボタンで再生すると、ディスクの始めから再生します。
●つづき再生したディスクは、ラストメモリーが自動的に消去されます。
●DVDディスクではラストメモリー登録ディスクの枚数が5枚を超えたときは古い記憶（一番最初にメモリーしたもの）から消去、上書きされます。
●LD、ビデオCDではディスクを取り出すと記憶した内容は消えます。
●DVDディスクの場合、タイトルによっては機能しないことがあります。

注意！

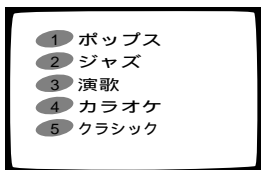
◆本機動作中に、停電や電源コードが抜かれて電源を切ってしまったときは、記憶できません。
◆CDでは、つづき再生はできません。
◆ビデオCDのPBC再生時（P.12）にはつづき再生ができない場合があります。

応用操作

選択画面（メニュー）を選んで再生する

DVD、ビデオCDでは、ディスクによってメニュー（選択画面）機能を持っているものがあります。
本機では、メニューから選んでお好みのタイトルや曲が選べます。

メニューから選んで再生するには

1 再生 ▶ を押す

●メニュー画面が表示されます。メニュー画面は、ディスクに記録されたものです。ディスクごとに異なります。
●プレイバックコントロール付きビデオCD（P.12）では表示窓にPBCと表示されます。

1 ポップス
2 ジャズ
3 演歌
4 カラオケ
5 クラシック

2 たとえば、②ジャズを選ぶときは数字ボタンの ② を押す

●10以上の番号を選ぶ場合は、+10 ボタンを使います。
・10を選ぶとき

・17を選ぶとき

・20を選ぶとき

●選んだタイトルまたは曲を再生します。
●DVDでは、▲・▼で番号を選んで、その後実行 ENTER を押しても選べます。

再生中にメニュー画面に戻るには

DVDのとき

1 タイトル／曲 を押す

2 メニュー MENU を押す

●また、メニュー MENU を押すとタイトル内のメニュー画面になります。

メニュー画面内の操作はメニュー内およびディスクの説明書の指示に従ってください。（P.55〜P.59）

ビデオCDのとき

1 リターン を押す

PBC再生中に リターン を押すとメニューが表示されます。

ポイント

●ビデオCDではメニューを出さずに再生することもできます。本体またはリモコンのプレイバックコントロールボタンを押して“PBC　切（オフ）”にしてください。
●タイトルによってはメニューを使って選択することもできます。この場合は表示が出ているときに メニュー MENU を押してメニュー画面を出し、選択してください。

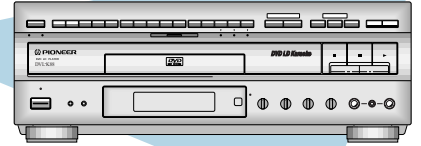
注意！

◆ビデオCDでは、メニューを表示して再生したときは、予約再生、リピート再生、トラック/タイムサーチの機能は働きません。これは、メニューを使ってインタラクティブ（双方向）に操作できるからです。
◆ビデオCDで、PBCがオンの場合にはプレーヤーの動作はディスクによって異なります。詳しくはディスクの取扱説明書をご覧ください。
◆DVDではメニューが表示されない場合があります。

CD LD

LD/CDグラフィックスを再生する

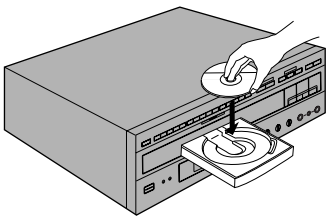
ディスクの記録フォーマットには、映像や音声を記録する場所以外にサブコードという記録場所があります。ここに、映画の台詞や歌の歌詞などの信号を記録しておき、その信号を読み取って画面に映し出すのがグラフィックスです。

LDグラフィックスディスクには LD·G マークが付いています。CDグラフィックスディスクには GRAPHICS マークが付いています。グラフィックスはこれらのディスクを使用したときにお楽しみいただけます。

1 電源 を押す

●スタンバイインジケーターが消灯します。

2 開／閉 を押す

●ディスクテーブルが出てきます。

3 グラフィックス対応のLDまたはCDをセットする

●レーベル面を上にしてディスクテーブルのガイドに合わせて置きます。

4 再生 を押す

●再生が始まります。
●グラフィックスが切（オフ）でもCDグラフィックスディスクを再生すると、自動的にグラフィックス入（オン）になり映像を表示します。

注意！

◆**あれっ？グラフィックス映像が出ない**
LDまたはCDグラフィックスディスクを使用していて、グラフィックスをオンにしてもグラフィックス映像が出ないときは、グラフィックスチャンネルの設定が合っていない、またはグラフィックスの表示位置が合っていないことが考えられます。48、49ページを参照してください。
◆グラフィックスが記録されていないディスクを再生すると、まれに誤ったグラフィックス映像が出ることがありますが、故障ではありません。またグラフィックスが記録されていないディスクを再生するときは、必ずグラフィックスをオフにしてください。

グラフィックスをオンにするには

5 字幕 を押す

●LDの場合

字幕ボタンを押すたびに、次のようにモードが切り換わります。
モード（1または2）を選びます。

切（オフ）→ モード1（00、01チャンネル）→ モード2（02チャンネル）

●CDの場合は次のように切り換わります。

切（オフ）→ 入（オン）

グラフィックスを“オフ”にするには

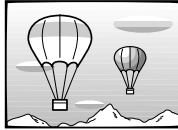
LD：字幕 を押して“オフ”を選ぶ。

CD：グラフィックス“オン”から 字幕 を押す。

メモ
LD/CDグラフィックス対応ディスク再生時に、次の操作をするとグラフィックス映像の文字が欠ける、画面や文字の色が変わることがありますが故障ではありません。しばらくすると、正しいグラフィックス画像になります。
●早送り、早戻し
●一時停止、サーチ
●グラフィックスコントロール画面でグラフィックスをオンにする
●メニューを表示する

基本操作 応用操作 カラオケ設定 いろいろな設定 準備 その他

タイトル1　　タイトル2

見たい場面／聞きたい場所を探す（サーチ）その1

タイトル番号で直接探す（タイトルサーチ）

1 数字ボタンで直接タイトル番号を選ぶ

・タイトルの3を選ぶとき

タイトル 3

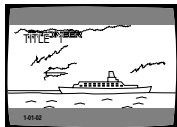
・タイトルの10を選ぶとき

タイトル 10

以下の2つの方法でも探すことができます。

その1

1 タイトル／曲 を押す

●タイトル番号が画面に点滅表示されます。

2 さらに タイトル／曲 を押す

●希望のタイトル番号になるまで押してください。

3 再生 を押す

●指定したタイトルを再生します。

その2

1 タイトル／曲 を押す

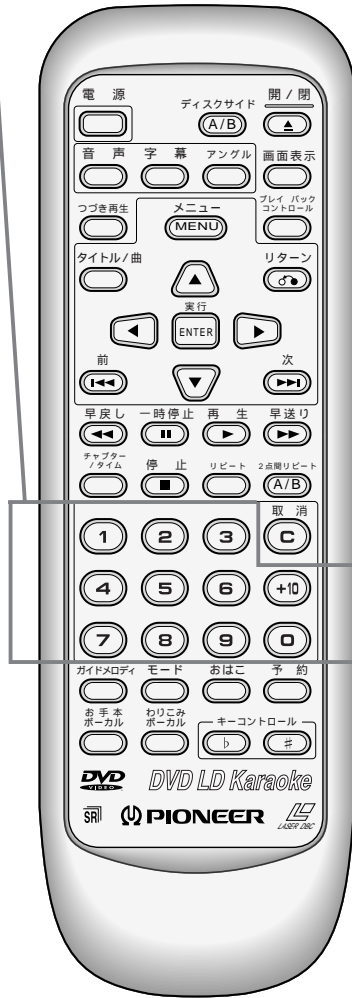
2 数字ボタンでタイトル番号を押す

・タイトルの5を選ぶとき

・タイトルの10を選ぶとき

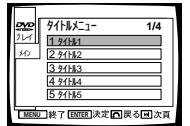
・タイトルの17を選ぶとき

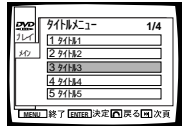
3 再生 を押す

●指定したタイトルを再生します。

メニューで探す

1 タイトル／曲 を押す

2 メニュー を押す

●タイトルのメニューが表示されます。

3 ▲▼ ボタンでタイトル番号を選択

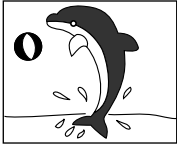
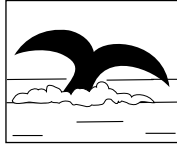
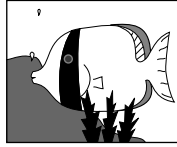
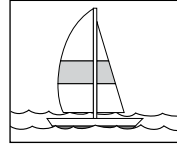
●直接数字ボタンでも選べます。選んだタイトルをすぐに再生します。

4 実行 ENTER を押す

●指定したタイトルを再生します。

注意！

◆タイトルを連続して再生できません。
◆DVDでは、ディスクによりサーチ機能を禁止しているものがあり、その場合マークが出ます。
◆メニューが表示されないディスクもあります。

チャプター1　チャプター2　チャプター3　チャプター4

DVD　CD　LD　Video CD

見たい場面／聞きたい場所を探す（サーチ）その 2

DVD、ビデオ CD はノーマルサーチ、ダイレクトサーチ、タイムサーチの 3 つのサーチができます。
CD は、ダイレクトサーチができます。
LD は、ノーマルサーチ、ダイレクトサーチ、タイム / フレームサーチ（CAV ディスクのみ）の 4 つのサーチができます。

チャプター番号で探す（ノーマルサーチ）

直接数字ボタンで選ぶ

例①チャプター／トラックの 3 を選ぶとき

チャプター　3

例②チャプター／トラックの 17 を選ぶとき

チャプター　17

●DVD では、タイトルサーチになります。（P.20）

チャプター／トラック番号が大きいとき

1 チャプター／タイム **を押す**

●チャプター／トラック番号が点滅します。
●DVD ではタイトルサーチ（P.20）になります。

2 チャプター / トラック番号を数字ボタンで指定する

例①　チャプター／トラックの 31 を選ぶとき

例②　チャプター 187 を選ぶとき

3 再生 **を押す**

●指定したチャプター／トラックを再生します。

注意！

◆CD ではタイムサーチできません。
◆DVD の場合、タイトルによっては機能しないことがあり、その時は画面に マークが出ます。
◆DVD、ビデオ CD のタイムサーチは指定したタイムナンバーより少しずれた位置から再生が始まる場合があります。
◆DVD は停止中のタイムサーチはできません。
◆ビデオ CD の PBC 再生時には上記操作によるサーチはできません。

ポイント

●点滅中のタイトル、チャプター / トラック / タイム / フレームの表示を消すには、取消（C）ボタンを 2 回押してください。
●タイトルによってはメニューを使って選択することもできます。この場合は表示が出ているときに メニュー(MENU) を押してメニュー画面を出し、選択してください。

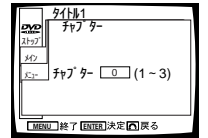
メニューでチャプター番号を探す

DVD のみ操作できます。

1 チャプター／タイム **を押す**

●停止中のときはそのまま **3** へ進んでください。

2 メニュー(MENU) **を押す**

●チャプターのメニューが表示されます。

3 画面の表示に従って選ぶ

●タイトルによってはメニューは表示されない場合があります。この場合は左記の方法で操作します。

時間 / フレームナンバーで探す（タイム / フレームサーチ）

1 チャプター／タイム **を 2 回押す**

チャプター　0　→　タイム　0.00

●チャプターのない DVD、LD の場合は、1 回押すとタイム表示になります。

2 数字ボタンを押して、タイムナンバー／フレームナンバーを指定する

例①：21 分 43 秒の時

例②：フレームナンバー 4321 を選ぶとき

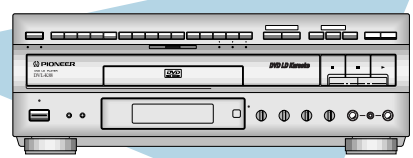
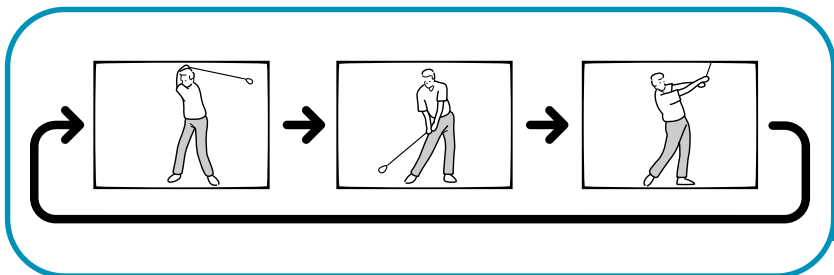
●DVD ではタイトル間をまたがって、時間の選択はできません。

3 再生 **を押す**

●指定したタイムまたはフレームナンバーの画面から再生します。

基本操作　応用操作　カラオケ設定　いろいろな設定　準備　その他

DVD CD LD Video CD

繰り返し見る・聞く（リピート再生）

チャプター / トラックをリピート再生するには

繰り返したいチャプターや曲の再生中に リピート を1回押す

1つのタイトルをリピート再生するには

繰り返したいタイトルの再生中に リピート を2回押す

●DVDではタイトルの終わりまで再生するとタイトルの始めに戻り、繰り返し再生します。
●DVDでは同一タイトル内での繰り返し再生となります。
●CD、ビデオCDでは、ディスク1枚が1つのタイトルなので、全てを繰り返します。
●LDの場合は片面を繰り返します。

LDの両面をリピート再生するには

リピート を3回押す

●A面からB面、B面からA面へと繰り返し再生します。

リピート再生を止めるには

取消 C を押す

●リピートモードは解除されますが、再生はそのまま続きます。
●DVDではタイトルをまたいだ繰り返し再生はできません。

指定した箇所をリピート再生するには

繰り返したい始めと終わりで 2点間リピート A/B を押す

指定した場所に戻るには

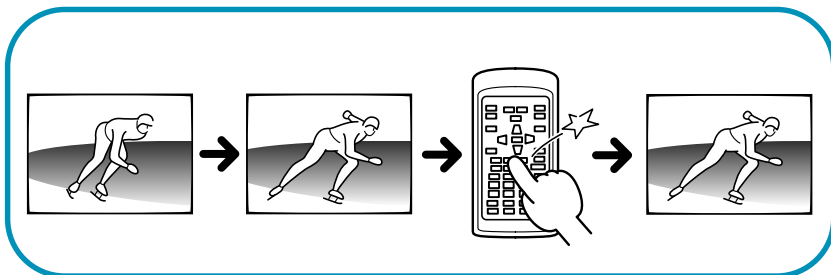
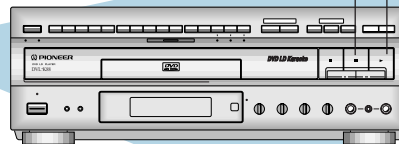
1 希望の場所で 2点間リピート A/B を押す

2 戻りたいところで 再生 ► を押す

●指定した場所を取り消すには、取消 C を押します。

注意！

◆DVDの場合、タイトルによりリピート再生できないときがあります。この場合 マークが画面に出てきます。
◆ビデオCDでは、メニューを表示して再生したとき（PBC再生）は、リピート再生できません。リピート再生するには、本体またはリモコンのプレイバックコントロールボタンを押し“PBC　切（オフ）”にしてください。

静止画にする

静止画再生を見るには（画像を止めて見る）

一時停止（❚❚）を押す

●本体前面でも一時停止（❚❚）ボタンを押します。

静止画を普通の再生に戻すには

再生（►）又は一時停止（❚❚）を押す

●本体前面でも再生（►）ボタンまたは一時停止（❚❚）を押します。

ポイント

LD の場合は CAV ディスクのみはたらきます。

注意！

◆静止画中の音声は聞こえません。
◆ディスクによっては、一時停止できないディスクもあります。その場合は 🚫 マークが画面に出てきます。
◆LDの場合、20分間静止画再生すると自動的に停止になります。

カラオケ操作

基本操作
応用操作
カラオケ設定
いろいろな設定
準備
その他

カラオケを楽しむには

まずは歌ってみましょう!!

1 電源ボタンを押す

● カラオケボタンが点灯し、カラオケファンクションになります。

2 カラオケボタンを押しカラオケファンクションにする

押すたびに切り換わります。

カラオケファンクション → 映画／音楽ファンクション → 外部入力ファンクション

● カラオケボタンが点灯していればこの手順は必要ありません。

3 マイク1音量、マイク2音量つまみを“小”にする

4 マイクをつなぎマイクのスイッチを入れる

5 開／閉ボタン（▲）を押す

●ディスクテーブルが出てきます。

• ディスクを置きます。

DVD、CD、ビデオ CD を置く場合

LD を置く場合

6 開／閉ボタン（▲）を押す

● ディスクテーブルが閉じます。

7 数字ボタンで曲を選ぶ

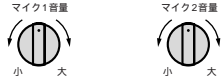
例）3 曲目 ［ ］, 21 曲目 ［ ］［ ］［ ］

リモコンでの操作

（例） 3 曲目 (3)

21 曲目 (+10) → (+10) → (1)

メモ LD用ディスクテーブルを出し入れしたあとや、LD再生後、リモコンの開閉ボタンを押すとLD用ディスクテーブルが出てきます。

8 マイク音量つまみを回してマイクの音量を調整する

● 全体の音量はテレビ、アンプで調整してください。

♪♪ さあ歌いましょう ♪♪

● PBC対応ビデオCD（12ページ）をPBC再生する場合は、手順 1 ～ 6 操作後、再生（►）ボタンを押し、手順 7 の操作をしてください。

ポイント

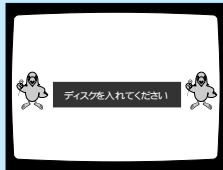
ハウリングについて

スピーカーからの音をマイクが受け、それをスピーカーから出力してという繰り返しにより、「キーン」という音が発生する現象のことです。ハウリングが起きたら、次のように対処してください。

（1）マイクをスピーカーから離す。
（2）マイク音量つまみを左側へ回す。（音量を小さくする）
（3）デジタルエコーつまみ（28ページ）を左側へ回す。（エコーを小さくする。）

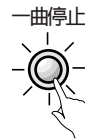
曲間演出について
（DVD、CD、LD、ビデオCDすべてのディスク共通です。）

カラオケモード（前面のカラオケインジケーター点灯）では一曲停止中または停止中にカラオケ鳥が現れて、カラオケのムードを盛り上げます。

ディスクなしの場合

メモ DVDではディスクによってメニュー（選択画面）機能を持っているものがあります。このようなディスクではディスクのメニューにしたがいますので、一曲停止モードにはなりません。
また、曲間演出もありません。

メモ ビデオCDのプレイバックコントロール入（オン）（12ページ）のときは一曲停止モードになりません。

一曲停止について

カラオケファンクション（カラオケインジケーターが点灯中）が選択されているときに、選曲した曲の演奏が終わると一時停止状態になるよう設定されています。
一曲停止ボタンを押す（一曲停止ボタンのインジケーターが消えます。）と曲の再生が終了しても一時停止または停止状態にならずに続けて演奏されます。

一曲停止

一曲停止ボタンを押す

●インジケーターが点灯しているときは一曲停止モードです。
●インジケーターが消灯しているときは連続再生モードです。

メモ 入力切換ファンクションが“標準/映画”と“外部入力”の場合は常に連続再生モードになります。

歌う場所の雰囲気づくり

1 カラオケファンクションで再生中に モード を押し、「カラオケサラウンド」にする

2 ◄ ► で好みの雰囲気を選ぶ

次のように切り換わります。

オフ ↔ スタジオ ↔ ホール ↔ アリーナ

詳細はP.47をご覧ください。

外部接続した機器でカラオケをするには

1 カラオケボタンを押し、外部入力ファンクションにする

押すたびに切り換わります。

→カラオケファンクション → 映画/音楽ファンクション → 外部入力ファンクション →（カラオケファンクションへ戻る）

● カラオケインジケーターが点灯し、表示窓に「AUX」と表示されます。

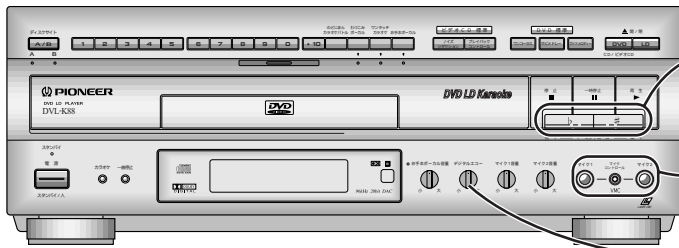
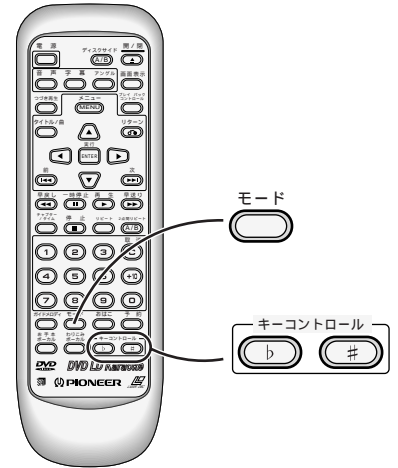
2 マイクをつなぎ、マイクのスイッチを入れる

3 外部接続した機器の再生を始める

4 マイク1、マイク2音量つまみをハウリングしない程度に音量を調整する

♪♪ さあ歌いましょう ♪♪

基本操作 応用操作 カラオケ設定 いろいろな設定 準備 その他

好みの音に調整するには

エコーを調整する

デジタルエコーつまみで調整する

場所によっては、エコーを上げすぎるとハウリング（「キーン」といういやな音）（27ページ参照）がおこる場合があります。

エコーとは･･･
お風呂で歌っているときのような声の響く効果のことです。

演奏の音程を変える

キーコントロールボタンを押す

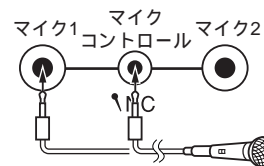
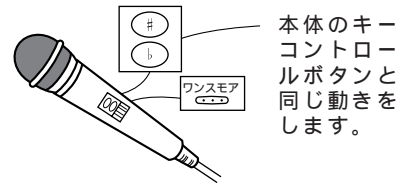
低く―キーコントロール―高く
低く：音程が低くなります。
高く：音程が高くなります。

それぞれ５段階のステップがあります。

ポイント
曲の終わりまで再生した場合、もしくは再生中に停止（■）ボタンを押した場合、キーコンの音程は標準に戻ります。ディスクによっては戻らない場合があります。（DVDディスクメニュー入りの場合）

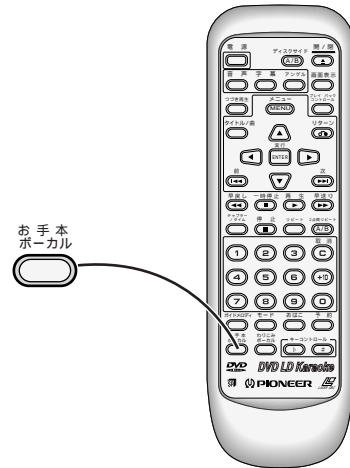
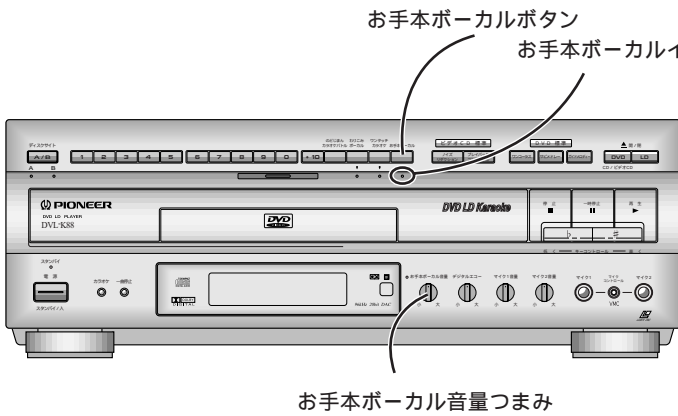
マイクでできる操作

キーコントロールとワンスモアの操作ができます

本体のキーコントロールボタンと同じ動きをします。

- 別売のマイクロホンDM-920またはDM-820等で操作できます。キーコントロールの操作はマイクの取扱説明書をお読みください。
- マイクコントロール端子にジャックをつながないとマイクの操作ボタンは働きません。

ポイント
ワンスモアとは･･･
- 再生中にこのボタンを押すたびに少し前の演奏と映像に戻ることをいいます。
- カラオケの出だし部分で失敗したときや、同じ部分を繰り返し歌うときなどに使います。

ディスクによってはワンスモアを押しても前に戻らないこともあります。

カラオケの練習に便利な機能

お手本ボーカル

音声多重のディスクでお手本の歌手の声が聞けたり、消したりできるのでカラオケの練習に最適です。

<音声多重カラオケレーザディスクの場合>

お手本ボーカルボタンを押す

- お手本ボーカル音量つまみの上のインジケーターが点灯中はこのつまみを回すことによってお手本ボーカルの音量が調整できます。
- オフ（切）にするときは、インジケーターが消えるまで押してください。

ポイント

- お手本ボーカルが右スピーカーから聞こえる。
- カラオケしかでない。
- お手本ボーカルインジケーターが点灯しているのにお手本ボーカルの調整ができない。

このような場合は、お手本ボーカルボタンをもう一度押してください。そうすると、お手本ボーカル音量つまみを使うことができます。

メモ　お手本ボーカルはお手本ボーカルが収録されているディスク（音声多重ディスク）以外のディスクには効果がありませんのでボタンを押さずにご使用ください。

<音声多重カラオケビデオ CD／CD-G／CD／外部入力の場合>

お手本ボーカルボタンを 2 回押す

- お手本ボーカル音量つまみの左上のインジケーターが点灯中はこのつまみを回すことによって、お手本ボーカルの音量が調整できます。
- オフ（切）にするときはもう 1 回押してください。（インジケーターが消えます。）

ポイント

お手本ボーカルボタンはLD（TOC なし音声多重）・CD・CD-G・外部入力・ビデオ CD の場合ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

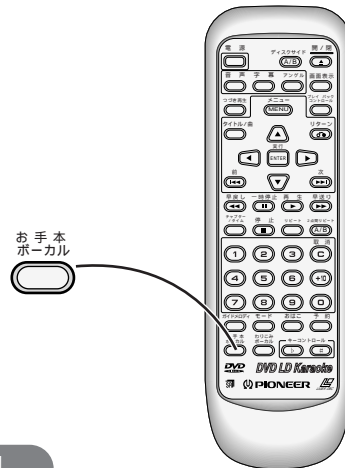
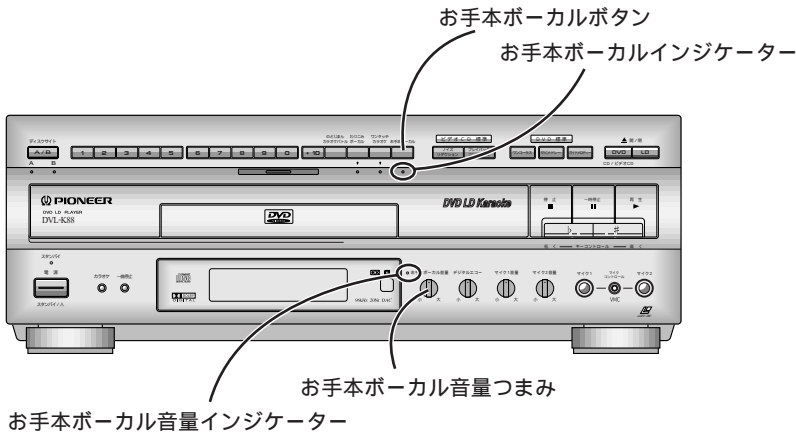
→切（オフ）→ステレオ用→音声多重用

デジタル音声なし及び TOC 入りレーザーディスクの場合ボタンを押すたびに次のように切り換わります。
クイックターン「オン」の場合は、TOC 入りレーザーディスクでも上のように切り換わります。

→切（オフ）→ステレオ用または音声多重用

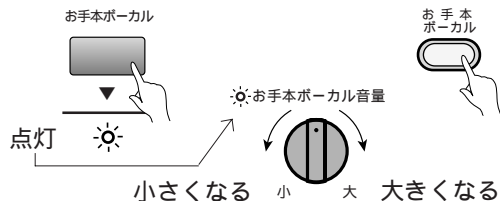
TOC とは？
用語集（P.79）をご覧ください。

基本操作 / 応用操作 / カラオケ設定 / いろいろな設定 / 準備 / その他

カラオケの練習に便利な機能

お手本ボーカル

お手本の歌手の声が聞けたり、消したり出来るのでカラオケの練習に最適です。
パートごとの練習や、１人でデュエット曲を唄う、ハモリパートのみを唄うなどいろいろな楽しみ方を味わえます。
ドルビーデジタル音多対応の DVD カラオケディスクでお楽しみいただけます。

＜ DVD ディスクの場合＞

お手本ボーカルボタンを押す

- お手本ボーカル音量つまみの左上のインジケーターが点灯中はこのつまみでお手本ボーカルの音量が調節することができます。
- お手本ボーカルがひとつしか入っていない曲では、ボタンを押すと、お手本ボーカル１（もしくは２）の入（オン）と切（オフ）が切り換わります。
- お手本ボーカルがふたつ入っているタイトルでは､お手本ボーカル１とお手本ボーカル２が以下のように切り換わります。

お手本ボーカル切換	（画面表示）
①お手本ボーカル１とお手本ボーカル２	（ボーカル 1&2）
②お手本ボーカル１	（ボーカル 1）
③お手本ボーカル２	（ボーカル 2）
④お手本ボーカル１と２の混合	（ボーカルミックス）
切（オフ）	（ボーカルオフ）

メモ
- ①のボーカル 1&2 では、お手本ボーカル１が左チャンネルでお手本ボーカル２が右チャンネルから再生されます。また④のミックスではお手本ボーカル１、２ともモノラルで再生されます。

デュエットをする

デュエット機能

DVDディスクの マークがついた曲でお楽しみいただけます。

デュエットソング
ボーカル2

例えば
　お手本ボーカル１に男性ボーカル
　お手本ボーカル２に女性ボーカル
が入った曲なら
　ボーカル１を選べば「男性ボーカルとのデュエット」
　ボーカル２を選べば「女性ボーカルとのデュエット」
を楽しむことができます。

ハモリカラオケを楽しむ

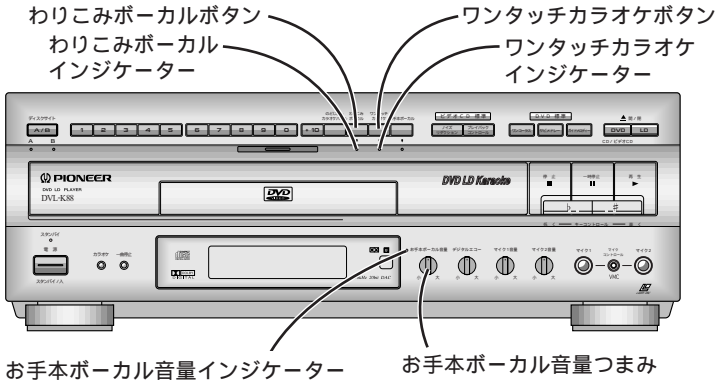
ハモリ機能

DVDディスクの♪マークのついた曲でお楽しみいただけます。

ハモリソング
ボーカル2

例えば
　お手本ボーカル１にメロディのボーカル
　お手本ボーカル２にハモリのボーカル
が入った曲なら、ボーカル２を選べば
メロディのボーカルが消えてハモリカラオケを楽しむことができます。

- それぞれのマークのない曲でもこれらの機能が使用できる場合もあります。

カラオケの練習に便利な機能

わりこみボーカル

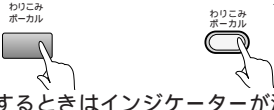
マイクで歌うと歌手の声が消え、歌をやめると歌手の声がでてきます。覚えたての歌の練習をするときやデュエットの歌を１人で練習するときに最適です。

< DVD・LD（TOC 入り）・アナログ音声のみの LD の場合>

わりこみボーカルボタンを押す

● オフ（切）にするときは、インジケーターが消えるまで押してください。

<音声多重カラオケのビデオ CD ／ CD-G ／ CD ／外部入力のテープの場合>

わりこみボーカルボタンを 2 回押す

● オフ（切）にするときはインジケーターが消えるまで押してください。

メモ　ディスク・テープによっては歌っても歌手の声があまり小さくならない場合があります。

ポイント

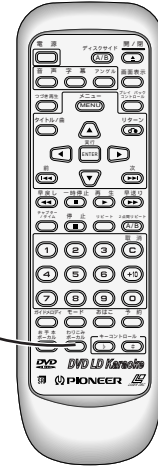
●お手本ボーカル音量インジケーターが点灯中は、お手本ボーカル音量つまみが使用できます。

●わりこみボーカルボタン、ワンタッチカラオケボタンは、LD（TOC なし音声多重）・CD・CD-G・外部入力・ビデオ CD の場合ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

切（オフ）→ステレオ用→音声多重用

●デジタル音声なしおよび TOC 入りレーザーディスクの場合ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

切（オフ）→ステレオ用または音声多重用

●DVD の場合はワンタッチお手本ボーカルで選択されたお手本ボーカルに対して、わりこみボーカル機能が働きます。

ワンタッチカラオケ

DVD、LD や CD、テープに収められている歌手の声を小さくして、簡単にカラオケ風ソフトとして楽しめます。音多カラオケの CD、CD-G、ビデオ CD、外部入力でカラオケのみで歌いたいときにもお使いください。

< DVD ／ LD の場合>

ワンタッチカラオケボタンを押す

● オフ（切）にするときはインジケーターが消えるまで押してください。

<ビデオ CD ／ CD-G ／ CD ／外部入力のテープの場合>

ワンタッチカラオケボタンを押す

ワンタッチ
カラオケ

ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

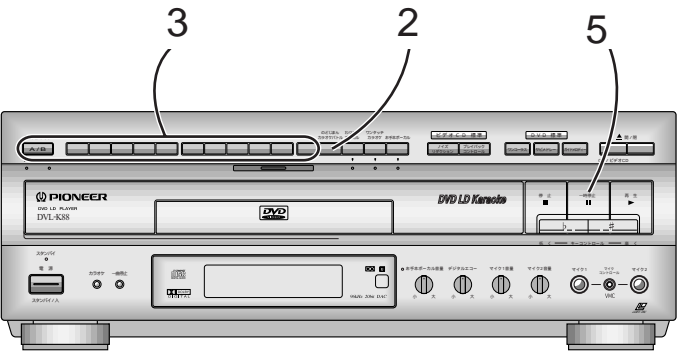
● オフ（切）するときはインジケーターが消えるまで押してください。

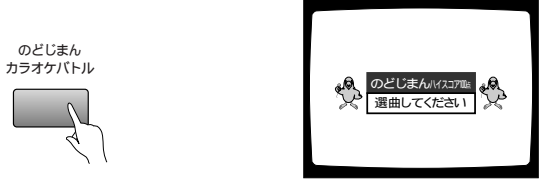
メモ　ディスク・テープによってはあまり効果がない場合があります。

ポイント

カラオケディスク・テープで右チャンネルからお手本ボーカルが聞こえるとき（音声多重カラオケディスクテープ）はワンタッチカラオケボタンを **2 回**押してください。お手本ボーカルを消すことができます。

自分の歌を採点するには（のどじまん）

通常の CD（音声多重でないもの）でも採点機能（のどじまん／カラオケバトル）を楽しめます。

1 （26 ページ）の手順 1 ～ 6 でディスクをセットする

2 のどじまん・カラオケバトルボタンを 1 回押す

3 数字ボタン、ディスクサイド A／B ボタン（LD のみ）で歌う曲の番号を選びます

本体（例）　5 曲目　5

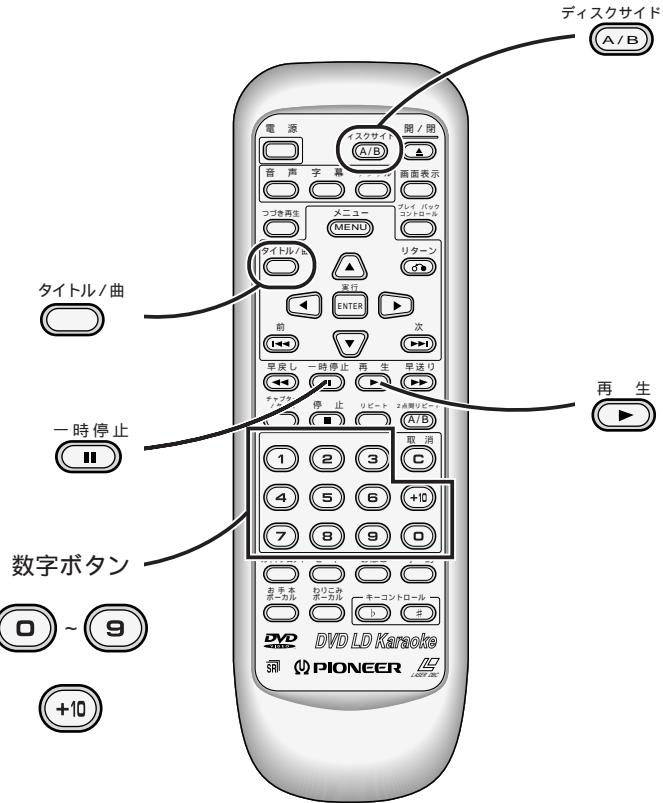
リモコン　10 曲目　+10 0

　　　　　17 曲目　+10 7

リモコン（例）DVD は次のような方法でも選曲できます。

5 曲目　タイトル／曲 → 5 → 再生

10 曲目　タイトル／曲 → 1 → 0 → 再生

17 曲目　タイトル／曲 → 1 → 7 → 再生

♪♪ さあ歌いましょう ♪♪

（歌いたい曲が再生されています）

4 しばらく歌うとテレビ画面に再生画とともにカラオケ鳥と " のどじまん採点中 " と表示します

メモ　LD、CD-G では表示されているカラオケ鳥、得点等は白黒表示になります。

自分の歌を採点するには（のどじまん）

音程が模範歌唱と合っているとき

歌っていないとき

音程が合っていないとき

それぞれに応じてカラオケ鳥が表情を変えます。

5 曲が終わってから一時停止（II）ボタンを押すと、点数が表示されます

● 曲の途中でも一時停止（II）ボタンを押すと点数を表示します。

一時停止（II）ボタンを押さないと採点は継続されます。曲が終わったら、必ず一時停止（II）ボタンを押してください。

ハイスコアを更新すると拍手がなります。

数秒後に手順2の状態に戻ります。再び手順3～5を行うことができます。

どのように採点するのか？

マイク入力から入るあなたの声とディスクに記録されている歌唱（ボーカル）とを比較して採点します。

メモ

ディスクにボーカルが入っていないものは正確な採点ができません。
点数に応じて鐘が鳴ります。
（59 点以下では鳴りません。）

6 通常のカラオケモードにするには・・・

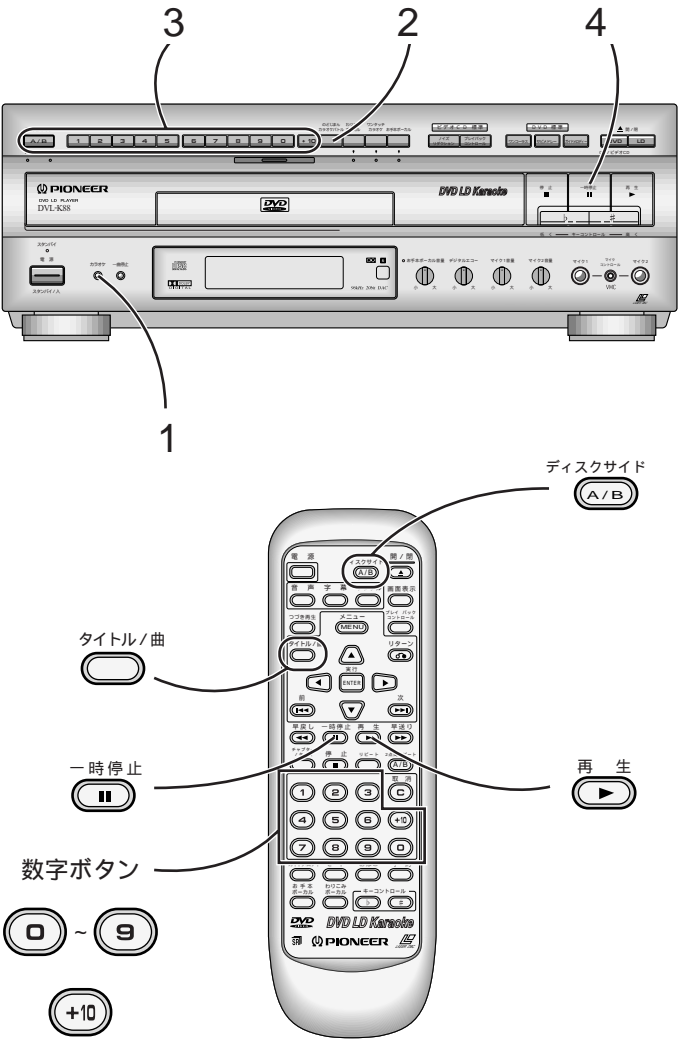
● 本体の「のどじまんカラオケバトル」ボタンを押し“ オフ ”を選ぶ

→ のどじまん →カラオケバトル →オフ

●点数を表示しているときは、再生、スキップ、早送り、早戻しは働きません。
●DVD ディスクでは音声がモノラルになります。
お手本ボーカル１とお手本ボーカル２を選んでいるときも、両方の音がまざって左右のスピーカーから聞こえます。

●カラオケファンクションのときのみ働きます。
●ディスクの種類または曲によってカラオケディスクでも歌唱の音程検出が正確にできないものがあり、高い点が出にくい場合がありますが故障ではありません。
歌のないところ（前奏、間奏など）で歌うと採点の対象となり正確な点数がでません。
逆に歌のあるところで歌わなくても減点の対象とはなりません。
●グラフィックス対応ディスクでのどじまん、カラオケバトルをするとディスクによっては、グラフィックス映像と画面表示が重なる場合があります。
LD、CD-G では表示されるカラオケ鳥、得点等は白黒表示になります。
●使用するテレビがプロジェクションテレビの場合はのどじまん、カラオケバトルでの長時間放置は避けてください。
内部のブラウン管に画像焼き付けが発生することがあります。
●のどじまん、カラオケバトル中は、サラウンド機能は使えません。

2人の歌を同時に採点するには(カラオケバトル)

通常のCD(音声多重でないもの)でも採点機能(のどじまん／カラオケバトル)が楽しめます。

1 (26ページ)の手順1〜6でディスクをセットする

2 のどじまん・カラオケバトルボタンを2回押す

押すたびに切り換わります。

→のどじまん →カラオケバトル →オフ

3 数字ボタン、ディスクサイドボタン(LDのみ)で歌う曲の番号を選ぶ

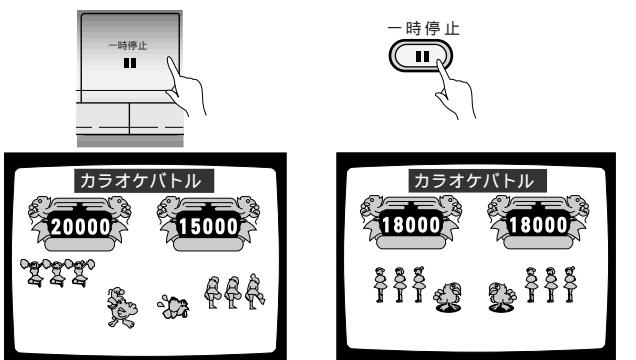
♪♪ さあ、2人で歌いましょう ♪♪

再生がはじまります。(カラオケバトルの開始です。)

しばらく歌うとテレビ画面に再生画とともにカラオケ鳥と点数が表示されます

持点は5,000点から始まり100点ごとに加算または減算されます。

メモ LD、CD-Gでは表示されるカラオケ鳥、得点等は白黒表示になります。

4 一時停止(II)ボタンを押すと左右の得点ボードに点数が表示されます

勝った方のカラオケ鳥とチアガールは喜び、負けた方はくやしがります。

同点のときは両方のカラオケ鳥が首をかしげ、両方のチアガールが拍手をします。

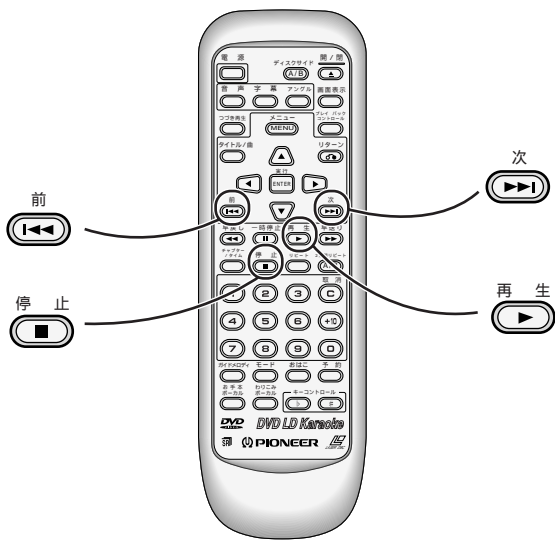
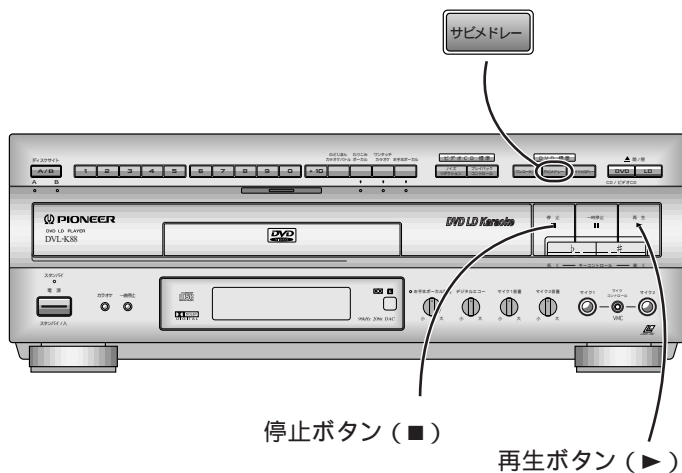
通常のカラオケモードにするには・・・

● 本体の「のどじまん・カラオケバトル」ボタンを押し“オフ”を選ぶ。

ポイント

一時停止(II)ボタンを押さないと採点は継続されます。曲が終わったら、必ず一時停止(II)ボタンを押してください。

曲の“サビ”部分だけを次々と再生する（サビメドレー）

曲のサビ部分だけを次々と再生するので、歌いたい曲をさがしたり、メドレーカラオケを練習するのに便利です。サビマークがディスクジャケットに表示されているＤＶＤディスクでお楽しみいただけます。（マークがないディスクでもお楽しみいただける場合があります。）

ポイント

●サビの終わりの部分はだんだん音が小さくなって終了します。
●サビメドレー終了後に再生（►）ボタンを押すと、最後にサビを再生した曲を再生します。

ディスクをセットし、サビメドレーボタンを押します

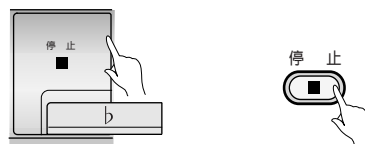
ディスクの一曲目から順番に曲のサビ（一番盛り上がる部分）だけを再生します。

サビ部分を飛ばすには・・・・

前、次ボタンを押します

● 次（►►I）ボタンを押すと次の曲のサビ部分に飛びます
● 前（I◄◄）ボタンを押すと演奏中の曲のサビ部分の頭に戻ります。もう一度前（I◄◄）ボタンを押すと、前の曲のサビ部分に戻ります。

終了するには・・・・

停止（■）ボタンを押します

歌いたい曲を最初から再生するには・・・

● サビメドレー中に再生（►）ボタンを押すと再生中の曲の最初（頭）から演奏を開始しサビメドレーは解除されます。

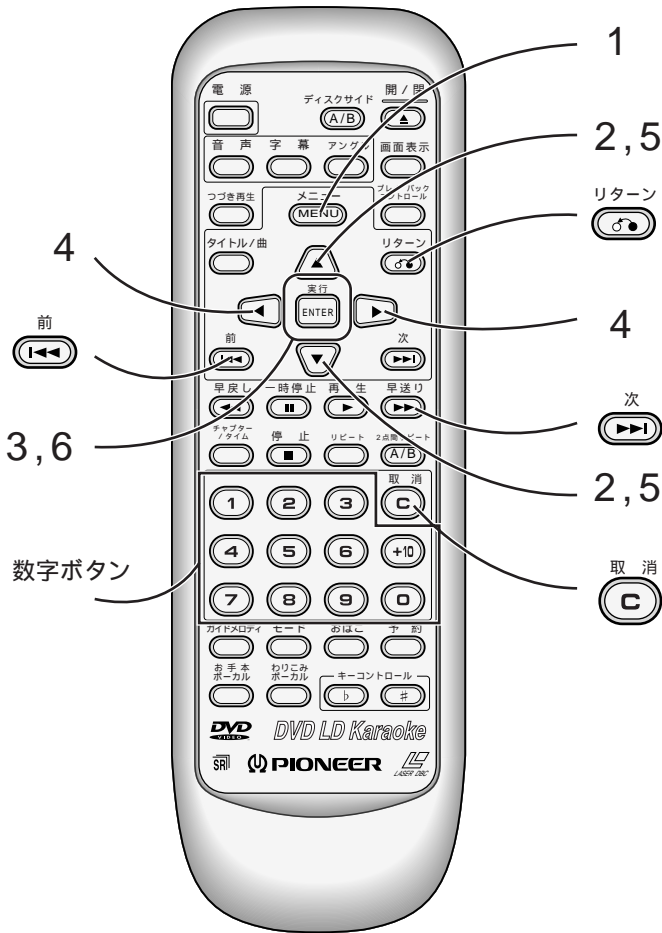
選曲メニュー画面で曲を選ぶ（画面選曲検索機能）

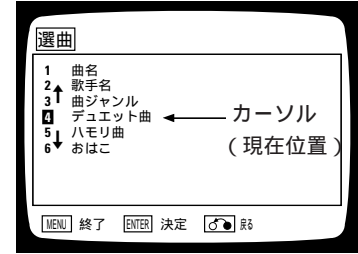
＜ＤＶＤディスクでテキストインフォメーション(曲の文字情報）入りのディスクのみの機能＞
ディスクに入っている曲を画面に表示させ簡単に選曲することができます。

メモ

●**前面のカラオケボタンを押し、インジケーターを点灯させた時のみはたらきます。**
●ディスクによっては、文字情報入りであっても選曲メニューで選曲できないことがあります。

ポイント

●ディスクトレイにセットしてあるディスクのみの情報です。ディスクを交換すると、前のディスクの情報は消去され、あらたに交換したディスクの情報が表示されます。
●ディスク再生中は選曲メニューの文字が画面に上書きされて、同じように選曲できます。
その時にリモコンのカラオケ関連のボタンでいくつか機能しないものがありますが、**メニューボタン**を押して選曲メニューを消すと再び機能するようになります。

1 ディスクをセットし、停止状態でメニューボタンを押す

選曲メニュー画面が表示されます。

2 ▲ ▼ ボタンで選曲項目の数字を選ぶ

例：「1　曲名」を選んでみます。

●数字ボタンの“ １ ”を押しても選ぶことができます。
（この場合手順 3 の実行（ENTER）ボタンを押す必要はありません。）

3 実行（ENTER）ボタンを押す

実行 ENTER

4 曲名選曲の画面になります

◀ ▶ ボタンで曲名の“ はじめのことば ”を選ぶ

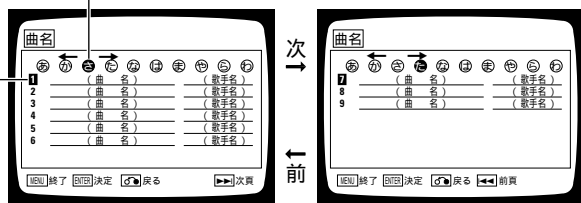
●“ あかさたなはまやらわ ”のいずれかの“ 行 ”に合わせます。

選曲メニュー画面で曲を選ぶ（画面選曲検索機能）

5 ▲▼ボタンで歌いたい曲番号へカーソルを移動する

曲名のページが2ページ以上にわたるときは・・・

- カーソルが一番下（下図参照）からさらに▼ボタンを押すと、次ページへ進みます。また次ページの一番上（下図参照）からさらに▲ボタンを押すと前ページへ戻ります。
- 次（▶▶|）ボタンでも次ページへ進みます。
- 前（|◀◀）ボタンでも前ページへ戻ります。

カーソル（現在位置）

- 数字ボタン（0〜9、＋10）で数字を押しても選ぶことができます。

6 実行（ENTER）ボタンを押す

再生が始まります

♪♪ さあ歌いましょう ♪♪

⬇

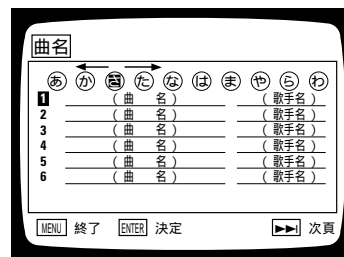
選曲した曲が終了すると一曲停止になります。
再び歌うときは、もう一度画面選曲をしてください。
一曲停止（27ページ）が切（オフ）のときは、次の曲を再生します。

ポイント

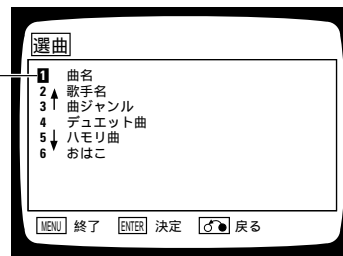
2回目以降画面選曲するときは**メニューボタン**を押すと、前回選んだ選曲メニューが自動的に現れます。例えば、前回歌手名選曲で選曲した場合、次に**メニューボタン**を押すと歌手名選曲の画面が自動的に現れます。

選曲方法を変えて選曲するには・・・

1 メニューボタンを押す

2 前回選んだ選曲メニュー画面に自動的になります

3 リターンボタンを押す

- 選曲メニュー画面になります。

カーソル（現在位置）

4 前の項目の手順2〜6を操作して、お好みの方法に変えて選曲ができます

画面選曲を途中で解除するには・・・

選曲メニュー画面の状態で、メニューボタンを押す

- 選曲メニュー画面が消えます。

基本操作 応用操作 カラオケ設定 いろいろな設定 準備 その他

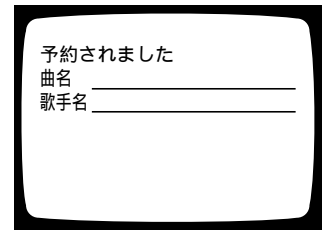
選曲メニュー画面で歌いたい曲を予約する（DVD）

選曲メニュー画面で予約する

1 予約ボタンを押す

2 36～37ページの手順1～5を操作し、選曲する

3 実行（ENTER）ボタンを押す

●停止中に実行（ENTER）を押した場合は、直ちに選択された曲の再生を始めます。
●再生中に実行（ENTER）を押した場合は、予約した曲の内容を表示してしばらくしたら消えます。

● 再生中に予約した場合、現在再生している曲が終了後、予約した曲の再生を始めます。

4 続けて予約するには

上記の手順1～3の操作を繰り返してください。
● 再生中の曲が終了すると、予約した曲の再生が始まります。

停止するには

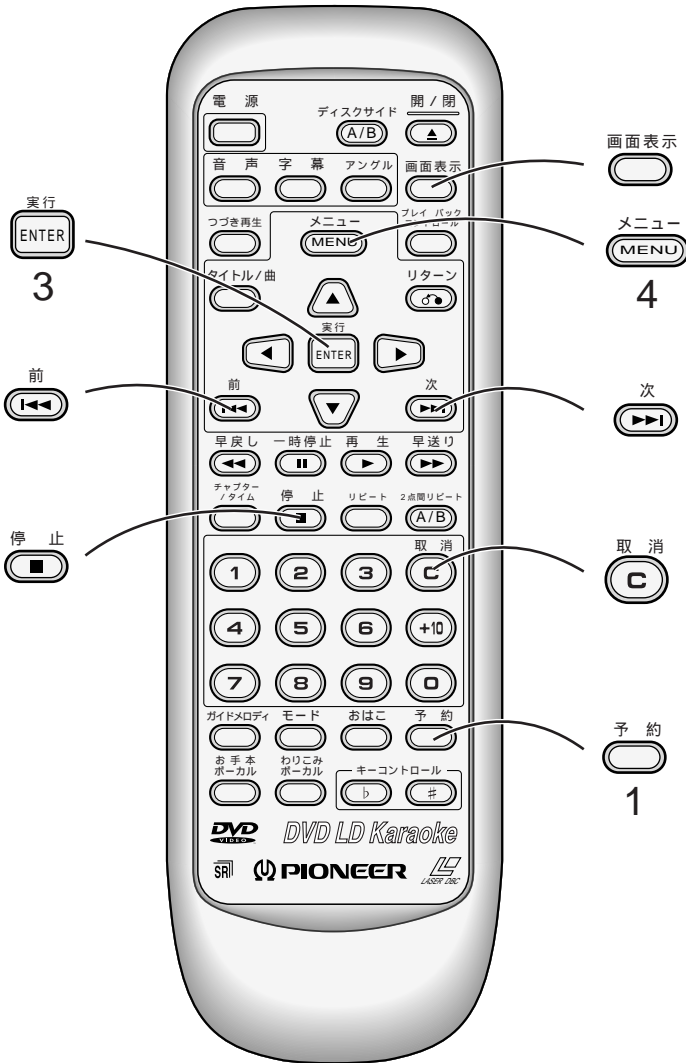
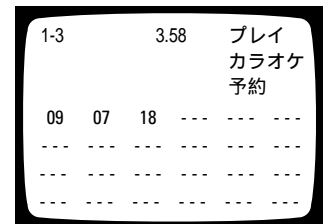
停止（■）ボタンを押す

本体前面の停止（■）ボタンを押しても停止できます。

予約内容を知りたいとき

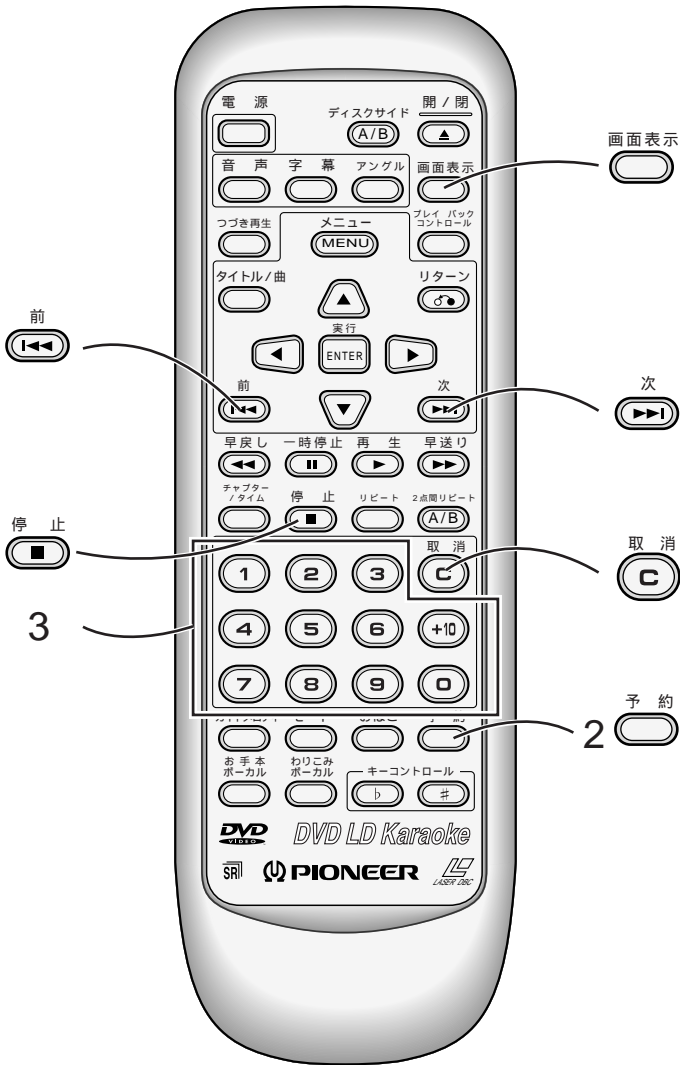
画面表示ボタンを押す

● もう一度ボタンを押すと、表示が消えます。

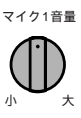
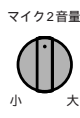
1-3		3.58		プレイ カラオケ 予約	
09	07	18	---	---	---
---	---	---	---	---	---
---	---	---	---	---	---
---	---	---	---	---	---

●再生中に予約した場合、再生している曲が終了後、予約した曲が始まります。

ポイント

●**予約再生中に本体前面の停止（■）ボタンを押す、またはリモコンの停止（■）ボタンを押して停止しても、予約再生は中断されるだけで予約内容は保存されています。**
予約の続きを再生するときは、予約ボタンを押したあと再生（►）ボタンを押してください。
●予約できる曲は24曲までです。
●予約された曲は一曲停止をせずに次々演奏します。
●予約された曲は演奏が終わると順次、予約内容から消されていきます。
●最後の予約曲の演奏が終わると、一時停止状態になります。
●次（►►I）ボタンを押すと、次の予約曲に変わります。前（I◄◄）ボタンを押しても、前に予約した曲には戻らず、現在演奏中の曲の頭に戻ります。

歌いたい曲を予約する

1 カラオケ演奏を楽しむには（26ページ）の手順 1 ～ 6 を行ってください

2 予約ボタンを押す

予約

3 数字ボタンで曲番号を選ぶ

例　9曲目を予約する場合

予約されました
トラック　　9

4 手順 2 ～ 3 を繰り返して他の曲を予約する

- 予約できる曲は24曲までです。
- 予約された曲は一曲停止をせずに次々演奏します。
- 予約された曲は演奏が終わると順次、予約内容から消されていきます。
- 最後の予約曲の演奏が終わると、一時停止または停止になります。
- 次（▶▶|）ボタンを押すと、次の予約曲に変わります。前（|◀◀）ボタンを押しても、前に予約した曲には戻らず、現在演奏中の曲の頭に戻ります。

5 マイク1、2の音量を調整する

♪♪ さあ歌いましょう ♪♪

停止するには

停止（■）ボタンを押す

予約内容を知りたいとき

画面表示ボタンを押す

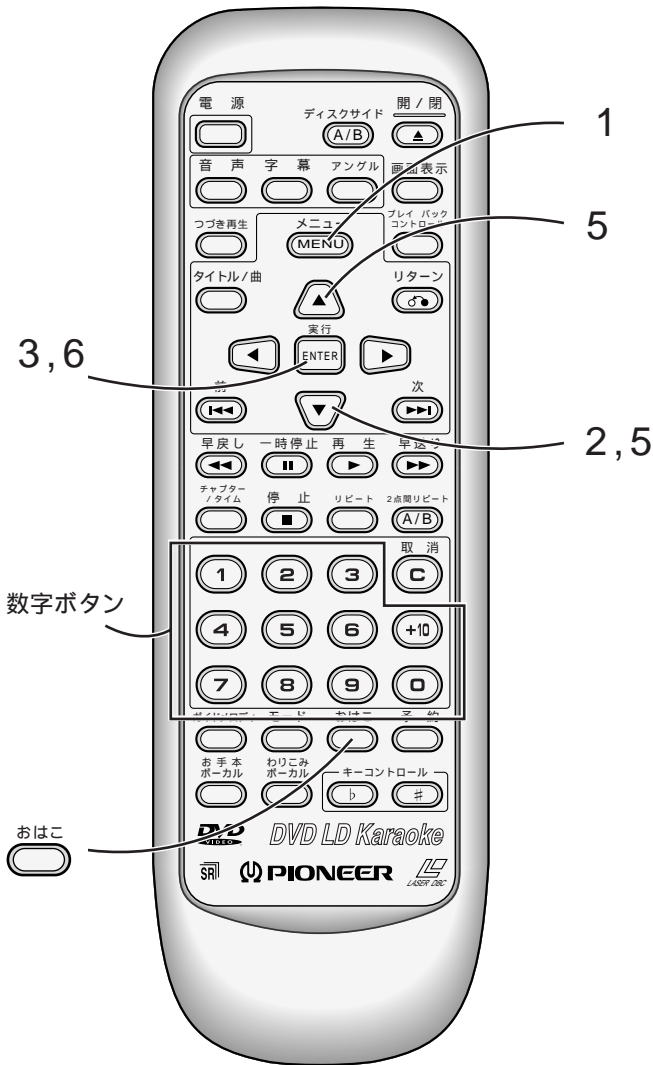
- もう一度ボタンを押すと表示が消えます。

1	0.58			プレイ カラオケ 予約	
09	07	18	---	---	---
---	---	---	---	---	---
---	---	---	---	---	---
---	---	---	---	---	---

ポイント

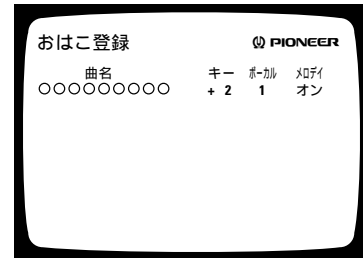
- ビデオCD（PBC付きのバージョン2.0）はプレイバックコントロール（リモコンまたは本体前面）を切（本体前面のプレイバックコントロールボタンのインジケーターが消灯）にしないと予約できません。（12ページ参照）
- 再生中に予約した場合、再生している曲が終了後、予約した曲の再生がはじまります。

得意な曲(おはこ)を登録する

テキストインフォメーション（曲の文字情報）入りのDVD カラオケディスクのみ「おはこ」を登録できます。自分の得意な曲を歌う条件と一緒に登録することができます。
ディスクごとに登録できるので、いつでも自慢の歌を披露することができ、とても便利です。

おはこ登録するには •••

選曲した曲の再生中または再生後の一時停止中におはこボタンを押す

●曲名（曲番）
●キーコントロールの度数：高く（＋１～＋５）
標準（０）
低く（－１～－５）
●選択したお手本ボーカルの種類：
お手本ボーカル１＋お手本ボーカル２
お手本ボーカル１
お手本ボーカル２
お手本ボーカルミックス
オフ（切）
●ガイドメロディーの種類：オン（入）
オフ（切）
この４項目が本体にメモリー（記憶）されます。

表示例

ポイント

●登録曲数はディスクをまたがって最大18曲までおはこ登録できます。
●ディスク交換をしても、前のディスクの情報はそのまま登録されており、消えることはありません。
●最大の18曲を越えると、次に登録するときは古いメモリーから順に消えます。

得意な曲（おはこ）を登録する

登録した曲を呼び出すには

1 停止状態でメニューボタンを押す

● 選曲メニュー画面が表示されます。

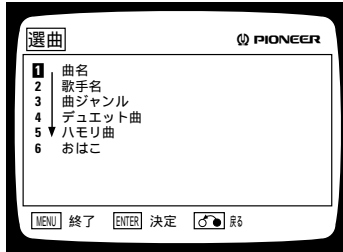
2 ▼ボタンで［6．おはこ］を選ぶ

● 数字ボタンの“ 6 ”を押しても選ぶことができます。

（この場合手順 3 ）の実行（ENTER）ボタンを押す必要はありません。

3 実行（ENTER）ボタンを押す

実行
ENTER

4 ディスクテーブル内にセットされているディスクに登録されている“ おはこ ”の一覧が表示されます

5 ▲▼ボタンで歌いたい曲番号へカーソルを移動する

2ページ以上あるとき・・・

● カーソルが一番下からさらに▼ボタンを押すと次ページに進みます。また、次ページの一番上からさらに▲ボタンを押すと前ページへ戻ります。

● 次（▶▶|）ボタンでも次ページへ進みます。

● 前（|◀◀）ボタンでも前ページへ戻ります。

6 実行（ENTER）ボタンを押す

● **数字ボタン（0〜9、＋10）で画面上の歌いたい曲の数字を押して選ぶこともできます。**

再生が始まります

♪♪ さあ歌いましょう ♪♪

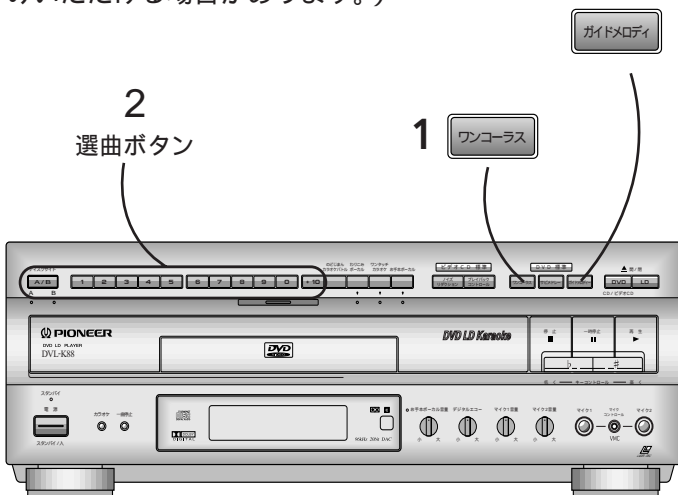
“ おはこ ”呼び出しを途中で解除するには

メニューボタンを押す

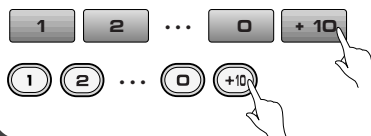
画面選曲機能で曲を再生中に**メニューボタン**を押すと、前回選んだ選曲メニュー画面（手順 1 ）になります。

基本操作 応用操作 カラオケ設定 いろいろな設定 準備 その他

曲の一番だけを再生する（ワンコーラス再生）

曲の一番だけで、カラオケをするときに使います。たくさんの曲を練習するときにはとても便利です。[コーラス] マークがディスクジャケットに表示されているDVDディスクでお楽しみいただけます。（マークがないディスクでもお楽しみいただける場合があります。）

1 ディスクをセットし、ワンコーラスボタンを押す

点灯→

2 選曲ボタンで曲番号を選ぶ

3 曲の頭から再生して“曲の一番”の再生が終わると、だんだん音が小さくなり終了します

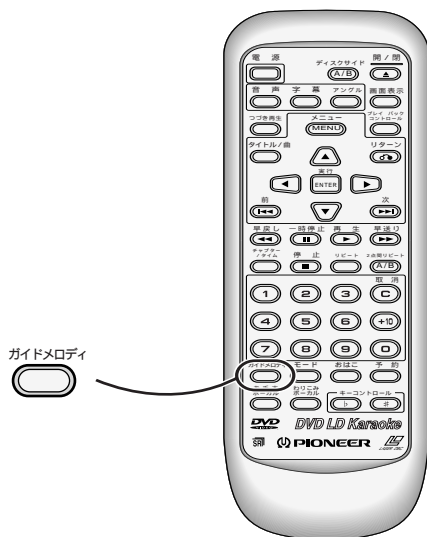
●一曲停止がオン（入）のときは一時停止状態になります。

メモ　続けて選曲し再生を行っても、ワンコーラスモードは続きます。

解除するには・・・

ワンコーラスボタンを押す

消灯→

プロカラオケで歌う（ガイドメロディ）

ガイドメロディをオン（入）／オフ（切）することができます。歌いやすいようにメロディをオン（入）にしたりオフ（切）にしてプロカラオケを楽しんだりできます。

ガイドメロディボタンを押す

消灯→

●インジケーターが消えてガイドメロディがオフ（切）になります。

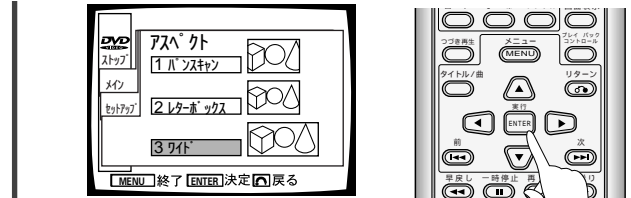
ポイント

●電源を入れたときはオン（入）に設定されています。
●オン（入）にするにはもう一度、ガイドメロディボタンを押します。
●ガイドメロディが独立して記録されていないディスクではオン（入）／オフ（切）できません。

いろいろな設定

ワイドテレビ用ソフトの設定（マルチアスペクト）

DVDではワイドテレビに対応して、スクイーズ（圧縮映像）のものがあります。通常のテレビで、このようなDVDを再生すると画面がタテ長になることがあります。このようなとき、アスペクト機能を使うと通常の映像にすることができます。

1 停止中に（MENU）を押す

●メインメニュー画面が表示されます。

2 ▲▼で初期設定を選ぶ

●初期設定のボタンが青く表示されます。

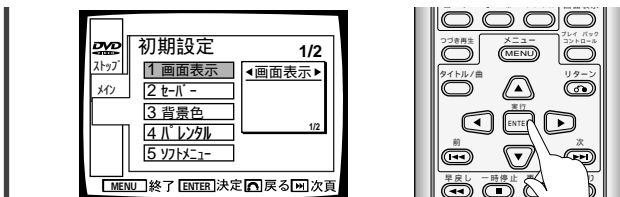
3 （ENTER）を押す

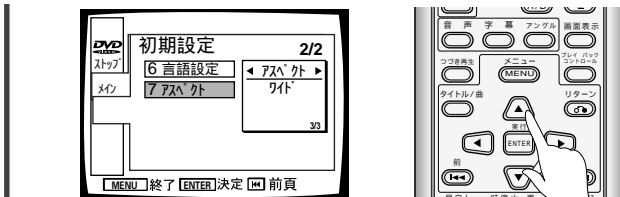
●初期設定画面が表示されます。

4 ▲▼でアスペクトを選ぶ

5 （ENTER）を押す

●アスペクト画面が表示されます。

6 ▲▼でお好みのモード（パンスキャン、レターボックス、ワイド）を選ぶ

7 （ENTER）を押す

●ご希望の画面に切り換わります

ワイドテレビ用ソフトの設定（マルチアスペクト）

アスペクト切換のできるDVDの場合にはテレビに合わせて切換えてください。

ディスク	アスペクト切換	ワイドテレビ（16：9）	通常のテレビ（4：3）
16：9	ワイド		
	パンスキャン		
	レターボックス		
4：3			

上の表の［網かけ部分］を選ぶと縦横の比率の正しい映像になります。
アスペクトの切換ができるか、できないかはディスクによります。ディスクのジャケット等で確認してください。
アスペクトの切換ができないディスクの場合にはテレビ側で画面を調整してください。

◆電源が入っているときに、停電や電源コードが抜かれて電源が切れてしまったときは、設定内容が消えてしまいます。電源コードを抜くときは、必ず本体のPOWERボタンまたはリモコンのPOWERボタンを押して表示窓の「OFF」表示が消えてから行ってください。

●通常のテレビは横４：縦３、ワイドテレビやハイビジョンテレビは横16：縦９の比率になっています。この横と縦の比率をアスペクト比と呼んでいます。

画質・音質を切り換える・グラフィックスの設定を切り換える

［モード］を押すごとに次のように切り換わります。

カラオケファンクションのとき

（DVD のとき）

カラオケサラウンド
オフ｜スタジオ｜ホール｜アリーナ
→
D.R.COMP
オン｜オフ

（LD のとき）
再生中は白黒で表示されます。

カラオケサラウンド
オフ｜スタジオ｜ホール｜アリーナ
→
グラフィックス
モード1｜モード2｜オフ

（CD のとき）

カラオケサラウンド
オフ｜スタジオ｜ホール｜アリーナ
→
グラフィックス
オン｜オフ

（VCD のとき）

カラオケサラウンド
オフ｜スタジオ｜ホール｜アリーナ

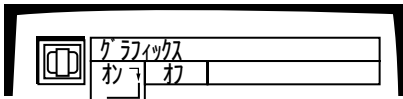
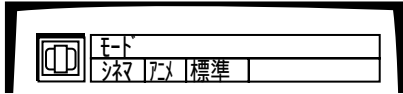
画質・音質を切り換える・グラフィックスの設定を切り換える

モード を押すごとに次のように切り換わります。

映画 / 音楽ファンクションのとき

（DVD のとき）

（LD のとき）
再生中は白黒で表示されます。

（CD のとき）

（VCD のとき）

画質を切り換える（シネマモード／アニメモード）

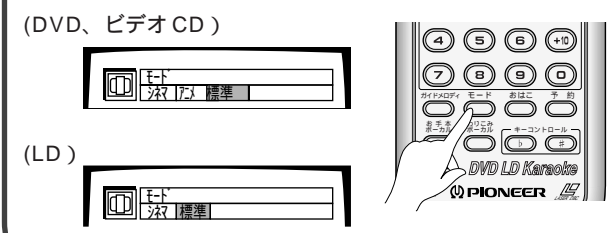
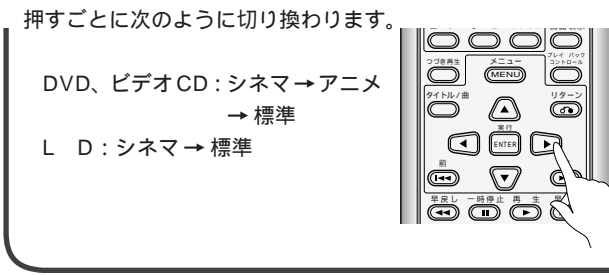
1 再生中に モード を押し、「モード」にする

（DVD、ビデオ CD）

（LD）

2 ◀ ▶ ボタンで好みのモードを選ぶ

押すごとに次のように切り換わります。

DVD、ビデオ CD：シネマ→アニメ→標準
L　D：シネマ→標準

シネマ
画質：黒をクッキリとさせたメリハリのある映像にします。
アニメ
画質： 色をハッキリさせた美しい映像がお楽しみいただけます。
標準
画質、機能ともに通常に戻ります。

注意！

◆ ソフトの内容や組み合わせるテレビによっては見づらくなる場合があります。その場合は標準にしてください。

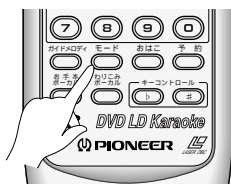
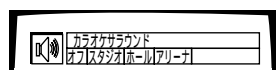
ポイント

●LD および CDV のビデオパートではアニメモードはできません。
●CDV のビデオパートでも LD と同じ設定ができます。
●映画 / 音楽ファンクションのときのみ働きます。

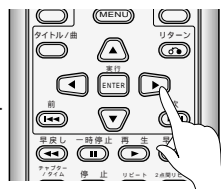
歌う場所の雰囲気を切り換える（カラオケサラウンド）

臨場感や広がり感を選ぶことができます。

1 再生中に モード を押し、「カラオケサラウンド」にする

カラオケサラウンド
オフ|スタジオ|ホール|アリーナ

2 ◀ ▶ ボタンで好みの雰囲気を選ぶ

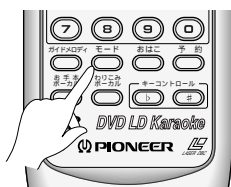
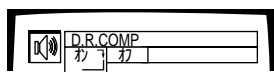
次のように切り換わります。

オフ ↔ スタジオ ↔ ホール ↔ アリーナ

ポイント

●カラオケファンクション及び外部入力ファンクションのときのみ働きます。
（本体前面のカラオケボタンを押してから設定してください。）

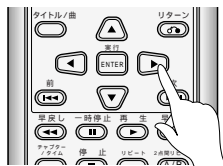
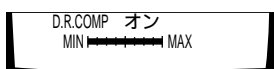
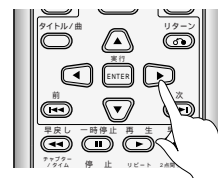
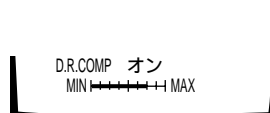
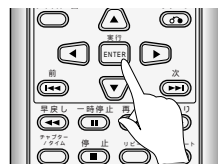
音質を切り換える（D.R. COMP）

ダイナミックレンジコンプレッションのことです。DVDでは、音声のダイナミックレンジが広くなっています。お手持ちのステレオシステムやテレビで会話等の音声が聞きづらい場合に設定します。

1 再生中に モード を押し、「D.R. COMP」にする

2 ◀ ▶ ボタンで、オンまたはオフを選ぶ

3 オンを選んだときは、実行 ENTER を押す

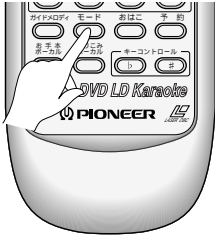
4 ◀ ▶ ボタンで、変化量を調整する

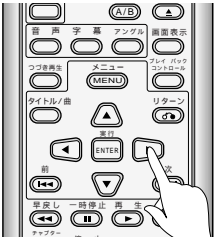
D.R.COMP オン
MIN MAX

5 実行 ENTER を押す

ポイント

手順４のときに、▲・▼を押すとオン ↔ オフと切り換わります。

基本操作 応用操作 カラオケ設定 いろいろな設定 準備 その他

グラフィックスの設定を切り換える

ディスク記録フォーマットには、サブコードという記録場所があります。ここに映画の台詞や歌の歌詞などの信号を記録しておき、その信号を読み取って画面に映し出すのがグラフィックスです。
グラフィックスは、チャンネル設定（0〜15）で、画面に映し出す情報を選び、スクロール設定（ノーマル〜ステップ17）で表示する位置を選べます。

グラフィックス表示の位置を変える

1 再生中に モード を押し、「グラフィックス」にする

（LD）

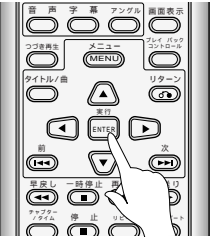
（CD）

2 ◀ ▶ ボタンでモード1またはモード2を選択する（CDのときはオンを選ぶ）

（LD）

モード1はグラフィックスチャンネルの0と1がオンになります。
モード2はグラフィックスチャンネルの2がオンになります。

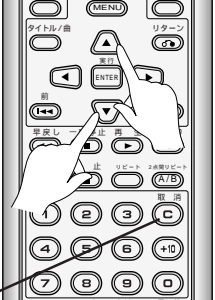
（CD）

3 実行 ENTER を押す

（LD、CD）

スクロールが点滅します。

4 実行 ENTER を押す

（LD、CD）

グラフィックス
スクロール　　ノーマル

5 ▲ ▼ ボタンで表示位置を選ぶ

（LD、CD）

グラフィックス
スクロール　　ステップ1

●ノーマルからステップ17までの18段階の位置が選べます。
●ノーマルの位置に戻すには、取消 C を押します。

取消ボタン

6 実行 ENTER を押す

選んだ位置にグラフィックスが表示されます。

注意！

この操作をしてもグラフィックスが出ないときはチャンネルを変えてみてください（49ページ参照）。

ポイント

1つ前の画面に戻るには、リモコンの リターン を押します。

画質・音質を切り換える・グラフィックスの設定を切り換える

グラフィックスのチャンネルを変える

1 **再生中に（モード）を押し、「グラフィックス」にする**

（LD）

（CD）

2 **◀ ▶ボタンでモード 1 またはモード 2 を選択する（CD のときはオンを選ぶ）**

（LD）

モード1はグラフィックスチャンネルの 0 と 1 がオンになります。
モード2はグラフィックスチャンネルの 2 がオンになります。

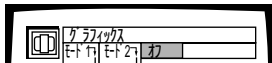
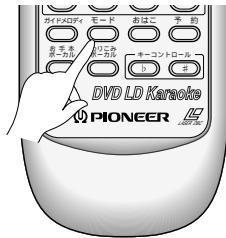
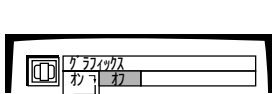
（CD）

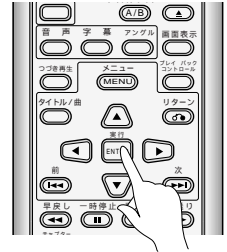
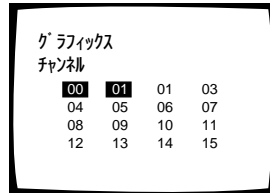
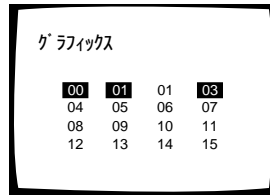
3 **（実行 ENTER）を押す**

（LD、CD）

スクロールが点滅します。

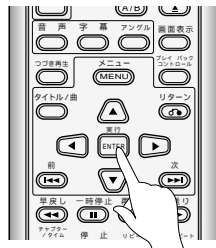
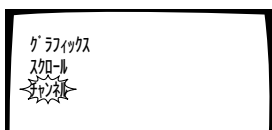
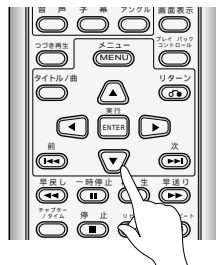
4 **▼を押す**

（LD、CD）

チャンネルが点滅します。

5 **（実行 ENTER）を押す**

6 **数字ボタンでチャンネル番号を選ぶ**

●選んだチャンネル番号が反転表示になります。
●もう 1 度同じ番号を押すとオフになります。
● 10〜15 は（+10）を押してから（0）〜（5）を押します。

7 **（実行 ENTER）を押す**

選んだチャンネルのグラフィックスが画面に表示されます。

注意！

この操作をしてもグラフィックスが出ないときは表示位置を変えてみてください（48 ページ参照）。

ポイント

●電源を切ると、変更したグラフィックスのスクロール及びチャンネルは初期状態に戻ります。これは異なるディスクを再生したとき、グラフィックスが出ない等が起こらないようにしているためです。
●1つ前の画面に戻るには、リモコンの（リターン）を押します。

基本操作 応用操作 カラオケ設定 いろいろな設定 準備 その他

よく見る DVD の各種設定をおぼえさせる（コンディションメモリー）

よく見る DVD の設定内容を記憶させることができます。設定は、ディスクを出したり、電源を切っても記憶されています。記憶したディスクを入れると、前回の内容が自動的に呼び出されます。

記憶できる設定内容は下記の 5 つです。これらの設定をした後、コンディションメモリーすると、これらの設定内容を記憶しておけます。

●マルチアスペクト（44 ページ）
●シネマモード / アニメモード（46 ページ）
●マルチ音声（51 ページ）
●マルチ言語字幕（52 ページ）
●画面表示（位置）（63 ページ）

再生中に[おはこ]を押す

● 画面に「コンディション」と表示します。

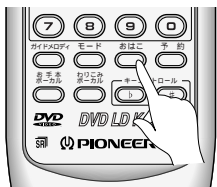
注意！

◆電源が入っているときに、停電や電源コードが抜かれて電源が切れてしまったときは、設定内容が消えてしまいます。電源コードを抜くときは、必ず本体の電源スイッチまたはリモコンの POWER ボタンを押して表示窓の「-OFF-」表示が消えてから行ってください。
◆映画 / 音楽ファンクションでのみ記憶します。

記憶してあるディスクを入れると…

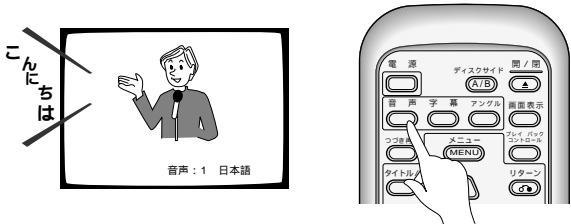
画面に「コンディション」と表示し、前に設定した内容になります。

記憶してある内容を消すには

記憶してあるディスクを入れ、画面に「コンディション」の表示が出ているときに、[取消 C]ボタンを押します。

●一度設定した内容は、何度再生しても保持されます。
●記録できる枚数は最大で 10 枚分です。それを超えると、古い記録から消されて、新しく記録した内容になります。古い記録でも、呼び出されると最新の記録となります。
●設定を変更したい場合は、アスペクト、シネマモード / アニメモード、マルチ言語字幕、マルチ音声、画面表示位置のいずれかを設定しなおし、再生して[おはこ]を押します。
●本機で記憶するマルチ言語字幕、マルチ音声は言語の種類です。メニューの番号ではありません。同じ言語がいくつもある DVD では小さい番号の方を再生します。

音声言語を選ぶ（マルチ音声）

DVDには、ドルビーデジタルやPCMなどの音声がいろいろな言語で記録されています。お好みの音声言語を選んでお楽しみください。

1 再生中に［音声］を押す

2 ［音声］を押し、お好みの言語にする

注意！

◆音声言語が1言語しか記録されていないときには音声言語が切り換わりません。

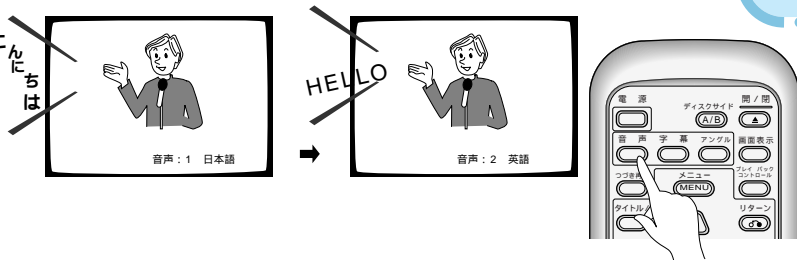
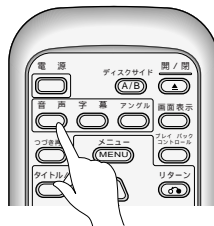
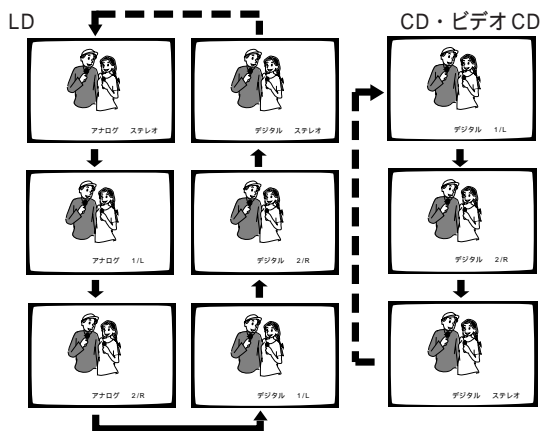
◆音声番号と言語の設定はディスクによって違いますので、ディスクの説明書をご覧ください。

◆タイトルによっては音声言語が切り替えできない場合があります。この場合、マークが表示されます。

ポイント

●タイトルによってはメニューを使って選択することもできます。この場合は表示が出ているときに［メニュー MENU］を押してメニュー画面を出し、選択してください。

音声を切り換える

再生中に［音声］を押す

●さらに押すごとに切り換わります。

注意！

◆LDにデジタル音声が記録されていないときは、デジタル音声に切り換わりません。

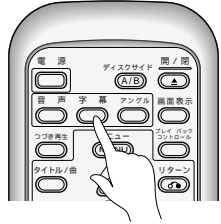
◆デジタル音声出力（光、同軸）（■RF出力）では切り換わりません。

◆映画/音楽ファンクションのみ音声切り替えができます。

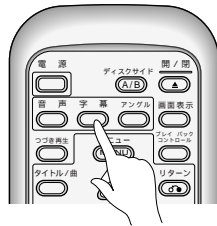
◆LDの場合、ディスクによってはCXシステムの切換えの行えるものがあります。その場合、この操作で切換えができます。

字幕言語を選ぶ（マルチ言語字幕）

複数の字幕言語が記録されたDVDでは、字幕言語を選ぶことができます。

再生中に（字幕）を押す

注意！

◆字幕言語が記録されていない、または1つしか記録されていないときは字幕言語が切り換わりません。
◆タイトルによっては字幕言語が切り換えできない場合があります。この場合、マークが表示されます。

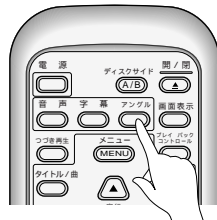
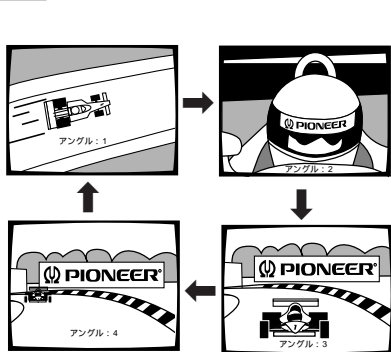
（字幕）を押し、お好みの言語にする

●メニューを使っても選べます。

ポイント

●再生中に字幕言語を消したい場合には、（字幕）を押し、表示が出ているときに（取消）を押してください。また、サブタイトルメニューを表示しているときは、「オフ」を選ぶと消すことができます。
●初期設定メニューの基本字幕の設定で“オフ”に設定しておくと字幕を消すことができます。
●タイトルによってはメニューを使って選択することもできます。この場合は表示が出ているときに（メニュー）を押してメニュー画面を出し、選択してください。

見たい方向からの映像を選ぶ（マルチアングル）

複数の方向（アングル）から映された映像が記録されたDVDで選ぶことができます。

再生中に（アングル）を押す

●さらに押すごとに切り換わります。
●メニューを使っても選べます。

注意！

◆タイトルによってはアングルが切り換えられない場合があります。この場合、マークが表示されます。

ディスクにアングルが記録されているかを知るには

ディスクのジャケットに マークが付いています。また本機では、アングルが記録されている箇所を再生すると、マークを表示することができます。

：このマークの場合はアングルが4つ記録されているディスクです。

アングルマークを表示したくないときの設定のしかた

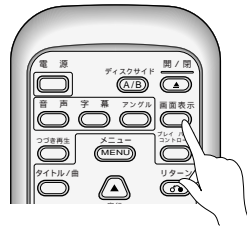
（DVD停止状態）
1. （メニュー）を押す
2. 数字ボタンで"初期設定"（③または④）を選択する。
・初期設定メニューになります。
3. 数字ボタンの①を押す。
・画面表示メニューになります。
4. 数字ボタンの③を押す。
・アングルマークメニューになります。
5. 数字ボタンの②を押す。

アングルマークを再び表示させる場合は手順5で数字ボタンの①を選択すると再び表示することができます。

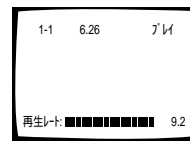
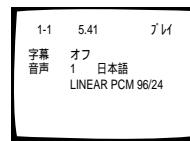
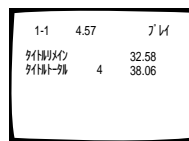
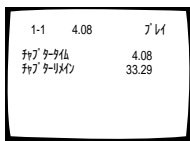
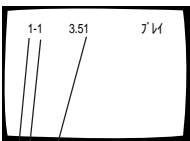
ポイント

●マルチアングル機能は、複数のアングルが記録されたディスクでなければ選択できません。
●マルチアングル部分を再生中は本体のアングルインジケーターが点灯します。
●タイトルによってはメニューを使って選択することもできます。この場合は表示が出ているときに（メニュー）を押してメニュー画面を出し、選択してください。

ディスクの情報を見る

再生中に画面表示を押す

●押すたびに切り換わります。
●停止中に押すとディスクのトータル情報が表示されます。

注意！
◆テレビ画面の焼き付き防止のため、約80分で自動的に表示は消えます。
◆LDでTOC（79ページ参照）の入っていないディスク、または、B面再生後には表示しません。
◆LDでクイックターンがオンになっているときには表示しません。

＜DVD＞（ディスクによっては一部表示がでない場合があります。）

再生時間
チャプター番号
タイトル番号

→ チャプタータイム：再生中のチャプターの経過時間
チャプターリメイン：再生中のチャプターの残り時間

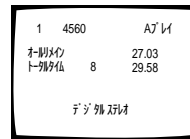
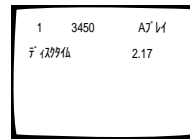
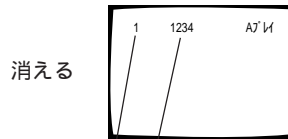
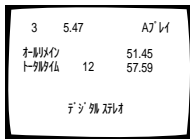
→ タイトルリメイン：再生中のタイトルの残り時間
タイトルトータル：再生中のタイトルの総再生時間と総チャプター数

→ 字幕：表示する字幕の情報
音声：再生する音声の情報

→ 再生レート：転送レートのレベルメーター

→ 消える

＜LD＞

CLV：長時間ディスク

再生時間
チャプター番号

→ オールリメイン：再生中のところからディスクの最後までの残り時間
トータルタイム：ディスクの総再生時間と総チャプター数

→ 消える

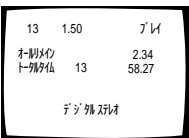
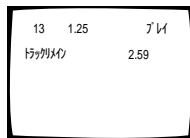
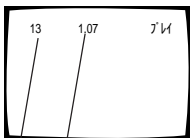
CAV：標準ディスク

フレーム番号
チャプター番号

→ ディスクタイム：ディスクの始めからの経過時間

→ オールリメイン：再生中のところからディスクの最後までの残り時間
トータルタイム：ディスクの総再生時間と総チャプター数

→ 消える

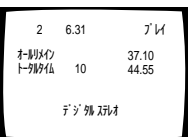
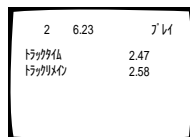
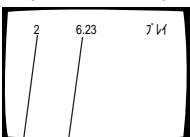
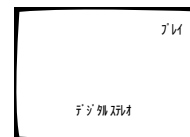
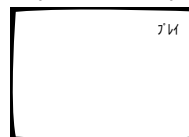
＜CD＞

曲の再生時間
トラック番号

→ トラックリメイン：再生中の曲の残り時間

→ オールリメイン：再生中のところからディスクの最後までの残り時間
トータルタイム：ディスクの総再生時間と総トラック数

→ 消える

＜ビデオCD＞

（PBCオフ時）

ディスクの始めからの再生時間
トラック番号

→ トラックタイム：曲の経過時間
トラックリメイン：再生中の曲の残り時間

→ オールリメイン：再生中のところからディスクの最後までの残り時間
トータルタイム：ディスクの総再生時間と総トラック数

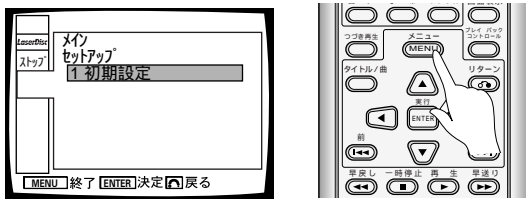
→消える

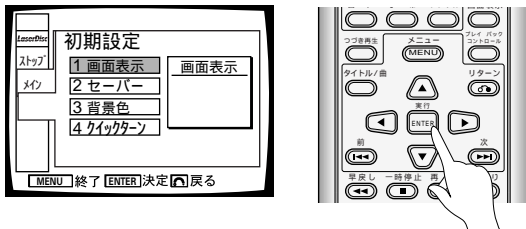
（PBCオン時）

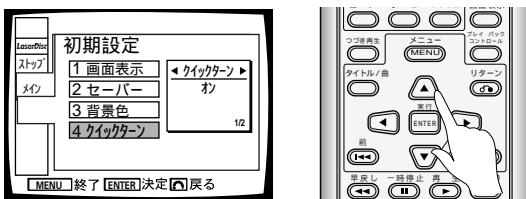
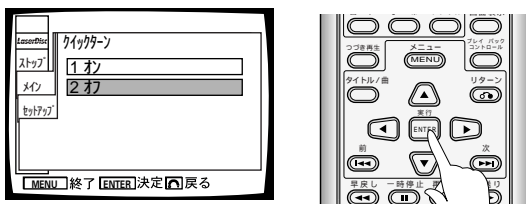
→消える

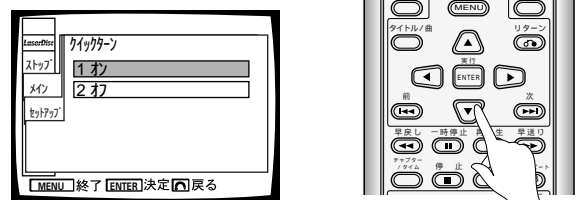
ＬＤの反転時間を速くする（クイックターン）

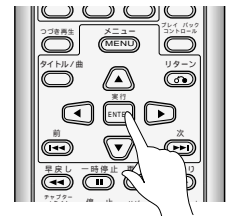
ＬＤ再生で、Ａ面からＢ面、あるいはＢ面からＡ面への切換え時間を短くする機能です。

1 停止時に MENU（メニュー）を押す

●メインメニュー（画面）が表示されます。

2 ENTER（実行）ボタンを押す

●初期設定のメニュー（画面）に代わります。

3 ▲▼で"④クイックターン"を選ぶ

4 ENTER（実行）を押す

●クイックターン選択画面になります。

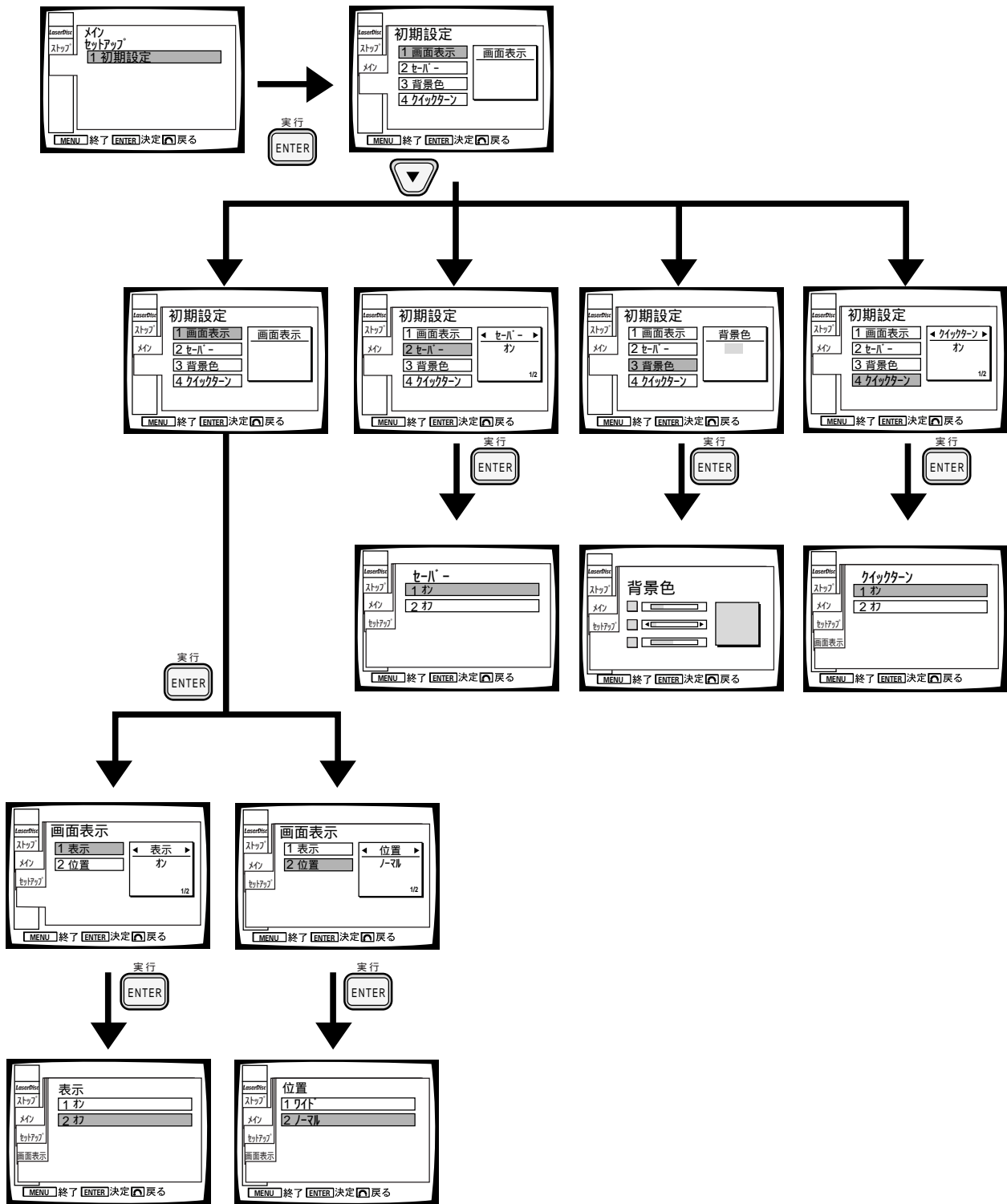
5 ▲▼で“オン”を選ぶ

6 ENTER（実行）を押す

●設定が終了します。

注意！

◆クイックターンがオンのときは画面表示のリメイン表示、トータル表示は行えません。

GUI操作の概要（グラフィカルユーザーインターフェース）

本機ではいろいろな設定を画面を見ながらリモコンで行います。
ここではメニュー画面への入り方を説明します。ディスクの種類や再生・停止などの状態によってメニュー画面への入り方が異なりますので、下のメニューマップを参考にしてください。

ＬＤのとき

基本操作 応用操作 カラオケ設定 いろいろな設定 準備 その他

GUI 操作の概要（グラフィカルユーザーインターフェース）

映画 / 音楽ファンクションのとき　カラオケファンクションのとき

DVD のとき

3 のカラオケを選択した場合は P.36、P59 をご覧ください。

リターン　　実行

を押すと、ENTER を押した前の画面に戻ります。

ENTER 実行

背景色

パレンタル

ソフトメニュー

言語設定

アスペクト

デジタル出力

ダウンサンプル

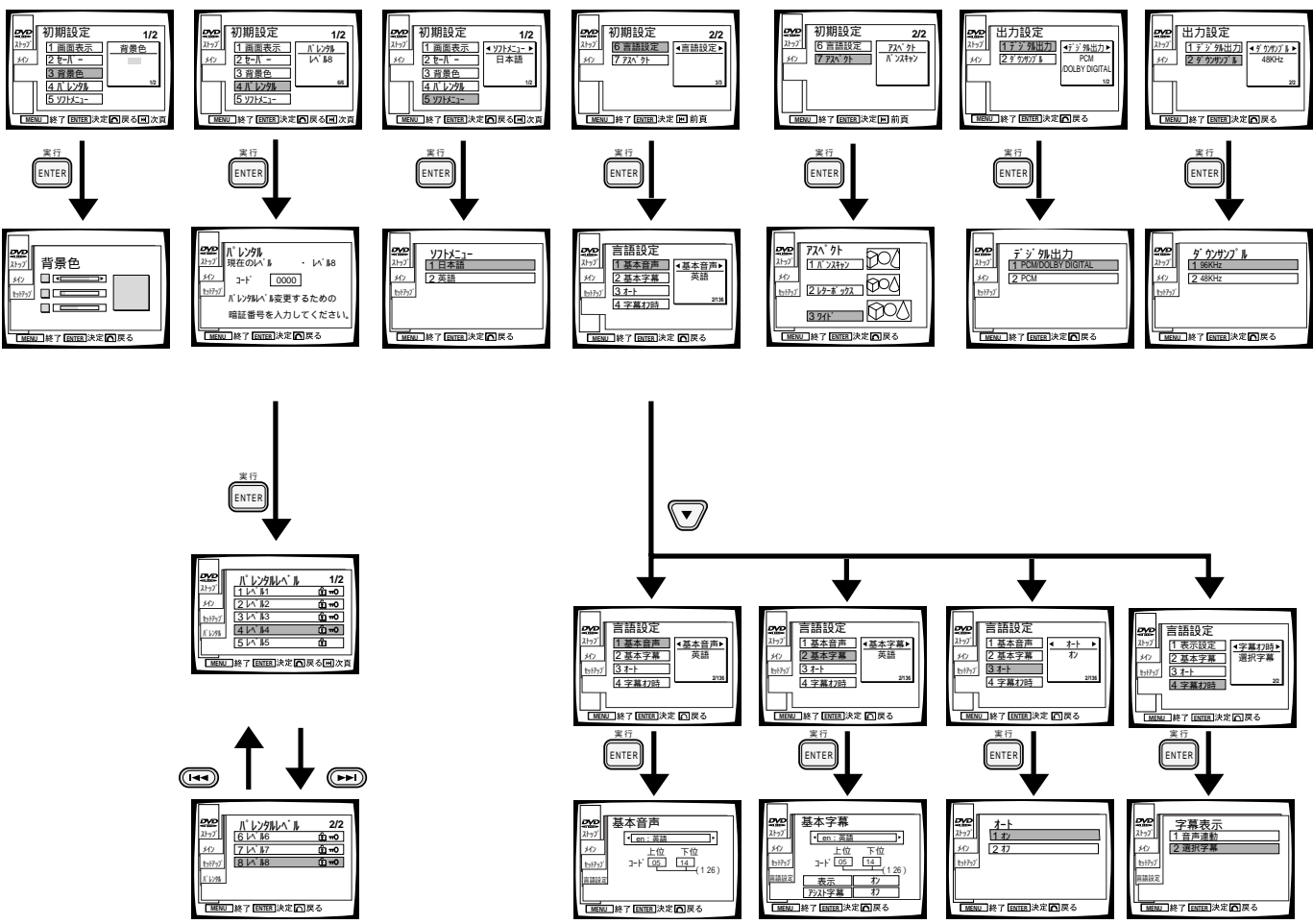
パレンタルレベル 1/2

パレンタルレベル 2/2

基本音声

基本字幕

オート

字幕表示

GUI操作の概要（グラフィカルユーザーインターフェース）

CD、ビデオCDのとき

GUI操作の概要（グラフィカルユーザーインターフェース）

テキストインフォーメーション（曲の文字情報）入りディスクのカラオケメニューマップをしめします。

ＤＶＤカラオケディスク（テキストインフォーメーション入り）のとき

セットされているディスク：DVD
状態：停止中

（再生中は再生画面に上書きされます。）

メニュー MENU

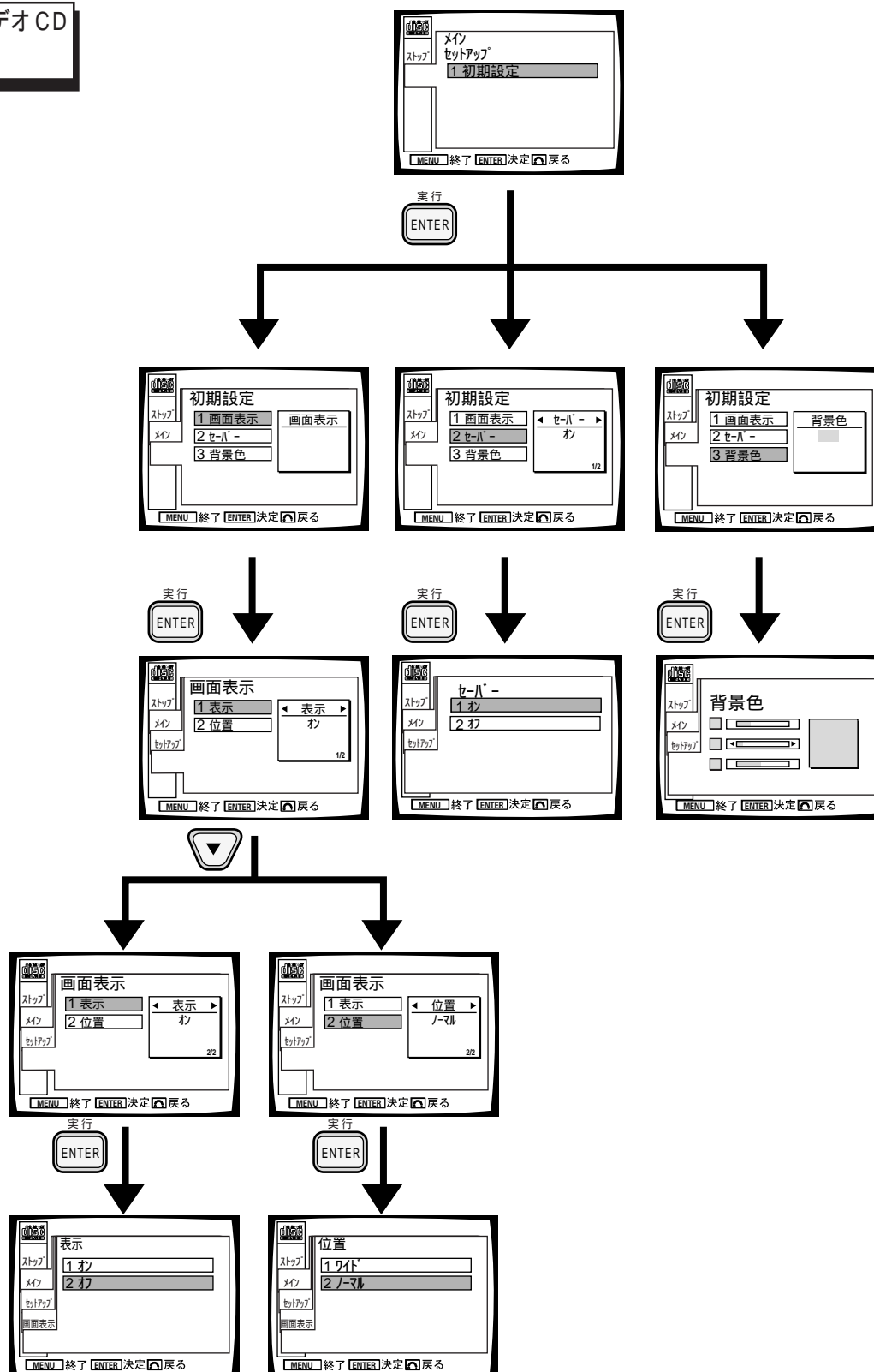
図1

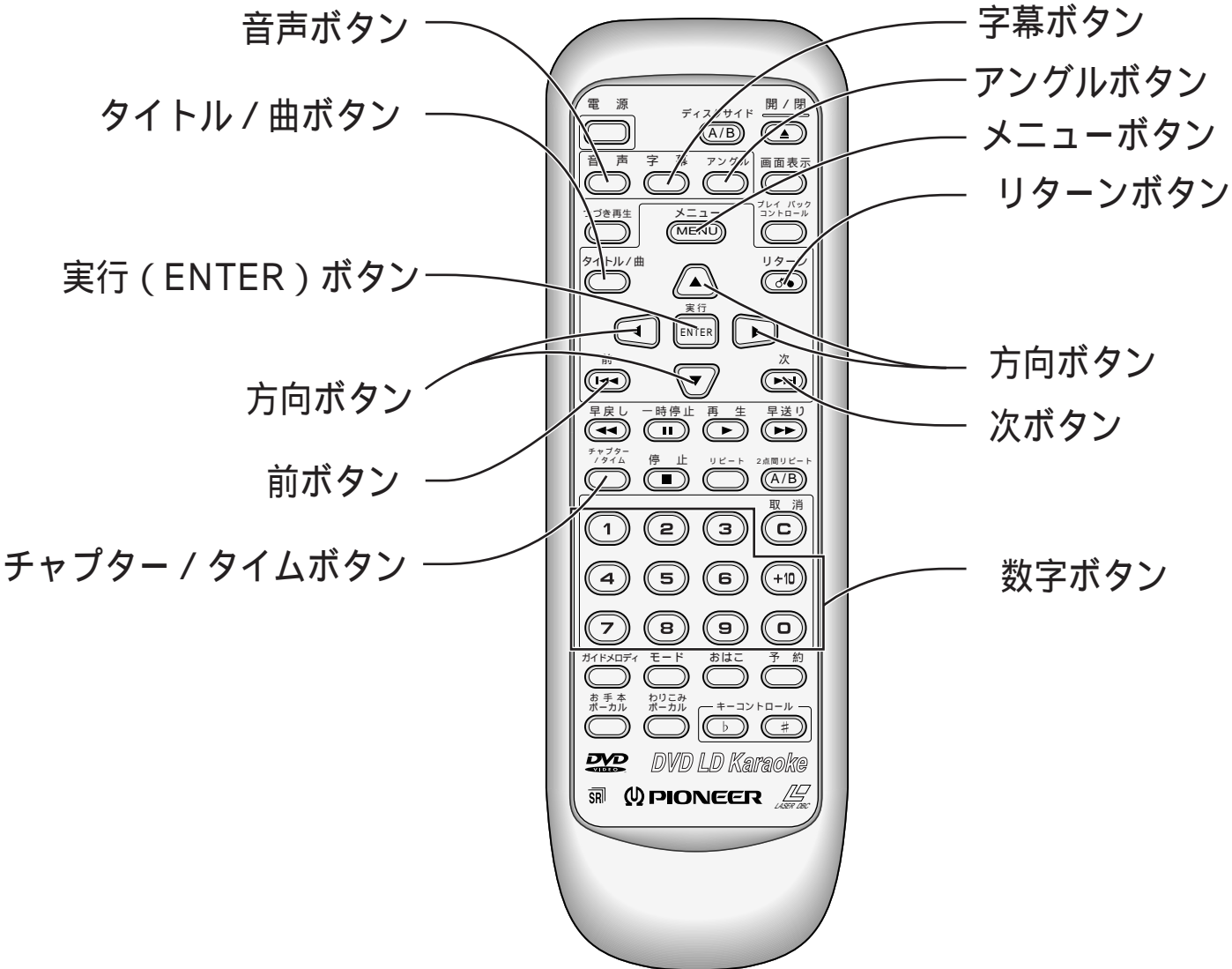
①、②、④、⑤選択時は
56、57ページと同じです。

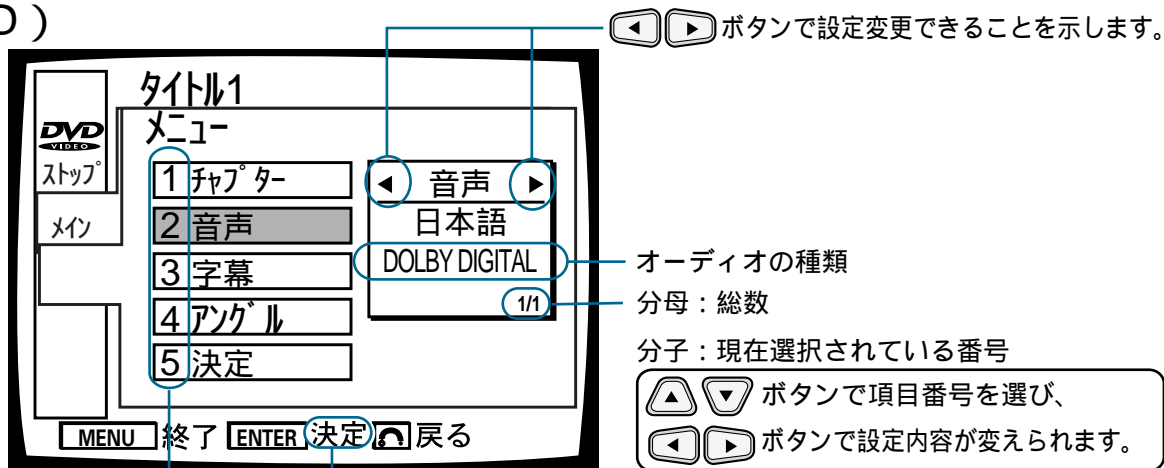
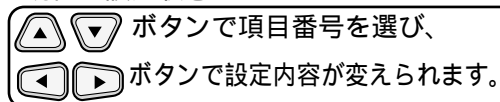
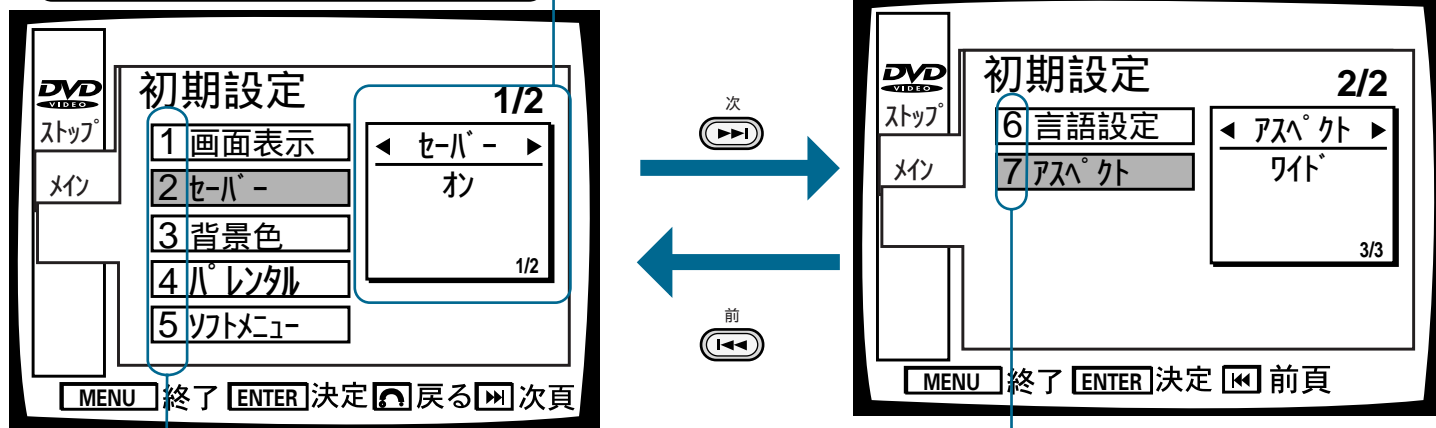
リターン 戻る

「1．演歌」を選択した場合

注意！

映画/音楽ファンクション（前面のカラオケボタン消灯）時はカラオケメニューは開くことができません。

各メニュー内でのボタンのはたらき

ボタンの名称	ボタンのかたち	はたらき
メニューボタン	メニュー MENU	メニュー画面からぬける（設定した内容は無効になります）
リターンボタン	リターン	1つ前のメニュー画面へ戻る（設定した内容は決定になります。ただし、サーチは無効になります。）
数字ボタン	1 ～ 0 · +10	選択し決定する（初期設定メニュー内では項目によっては選択のみとして働く場合があります。）
方向ボタン	▲ ▼ ◀ ▶	選択
実行（ENTER）ボタン	実行 ENTER	決定し実行する（タイトル、チャプターの変更後は再生状態になります）
前ボタン	前	前のページへ
次ボタン	次	次のページへ
直接メニューを出すボタン	タイトル／曲　チャプター／タイム　音声　字幕　アングル	各メニューへ（移動前に設定した内容は無効になります）

画面表示と操作の例

例1：メニュー内での表示内容・ボタンのはたらき（例：DVD）

例2：初期設定メニュー内での表示内容・ボタンのはたらき（例：DVD）

※ CDやLDでは表示される内容は異なります。

メインメニューについて

・停止中に(MENU)を押すことにより表示します。
・DVDやLD等、ディスクの種類により表示される内容は異なります。

タイトルメニュー画面、メニュー画面、セットアップ画面を選ぶときの主（メイン）画面です。

テキストデータ入りカラオケ DVD の場合

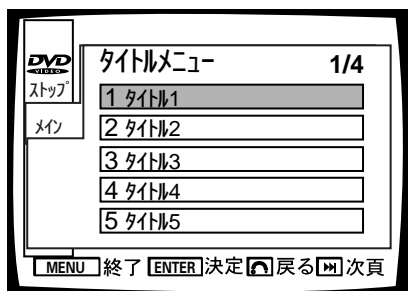
タイトルメニュー画面では：
タイトルを選んで再生することができます。（タイトルサーチ）

メニュー画面では：
タイトル中のチャプター（曲）、字幕、音声、アングルを選ぶことができます。

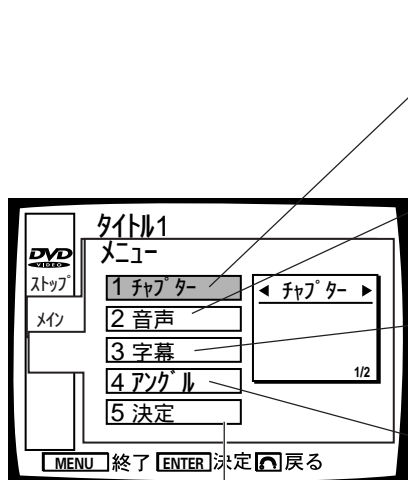
カラオケ画面では：
選曲画面になり曲を選ぶことができます。

初期設定画面では：
この製品の各種機能を画面表示で設定することができます。

出力設定画面では：
この製品のデジタル出力端子から出力する音声を選ぶことができます。

タイトルメニュー画面について

タイトルを選んで再生できます。
20 ページの「タイトル番号で直接探す」と同じ選択画面です。

メニュー画面の内容

上記内容の変更を決定して終了します。

チャプター画面では：
1 つのタイトル中のチャプター（曲）を選んで再生することができます。

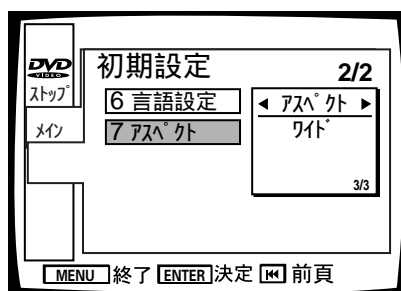
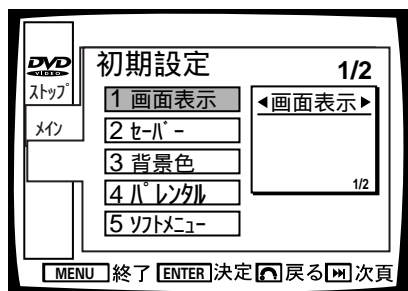
音声画面では：
複数の音声言語や音声の種類の入ったディスクでは､音声の内容を選ぶことができます。

字幕画面では：
字幕情報の入ったディスクでは、字幕の内容を選ぶことができます。

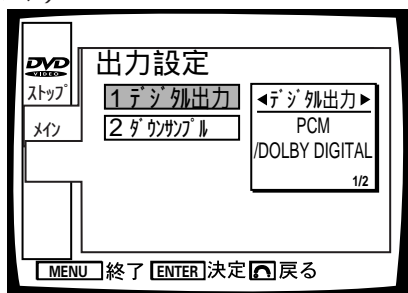
アングル画面では：
さまざまな方向から映された映像が記録されたディスクでは､その中からお好みのものを選ぶことができます。

さまざまな設定を変更する

初期設定画面について

（例：DVDのとき）

さまざまな設定を変更するときに使用します。63～64ページに、各項目と設定内容が書かれています。

出力設定画面について

（DVDのみ）

本機のデジタル出力端子から出力する音声を選ぶときに使用します。
使用するアンプに合わせて変更してください。

詳しくは、63～64ページに各項目と設定内容が書かれています。

設定項目一覧表

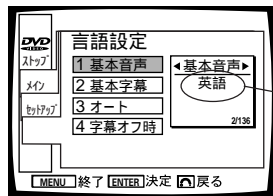
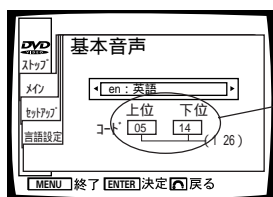
階層		項　目	内　容	設定状態	
				初期設定（工場出荷時）	
初期設定	画面表示	**表示**	動作表示（プレイ、ストップなど）をする（オン）しない（オフ）を切り換えます。	**オン** 動作表示する	**オフ** 動作表示しない
		位置	ワイドテレビで通常のソフトを見るときは、動作表示が画面の外にはみ出して、表示が見えなくなることがあります。表示位置を変更することでワイドテレビでも動作表示を見ることができるようになります。	**ノーマル** 通常のテレビ（4：3）を使用するとき	**ワイド** ワイドテレビを使用する場合 （メニュー画面は対応していません。）
		アングルマーク	アングルが記録された画面を再生するとを表示します。 アングルの画面を再生しているかどうかがはっきりします。	**オン** 表示	**オフ** 表示しない
		セーバー **（スクリーンセーバー）**	同じ静止画を長時間表示し続けると画面に焼きつき現象がでることがあります。 この製品ではメニュー画面などを長時間（5分以上）表示し続けることによる画面の焼きつき現象を防止するため、スクリーンセーバー機能を搭載しています。「オン」にしておくことをおすすめします。	**オン** スクリーンセーバーが機能する	**オフ** スクリーンセーバーが機能しない
		背景色	メニュー画面や停止状態の画面の色を、お好みの色に設定できます。R（赤）、G（緑）、B（青）を個別に設定できます。それぞれ21段階の設定ができます。）	**ブルー**	**可変**

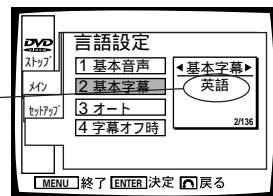
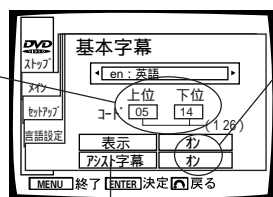
階層		項目	内容	設定状態	
				初期設定（工場出荷時）	
初期設定		**パレンタルレベル**	視聴制限のことをいいます。映像内容によって視聴制限をかける機能です。 この製品はディスクに視聴制限コードが記録してあれば視聴制限（パレンタルロック）をかけることができます。パレンタルロック対応のディスクを再生したとき暴力シーン等で子供に見せたくない部分を飛ばして見ることができます。詳しくはディスクの説明書をお読みください。 一度暗証番号を設定すると、次回からは、その暗証番号を設定しないとレベルの変更はできません。 暗証番号は忘れないように控えておいてください。もし、忘れてしまったときは、初期状態に戻して再び設定できます。（欄外参照）	**レベル 8**	**1〜8 まで可変**
初期設定		**ソフトメニュー**	ディスクに入っているメニューの言語が何カ国語にも対応しているものでは、その中から選べます。	**日本語**	**ディスクにより選択可**
初期設定	言語設定	**基本音声**	ディスクに入っている多くの言語の音声のうち、通常はどの言語の音声にするか選んでおくことができます。再生中に音声言語を変えた場合でも、ディスクを交換したときは、この設定で選んだ言語になります。	**日本語**	**136 種類の言語から 1 つ選べます。（設定方法は次ページに書かれています。）**
初期設定	言語設定	**基本字幕**	ディスクに入っている字幕のうち、通常表示する字幕の言語を選んでおくことができます。再生中に字幕言語を変えた場合でも、ディスクを交換したときは、この設定で選んだ言語になります。	**日本語**	**136 種類の言語から 1 つ選べます。（設定方法は次ページに書かれています。）**
初期設定	言語設定	**オート**	オン　基本音声と基本字幕を同じ言語（日本語）に合わせてください。 基本音声と基本字幕が違っているときは オートは使用できません。 例えば一般的なディスクの外国映画では、オリジナル音声、日本語字幕が自動的に選択されます。 日本映画ではオリジナル音声（日本語）が選択され、字幕は出ません。 ・ ディスクによっては例のように動作しないことがあります。 ・ 再生途中で、「音声言語を選ぶ」（51 ページ）、「字幕言語を選ぶ」（52 ページ）で、変更することもできます。 オフ　基本字幕、基本音声の設定どうりになります。	**オン**	**オフ**
初期設定	言語設定	**字幕オフ時**	字幕を非表示（オフ）にしたときのディスクが強制的に表示する字幕を設定できます。 音声連動：選んだ音声の言語になります。 選択字幕：選んだ字幕の言語になります。	**選択字幕**	**音声連動**
初期設定		**マルチアスペクト**	ワイドモードで記録されたソフトを見るときに、お使いのテレビに合わせて映像の縦横比を切り換えられます。	**ワイド**	**パンスキャン** / **レターボックス**
初期設定		**クイックターン**	LD 再生時の A 面から B 面、B 面から A 面への切り換えの時間を短くします。リメイン、トータルの時間表示はできなくなります。	**オフ**	**オン**
初期設定		**グラフィックス（CD、LD）**	LD グラフィックス、CD グラフィックスを使用して、表示位置、グラフィックチャンネルの設定を行うことができます。	設定のしかたは、48、49 ページを参照して下さい。	
出力設定		**デジタル出力**	この製品の光デジタル出力端子とデジタル出力［同軸］の PCM/□□ から出力する音声を変更できます。DVD では、ドルビーデジタル音声（映画館などで使用されている立体的な音声）とリニア PCM（CD でおなじみのデジタル音声）2 通りの規格があります。	**PCM/DOLBY DIGITAL** 音声信号に対応し、ドルビーデジタルかリニア PCM かを自動選択します。 ドルビーデジタル（AC-3）デコーダーを搭載したアンプを使用するとき	**PCM** ドルビーデジタルでもリニア PCM に対してでもリニア PCM 規格で出力します。通常のアンプやドルビープロロジックアンプを使用するとき
出力設定		**ダウンサンプル**	96kHz：オーディオがサンプリング周波数 96kHz の PCM のときに、96kHz の高音質で再生することができます。ただしカラオケファンクション時および外部入力ファンクションの時は 48kHz に圧縮して再生します。サンプリング周波数 48kHz のときに、そのまま 48kHz での再生になります。 48kHz：サンプリング周波数が 96kHz のディスクでも、48kHz に圧縮して再生します。48kHz は、そのまま 48kHz になります。 ・ ディスクに記録されているオーディオのサンプリング周波数をお好みに合わせて選択できます。 選択に合わせてアナログ出力／デジタル出力とも同時に切り換わります。 ・ DVDフォーマット上、コピープロテクトのかかったディスクが存在します。この場合、96kHz 選択時、デジタル出力からは信号が出ません。 デジタル出力を通して再生したい場合はメニューで48kHzを選択してください。	**96kHz**	**48kHz**

設定を変更したものを購入時の設定に戻す（初期化）には…
電源が入っている場合は、一度電源を切ります。電源が切ってある状態で本体の

ボタンを押しながら 電源 スタンバイ／入 ボタンを押します。
記憶させた内容はすべて消えてしまいます。

基本音声、基本字幕の設定のしかた

基本音声

リモコンの◀または▶でも設定の変更ができます。

下記の言語コード表の入力コード（上位）、（下位）をご覧になり、設定する言語に該当する数字をリモコンの数字ボタンで設定します。

基本字幕

リモコンの▲または▼を押すと点滅します。このとき▶または◀で表示（オン）、表示しない（オフ）を選ぶことができます。

ディスクによっては耳の不自由な方などのために、場面の状況を解説した字幕が記録されているものがあります。「アシスト字幕」をオンにすると、最初この字幕を優先して表示します。

言語コード表

言語	言語コード	入力コード（上位）	入力コード（下位）
Japanese	ja	10	01
English	en	05	14
French	fr	06	18
German	de	04	05
Italian	it	05	19
Spanish	es	09	20
Dutch	nl	14	12
Russian	ru	18	21
Chinese	zh	26	08
Korean	ko	11	15
Greek	el	05	12
Afar	aa	01	01
Abkhazian	ab	01	02
Afrikaans	af	01	06
Amharic	am	01	13
Arabic	ar	01	18
Assamese	as	01	19
Aymara	ay	01	25
Azerbaijani	az	01	26
Bashkir	ba	02	01
Belorussian	be	02	05

言語	言語コード	入力コード（上位）	入力コード（下位）
Bulgarian	bg	02	07
Bihari	bh	02	08
Bislama	bi	02	09
Bengali, Bangla	bn	02	14
Tibetan	bo	02	15
Breton	br	02	18
Catalan	ca	03	01
Corsican	co	03	15
Czech	cs	03	19
Welsh	cy	03	25
Danish	da	04	01
Bhutani	dz	04	26
Esperanto	eo	05	15
Estonian	et	05	20
Basque	eu	05	21
Persian	fa	06	01
Finnish	fi	06	09
Fiji	fj	06	10
Faroese	fo	06	15
Frisian	fy	06	25
Irish	ga	07	01

言語	言語ｺｰﾄﾞ	入力ｺｰﾄﾞ（上位）	入力ｺｰﾄﾞ（下位）
Scottish Gaelic	gd	07	04
Galician	gl	07	12
Guarani	gn	07	14
Gujarati	gu	07	21
Hausa	ha	08	01
Hindi	hi	08	09
Croatian	hr	08	18
Hungarian	hu	08	21
Armenian	hy	08	25
Interlingua	ia	09	01
Interlingue	ie	09	05
Inupiak	ik	09	11
Indonesian	in	09	14
Icelandic	is	09	19
Hebrew	iw	09	23
Yiddish	ji	10	09
Javanese	jw	10	23
Georgian	ka	11	01
Kazakh	kk	11	11
Greenlandic	kl	11	12
Cambodian	km	11	13
Kannada	kn	11	14
Kashmiri	ks	11	19
Kurdish	ku	11	21
Kirghiz	ky	11	25
Latin	la	12	01
Lingala	ln	12	14
Laotian	lo	12	15
Lithuanian	lt	12	20
Latvian, Lettish	lv	12	22
Malagasy	mg	13	07
Maori	mi	13	09
Macedonian	mk	13	11
Malayalam	ml	13	12
Mongolian	mn	13	14
Moldavian	mo	13	15
Marathi	mr	13	18
Malay	ms	13	19
Maltese	mt	13	20
Burmese	my	13	25
Nauru	na	14	01
Nepali	ne	14	05
Norwegian	no	14	15
Occitan	oc	15	03
(Afan) Oromo	om	15	13
Oriya	or	15	18
Panjabi	pa	16	01

言語	言語ｺｰﾄﾞ	入力ｺｰﾄﾞ（上位）	入力ｺｰﾄﾞ（下位）
Polish	pl	16	12
Pashto, Pushto	ps	16	19
Portuguese	pt	16	20
Quechua	qu	17	21
Rhaeto-Romance	rm	18	13
Kirundi	rn	18	14
Rumanian	ro	18	15
Kinyarwanda	rw	18	23
Sanskrit	sa	19	01
Sindhi	sd	19	04
Sango	sg	19	07
Serbo-Croatian	sh	19	08
Singhalese	si	19	09
Slovak	sk	19	11
Slovenian	sl	19	12
Samoan	sm	19	13
Shona	sn	19	14
Somali	so	19	15
Albanian	sq	19	17
Serbian	sr	19	18
Siswati	ss	19	19
Sesotho	st	19	20
Sundanese	su	19	21
Swedish	sv	19	22
Swahili	sw	19	23
Tamil	ta	20	01
Telugu	te	20	05
Tajik	tg	20	07
Thai	th	20	08
Tigrinya	ti	20	09
Turkmen	tk	20	11
Tagalog	tl	20	12
Setswana	tn	20	14
Tongan	to	20	15
Turkish	tr	20	18
Tsonga	ts	20	19
Tartar	tt	20	20
Twi	tw	20	23
Ukrainian	uk	21	11
Urdu	ur	21	18
Uzbek	uz	21	26
Vietnamese	vi	22	09
Volapuk	vo	22	15
Wolof	wo	23	15
Xhosa	xh	24	08
Yoruba	yo	25	15
Zulu	zu	26	21

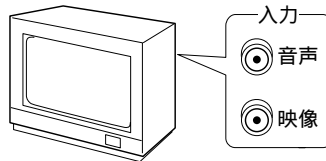
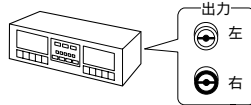
準備

その他

接続のしかた

本機の接続に関する注意

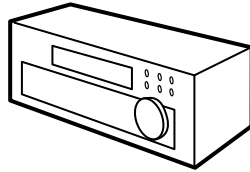
この製品はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによっては、コピー禁止信号が入っているものがあり、この製品をVTRを通してテレビに接続したりVTRで録画や再生をすると、コピーガードシステムにより正常な再生画像が得られない場合があります。TVに直接つなげるかA/Vアンプを通して接続してください。

お手持ちのテレビに合わせて下記より選んでください。

接続例 1 **映像入力のあるテレビ**	 	テレビに映像入力があり、この端子が空いていれば、この接続方法がもっとも簡単です。 テレビ（モニターテレビ）の取扱説明書も合わせてご覧ください。
外部入力にカセットデッキ等を接続する場合	 	外部入力端子へ他の機器をつないでカラオケを楽しむときにこのように接続してください。

注意！
★のケーブルは別売りのコードをご利用ください。

★オーディオコード
白
赤
外部入力
S2映像出力
★Sビデオケーブル
映像出力
デジタル出力
音声出力
アッテネータ
コントロール
黄 黄 赤 白
出力
左
右
白
赤
ステレオカセットデッキ
付属のオーディオコード
★オーディオコード
黄 黄 白 赤
映像入力 音声入力
映像入力 左 右 音声入力
Sビデオケーブル
S映像
モノラルテレビのとき
ステレオテレビまたはS映像入力端子のあるステレオテレビのとき

最後に家庭用コンセントへつないでください。

●端子の色（白、赤、黄）とプラグの色を合わせて接続します。
●S映像入力のテレビは、この製品のS2映像出力を接続してください。
●接続するテレビ（モニターテレビ）の取扱説明書も合わせてご覧ください。
●映像入力が複数あるテレビの場合、画面の選択をしてください。（ビデオ1、ビデオ2など）

接続例 2
ドルビーデジタル（AC-3）用のデジタル入力と RF 入力が同じファンクションに入力できる AV アンプ

ドルビーデジタル（AC-3）入力のあるアンプに接続する場合です。

※当社の AV デジタルサラウンドアンプ VSA-D7、VSA-D9TX（平成 10 年 3 月発売予定）と組合せる時はこの接続を行ってください。

●本機のデジタル出力 PCM/DD 端子をドルビーデジタル対応アンプのドルビーデジタル（AC-3）入力端子へ接続します。同軸デジタル出力を使用するか光出力を使用するかはアンプの入力端子によって選択してください。

●本機の DDRF 出力（LD 用）端子をドルビーデジタル対応アンプの AC-3RF 入力端子へ接続します。

●**73 ページの「デジタル出力」を設定する操作で、必ず PCM/DOLBY DIGITAL に設定してください。**(工場出荷時は PCM/DOLBY DIGITAL になっています。)

●LD のアナログオーディオはデジタル出力されませんので、本機の音声出力端子とアンプの音声入力端子も接続してください。

★Sビデオケーブル

※どちらか一方を接続していただければ結構です。

付属のビデオコード

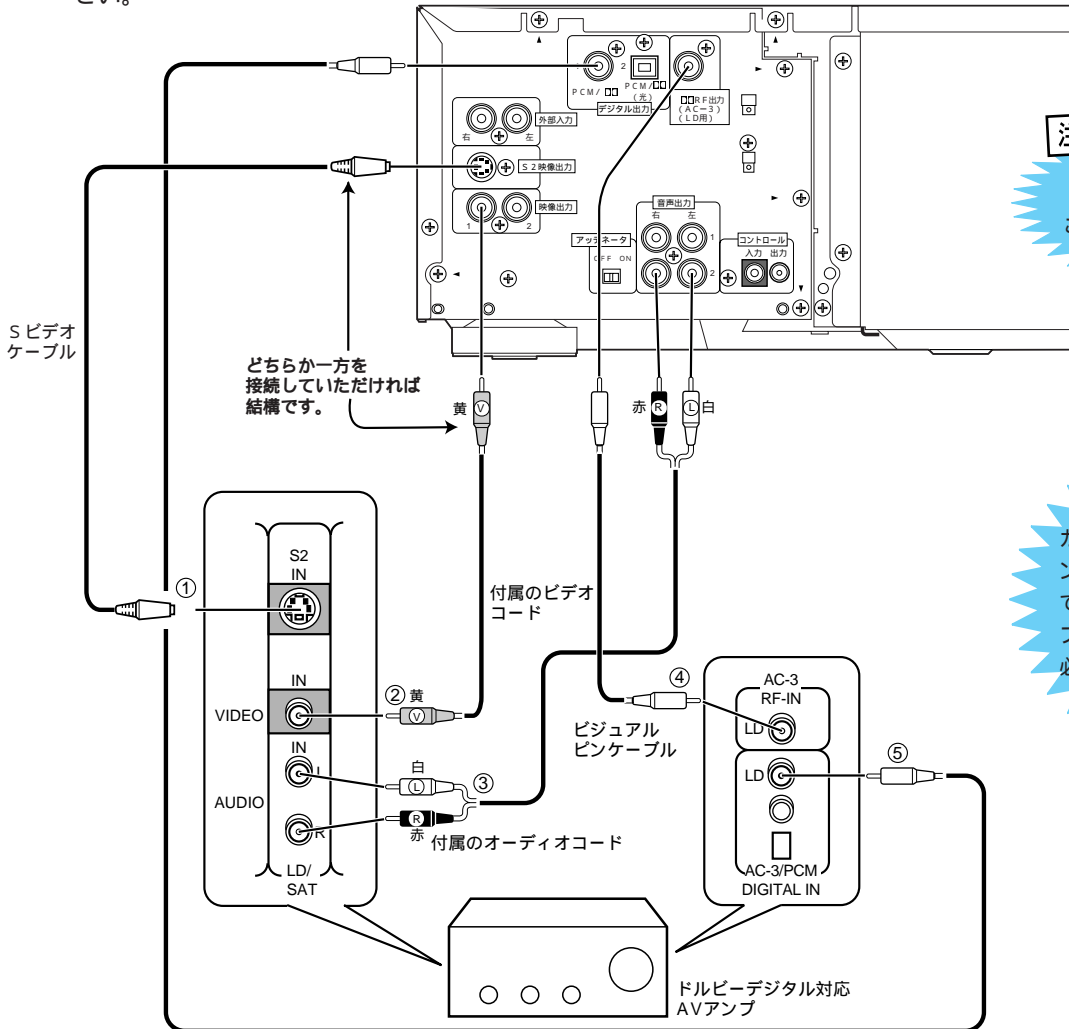
★ビジュアルピンケーブル

付属のオーディオコード

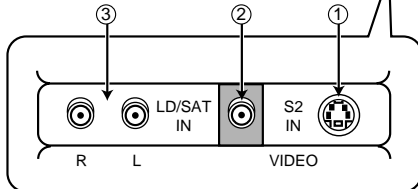
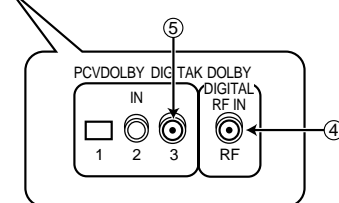
ドルビーデジタル対応AVアンプ

VSA-D9TXの場合は、端子の配置が異なりますので①～⑤を下の絵の端子につないでください。

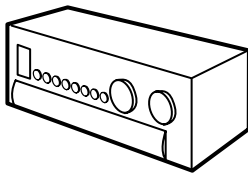
★ビジュアルピンケーブル

注意！

★のケーブルは市販のケーブルをご用意ください。

注意！

カラオケ音声（マイクの声、キーコン等）はデジタル出力されませんので、この製品の音声出力端子とアンプの音声入力端子（AUDIO IN）も必ず接続してください。

本機のディスク再生を行うときはアンプのファンクション切換で、本機を接続した入力端子を選んでください。当社の AV サラウンドアンプ VSA-D7、VSA-D9TX では LD/SAT にしてください。

基本操作 応用操作 カラオケ設定 いろいろな設定 準備 その他

接続例 3 **ドルビーデジタル（AC-3）用のデジタル入力と RF 入力が異なるファンクション入力となる AV アンプ**		ドルビーデジタル（AC-3）入力のあるアンプに接続する場合です。

※当社の AV デジタルサラウンドアンプ VSX-09 と組合せる時はこの接続を行ってください。

●本機のデジタル出力PCM/DD端子をドルビーデジタル対応アンプのドルビーデジタル（AC-3）入力端子へ接続します。同軸デジタル出力を使用するか光出力を使用するかはアンプの入力端子によって選択してください。

●本機の DDRF 出力（LD 用）端子をドルビーデジタル対応アンプの AC-3 RF 入力端子へ接続します。

●**73 ページの「デジタル出力」を設定する操作で、必ず PCM/DOLBY DIGITALに設定してください。**（工場出荷時はPCM/DOLBY DIGITAL になっています。）

●LDのアナログオーディオはデジタル出力されませんので、本機の音声出力端子とアンプの音声入力端子も接続してください。

注意！

カラオケ音声（マイクの声、キーコン等）はデジタル出力されませんので、この製品の音声出力端子とアンプの音声入力端子（AUDIO IN）も必ず接続してください。

注意！

★のケーブルは市販のケーブルをご用意ください。

※どちらか一方を接続していただければ結構です。

★ビジュアルケーブル

付属のビデオコード

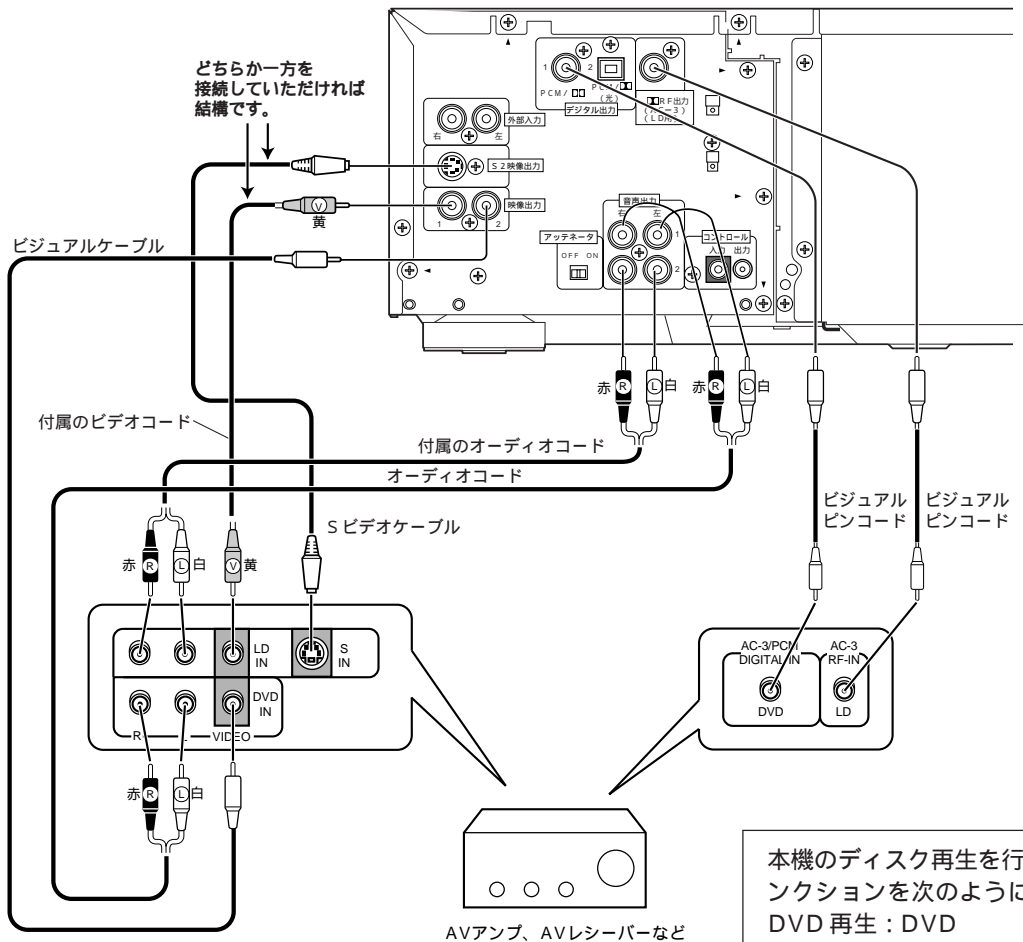
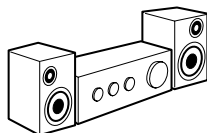
付属のオーディオコード

★オーディオコード

★Sビデオケーブル

★ビジュアルピンコード

★ビジュアルピンコード

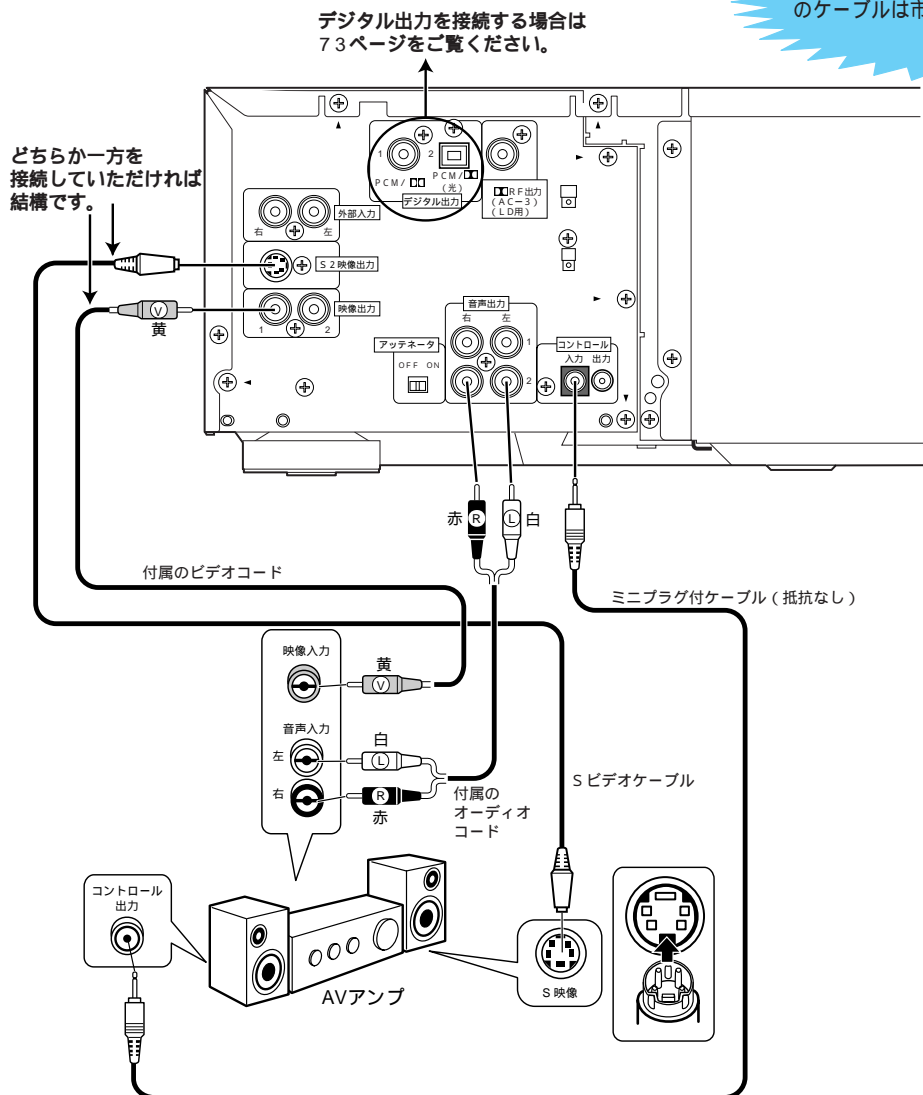
AVアンプ、AVレシーバーなど

本機のディスク再生を行うときはアンプのファンクションを次のように選択してください。
DVD 再生：DVD
LD、など他の再生可能ディスク：LD

接続例 4 AV アンプ		通常の AV アンプやステレオアンプに接続すると、ディスクの音量をより良い音質で再生することができます。

- 本機の音声出力端子とアンプの CD、LD、AUX などの音声入力端子を接続します。（PHONO 端子には接続しないでください）
- 本機の映像出力端子とアンプの映像入力端子を接続します。
- デジタル出力を接続する場合には、73 ページを必ず参照してください。

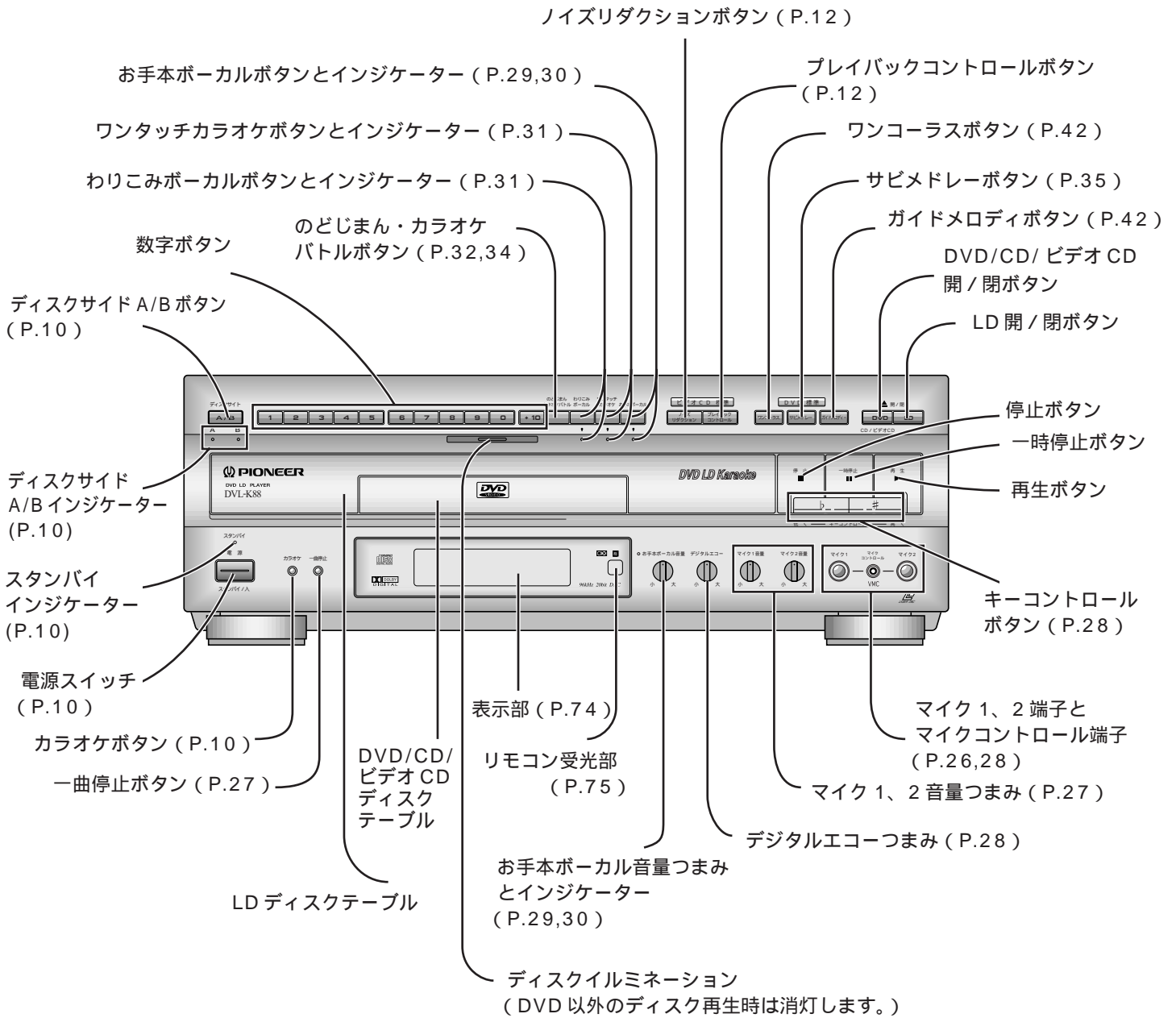
●パイオニアの SR マーク付きの機器と接続する場合は

市販のミニプラグ付きケーブル（抵抗なし）を使って、本機のコントロール入力端子と SR マーク付きの機器のコントロール出力端子を接続すると、システムとして本機もコントロールできます。

- システムコントロール接続をすると、本機に向けてリモコンで直接操作することはできません。
- システムとしてコントロールする場合は、デジタル機器しか使用しない場合でも、必ずアンプと本機をオーディオケーブルで接続してください。（ミニプラグ付きケーブルだけの接続ではシステムコントロールできません。）
- ドルビープロロジックデコーダーを搭載したアンプではサラウンドを楽しむことができます。
- 詳しくは接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

注意！
★のケーブルは市販のケーブルをご用意ください。

各部の名称

■ 前面部

（P. ）は、説明のあるページです。

■ 後面部

デジタル出力端子〔同軸・光〕
DVD、CD、ビデオCD、デジタル音声付きLDのデジタル音声をデジタル出力します。
デジタル出力端子は組み合わせる機器により、ノイズを発生する場合があります。

出力はPCM/DDとPCM専用に切り換えられます。お手持ちのアンプがドルビーデジタル（AC-3）に対応していない場合は、出力をPCM専用に切り換える必要があります。（右表参照）

お手持ちのアンプ			
	通常のAVアンプ	同軸	PCM/DD端子を接続し、メニューでPCMに設定してください。
		光	光出力を接続しメニューでPCMに設定してください。
	ドルビーデジタル(AC-3)対応アンプ	同軸	PCM/DD端子を接続し、メニューでPCM/DOLBY DIGITALに設定してください。
		光	光出力を接続しメニューでPCM/DOLBY DIGITALに設定してください。

注意！
カラオケ音声（マイクの声、キーコン等）は、デジタル出力されませんので、この製品の音声出力端子とアンプの音声入力端子（AUDIO IN）も必ず接続してください。

設定のしかた

① **アンプのボリュームをしぼる（MIN にする）。**

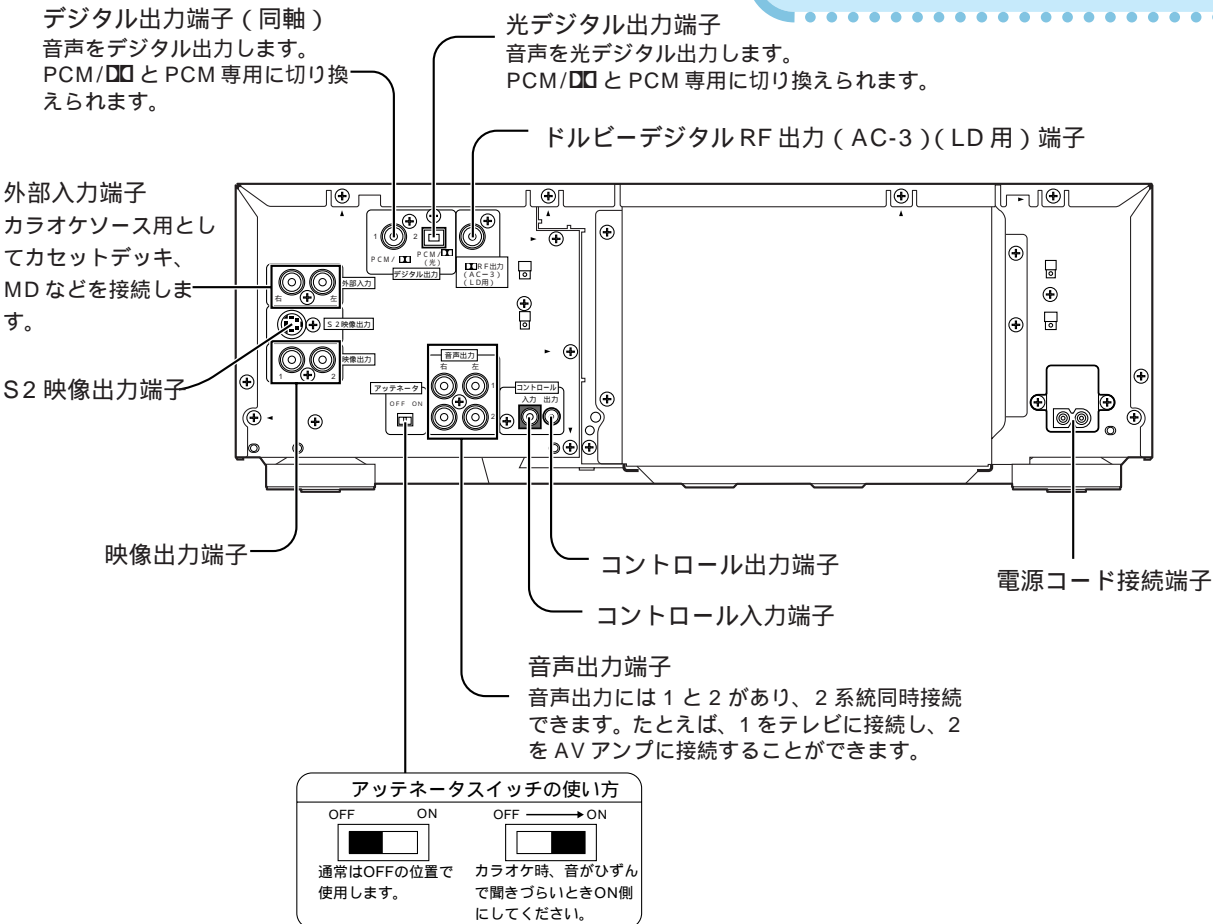
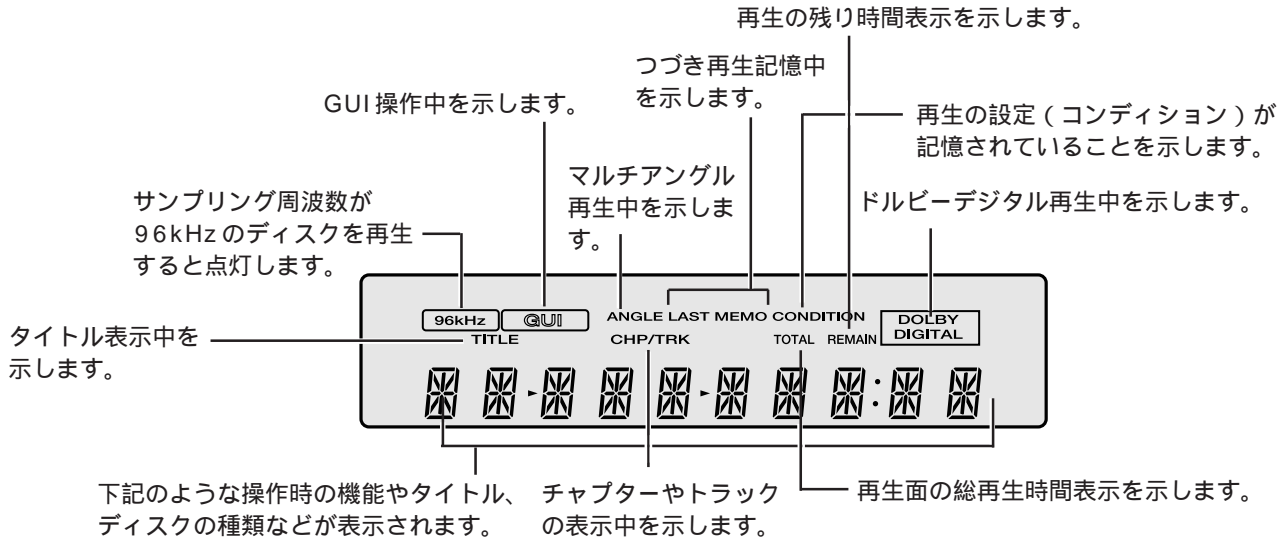
② **本体に DVD ディスクを入れ停止状態としリモコンの（メニュー MENU）を押す。**

・メインメニューが表示されます。

③ **リモコンの▼で 出力設定 を選ぶ。**

④ **リモコンの数字ボタン①を押し、デジタル出力 を選ぶ。**

⑤ **リモコンの数字ボタン②を押し、PCM を選ぶ。**

ポイント
PCM専用にすると ..... ドルビーデジタル（AC-3）に対応していない通常のアンプへデジタル出力するために、ドルビーデジタルで記録されている音声でもPCMに変換して出力します。
PCM/DOLBY DIGITALにすると ...... PCM音声はPCMで、ドルビーデジタル音声はドルビーデジタルで出力します。

表示窓

L D: レーザーディスク

C D: コンパクトディスク

C D V: ビデオ付きコンパクトディスク

D V D: DVD

V C D: ビデオ CD

O P E N: ディスクテーブルを開く準備中

C L O S E: ディスクテーブルを閉じる動作中

P G M: プログラム再生

R _ T R K: トラックのくり返し

R _ A: 2 点間くり返しの初めの点

R _ A B: 2 点間くり返し

R _ T T L: タイトルのくり返し

R _ C H P: チャプターのくり返し

R _ S I D: LD の両面のくり返し

S T E R E O: ステレオ

P B C P L A Y: ビデオ CD の PBC（プレイバックコントロール）再生時

P L A Y: 再生開始

S T O P: 再生停止

P A U S E: 一時停止

N O D I S C: ディスク無し

-- O F F --: 電源が切れる

M E N U: メニュー状態

T I T L E: タイトルメニュー時

S U B -- T I T L E: サブタイトルメニュー時

S E T U P: セットアップメニュー時

A U D I O: オーディオメニュー時

A N G L E: アングルメニュー時

A U X: 外部入力ファンクション時

C O N D -- M E M: コンディションメモリー

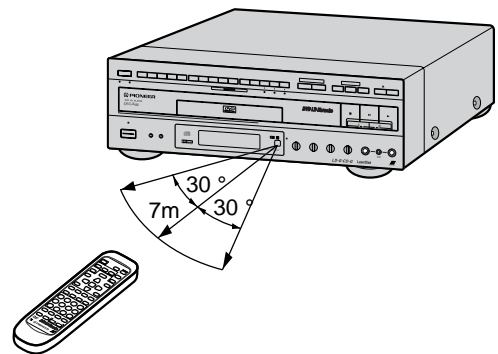
L A S T -- M E M: ラストメモリー

リモコン

- メニュー（MENU）ボタン
- 字幕ボタン（P.19、52）
- 電源ボタン
- 音声切換ボタン（P.51）
- つづき再生ボタン（P.16）
- タイトル／曲ボタン（P.20）
- メニュー操作ボタン
  - 方向ボタン
  - 実行（ENTER）ボタン
  - 次ボタン（►►|）
  - 前ボタン（|◄◄）
- 早戻しボタン（◄◄）
- 一時停止ボタン（II）
- チャプター／タイムボタン（P.21）
- 停止ボタン（■）
- ガイドメロディボタン（P.42）
- モードボタン（P.46）
- お手本ボーカルボタン（P.29、30）
- わりこみボーカルボタン（P.31）
- アングルボタン（P.52）
- ディスクサイド A/B ボタン（P.10）
- 開 / 閉ボタン（▲）
- 画面表示ボタン（P.53）
- プレイバックコントロールボタン（P.12）
- リターンボタン（↶）
- 再生ボタン（►）
- 早送りボタン（►►）
- リピートボタン（P.22）
- ２点間リピートボタン（P.22）
- 取消ボタン（C）
- 数字ボタン（1〜9，0，+10）
- 予約ボタン（P.38、39）
- おはこボタン（P.40）
- キーコントロールボタン（♭、#）（P.28）

リモコンの操作

リモコンはプレーヤー本体前面部のリモコン受光部に向けて操作します。プレーヤーからリモコンの距離は７m以内、またリモコン受光部を基準にして左右30°までの範囲で操作できます。

- ●リモコン受光部に直射日光や蛍光灯などの強い光が当たると、誤動作することがあります。
- ●背面のコントロール入力端子が他の機器に接続されている場合は、その機器のリモコン受光部に向けて操作してください。本機に向けては操作できません。（71ページ参照）
- ●リモコンで操作するときは、電源ボタンを押して電源を入れてから操作してください。

故障？ちょっと調べてください

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、プレーヤー以外の原因も考えられます。ご使用のテレビやステレオコンポーネント、および同時に使用している電気器具も合わせてお調べください。下記の項目をチェックしても直らない場合はお買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

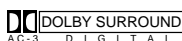
	症　状	考えられる原因	参照ページ
操作	1. ディスクテーブルを閉めても出てきてしまう。	●ディスクが極端に汚れている。 ●ディスクがディスクテーブルに正しくセットされていない。 ●リージョン No. が違っている。 ●プレーヤーの内部が結露している。	7 ページ 10、11 ページ 79 ページ 7 ページ
	2. 再生できない	● PAL 方式や SECAM 方式のディスクは再生できません。	8 ページ
	3. DVD 再生中に画像が乱れる	●このプレーヤーはアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。 ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクを再生した場合、ＴＶによっては一部画像に横縞が入る等の症状がでるものもありますが、故障ではありません。	68 ページ
	4. DVD の映像をＶＴＲに録画したり、VTRを通して再生すると再生画像が乱れる	●このプレーヤーはアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。 ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクをＶＴＲを通して再生したり、VTRに録画して再生するとコピーガードシステムにより正常に再生されません。	68 ページ
	5. プレイバックコントロール付きビデオ CD を再生してもメニュー画面がでない。高精細静止画がでない。	●プレイバックコントロールが“オフ（切）”になっている。	12 ページ
	6. マークが画面に出る。	●ディスク自体が禁止している操作です。	
	7. 画面が止まり、操作ボタンを受け付けない。	●一度停止（停止（■）ボタンを押す）してから、もう一度再生してください。	
リモートコントロール	8. リモコンで操作できない。	●背面パネルのコントロール入力端子を使用している。 ●プレーヤーと離れすぎている。または、リモコン受光部との角度がありすぎる。 ●電池が消耗している。	71 ページ 75 ページ
	9. テレビなどが誤動作する。	●ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、この製品のリモコン操作により誤動作するものがある。	

	症　状	考えられる原因	参照ページ
音声	10. 音が出ない。音が歪む。	●接続プラグの差し込みかたが不十分、または外れている。 ●接続プラグや端子が汚れている。 ●音声ケーブルの接続が間違っている。 ●ステレオアンプの操作が間違っている。(とくに、入力の選択が正しくされているか（CD、LD 等）確認してください。) ●ステレオアンプの PHONO 入力端子と接続している。 ●一時停止になっている。 ●デジタル出力の設定が 96kHz になっている。ディスクによってはデジタル出力を禁止しているものがあります。	68〜71 ページ
	11. DVD、CD、ビデオ CD の音が小さくなる。	●カラオケモードでは DVD、CD、ビデオ CD のアナログ音声を小さくしています。	11 ページ
	12. DVD の音が小さい。	●DVD の音が他のディスクより小さく聞こえることがありますが、ディスクの記録方式の違いによるもので、故障ではありません。	
カラオケ操作	13. お手本ボーカル音量が小さい。	●お手本ボーカルのつまみが小になっている。	29、30 ページ
	14. コントロール付きマイクでキーコントロールや、ワンスモアができない。	●マイクコントロール端子を接続していない。	28 ページ
	15. 音多ディスクを再生しても歌手の歌がでない。	●ワンタッチカラオケがオンになっている。 ●お手本ボーカルのつまみが小になっている。	31 ページ
	16.「キーン」という音がする。	●マイクがスピーカーに近すぎてハウリングを起こしている。	27 ページ
	17. 画面選曲ができない。	●カラオケボタンが“ カラオケ ”になっていない。	36 ページ
	18. サビメドレー及びワンコーラス機能が働かない。	● DVD カラオケディスクのみの機能です。サビ、コーラス マークのついたディスクでお楽しみいただけます。(CD、ビデオ CD 等では働きません。)	35、42 ページ
	19. 自動的に“ 選曲してください（画面）” になってしまう。	●カラオケモードになっている。	27 ページ
	20. キーコントロールなどのカラオケ関連のボタンがきかない。	●再生中にメニューを開いている時はリモートコントロールのカラオケ関連のボタンは働きません。(選曲、予約関連ボタンのみ働きます。)	28 ページ
	21. プレイバックコントロール付きビデオ CD で予約できない。	●プレイバックコントロールがオフ（切）になっていない。	39 ページ
	22. カラオケ操作ができない。	●映画 / 音楽ファンクションになっている。本体のカラオケボタンを押して、カラオケファンクションにしてください。	26 ページ
	23. マイクの声が出ない。	●デジタル入力付アンプで音声出力端子を接続していない。	69、70 ページ

ご注意：
静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

用語

Dolby Digital（ドルビー デジタル）（AC-3）＊
ドルビーデジタル（AC-3）は最大 5.1 チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。このシステムは映画館にサラウンドシステムとして装備されているドルビーデジタルと同一のシステムです。

DOLBY SURROUND AC-3 DIGITAL　または　DOLBY DIGITAL

ドルビーデジタル（AC-3）ディスクを楽しむには、DVD では本機のデジタル出力 PCM/DD 端子（同軸または光どちらでも可）をアンプやプロセッサーのデジタル入力 AC-3 / PCM 端子へ接続することが必要です。LD では本機の AC-3 RF出力端子をアンプやプロセッサーのAC-3 RF入力へ接続することが必要です。

PCM
Pulse Code Modulationの略でデジタル音声のことをいいます。CD や LD、DVD のデジタル音声が PCM です。

タイトルナンバー
映画などでいうタイトルのことです。DVD は大容量なので、1 枚のディスクに複数の映画を記録することができます。たとえば、異なる 3 つの映画が記録されていますと、タイトル 1、タイトル 2、タイトル 3 に分けられます。タイトルナンバーを選んで再生する操作ができます。

チャプターナンバー
ディスクのタイトル内をいくつかのセクションで区切り、番号付けしたナンバーです。本の“章”番号に相当します。このチャプターナンバーが記録されていれば希望のセクションを素早く見つけるチャプターサーチなどの操作ができます。

フレームナンバー
標準ディスク CAV のすべての画面（フレーム）ごとに記録された番号です。希望のシーンをこのフレームナンバーで探すフレームサーチなどの操作ができます。

タイムナンバー
ディスクのタイトル内の最初からの再生経過時間です。希望のシーンをタイムナンバーで探すタイムナンバーサーチなどの操作ができます。

サラウンド
“…を取り巻く、囲む”といった意味です。臨場感や広がり感のあるカラオケを楽しめます。

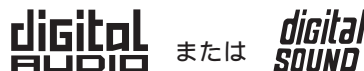
エコー
“反響”といった意味です。お風呂場で歌ったときのような声の響く効果のことです。

LD（レーザーディスク）
レーザーディスクには、信号の記録方式により標準ディスク（CAV）と長時間ディスク（CLV）があります。

CAV
ディスクのジャケット、またはレーベルに〔標準ディスク／CAV〕、または〔Standard（スタンダード） Play（プレイ）〕と表示されています。

CLV
ディスクのジャケット、またはレーベルに〔長時間ディスク／CLV〕、または〔Extended（イクステンド） Play（プレイ）〕と表示されています。

デジタル音声付きレーザーディスク
アナログ音声信号に加えて、デジタル音声信号も合わせて記録されたディスクです。レーザーディスクの高品質の映像とデジタルサウンドが同時に楽しめます。

digital AUDIO　または　digital SOUND

デジタル音声付きマルチオーディオディスク
デジタル音声、アナログ音声それぞれに異なった内容の音声が記録されています。

digital AUDIO と MULTI AUDIO または digital SOUND MULTI AUDIO

デジタル音声、アナログ音声を切り換えて、それぞれの音声をお楽しみいただけます。

グラフィックスディスク
映像や音声信号以外にサブコードというデータが記録されています。このデータにグラフィックスが記録されています。

LD グラフィックスディスク：サブコードに映画の台詞や歌の歌詞などが記録されています。

ディスクのジャケット、またはレーベルに右のマークが表示されています。

CD グラフィックスディスク：カラオケ用の歌詞やカラオケ演奏を盛り上げるグラフィックス（絵）などが記録されています。

ディスクのジャケット、またはレーベルに右のマークが表示されています。

GRAPHICS

＊ ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
ドルビー、DOLBY、AC-3、プロロジック及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

TOC
音声信号以外のTOC（Table Of Contents（テーブル オブ コンテンツ））という情報がディスクの始めの部分に記録されています。その名のように、本の目次に相当し、曲数や演奏時間の情報が入っています。
●LD ディスクにも TOC が記録されているものがあります。
●TOC 付き LD と CDV は、同じ「光学式デジタル音声付きビデオディスクシステム」の仲間です。

ビデオ CD
MD と同等の音質と VHS 並みの画質で動画再生が楽しめるディスクです。デジタル信号の圧縮技術（MPEG1方式）により最大74分のデジタル画像と音声が連続再生できます。ビデオCDにはメニュー画面で見たい場面を選んだり、静止画を再生できる“プレイバックコントロール（PBC）”対応のディスクがあります。

プレイバックコントロール(PBC)
ビデオ CD（バージョン 2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号です。
PBC 付きビデオ CD に記録されているメニュー画面を使って簡単な対話形式のソフトや検索機能のあるソフトの再生が楽しめます。
また高精細／標準の静止画も楽しむことができます。

高精細静止画
ビデオCDの中に高精細な静止画が入っている場合は、動画の4倍の解像度で静止画を楽しむことができます。

スクリーンセーバー
同じ静止画を長時間表示し続けると画面に焼きつき現象がでることがあります。
これを避けるための機能です。

マルチアングル
通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影し、その中の1つを番組のディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っているわけですが、すべてのカメラの画像が同時に送られて視聴者側で視点（カメラ）を選べれば、見たいところが見れるわけです。DVDには同時に複数のカメラで撮影したすべての画像が記録されているものがあり、プレーヤー側で視点を変えられるものがあります。これをマルチアングルディスクといいます。

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率をいいます。通常のテレビでは、4：3ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16：9の比率となっています。横に広がった臨場感溢れる映像が楽しめるようになっています。

パレンタルレベル
英語の綴りでは、PARENTAL（パレンタル）です。これは、PARENT（ペアレント）（親、両親）からきています。これから解るように、親が、子供に見せたくない映像に制限が付いているものです。

コンディションメモリー
コンディションとは、状態などをいいます。本機では、再生しているときのさまざまな状態を記録しておき、再び同じディスクを楽しむときに、再設定をせずに楽しめる機能です。

言語字幕
映画などでおなじみの字幕の言語です。DVDでは字幕の言語を最大32カ国分記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

リージョンNo.
DVD プレーヤーと DVD ディスクは発売地域ごとに再生可能地域番号（リージョン No.）が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。
この製品のリージョン No. は後面部に表記されています。
このプレーヤー（日本向け）の再生可能地域番号は2番です。

光デジタル出力
音声は通常、電気信号に変えて電線でプレーヤーからアンプなどの他の機器に伝達しますが、これを光ファイバーを使ったデジタル信号に変えて伝達できるようにしたものが光デジタル出力です。（アンプなどの受け取り側は光デジタル入力になります。）
この製品は光デジタル出力の設定を変更できます。
・PCM/DD：ドルビーデジタル（AC-3）デコーダを搭載したアンプのドルビーデジタル（AC-3）光入力端子と接続する場合に設定する。
・PCM：通常のアンプ、ドルビープロロジックアンプなどの光入力端子と接続する場合に設定する。

ダイナミックレンジ
ひずみ無く信号を伝送、変換する最大のレベルと雑音その他、機器の性質で制限される最小レベルの差をいいます。単位はデシベル（dB）を使います。

正しく、末永くお使いいただくために

■再生中は本機を絶対に動かさない

再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。

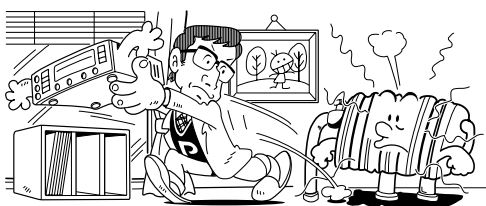
■この製品を移動する場合

この製品を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、**必ずディスクを取り出し、**開／閉（▲）ボタンを押して、ディスクテーブルを閉じてから、電源を「切」にし、表示窓の「OFF」が消え、スタンバイインジケーターが点灯してから電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると故障の原因になります。

■設置する場所

●組み合わせて使用するテレビやステレオシステムのそはの安定した場所を選んでください。
●テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

■次のような場所は避けてください

●直射日光のあたる所
●湿気の多い所や風通しの悪い場所
●極端に暑い所や寒い所
●振動のある所
●ほこりの多い所
●油煙、蒸気、熱などがあたる所（台所など）

■上に物をのせない

この製品の上にものをのせないでください。

■通気孔をふさがない

毛足の長い敷物やベッド、ソファーの上などで使用したり、プレーヤーを布などでくるんで使用しないでください。放熱を妨げ、故障の原因となります。

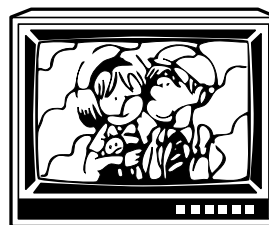
■熱を受けないように

アンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱をさけるため、アンプよりできるだけ下の棚（ホコリをかぶらない程度）に入れてください。

■ガラスドア付きラックに入れたときのご注意

ガラスドアを閉めたままリモコンの開 / 閉 （▲） ボタンを押して、ディスクテーブルを開けないでください。強い力でディスクテーブルの動きが妨げられると、故障の原因になります。

■この製品を使わないときは電源を切っておく

テレビ放送の電波状態により、この製品の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、この製品やテレビの故障ではありません。このようなときはこの製品の電源を切ってください。

DVD/LDプレーヤーの音声出力をTV、VTR等の音声入力に接続して使用する場合カラオケ等で機器のマイク入力に過大な信号が入ると、接続される機器によっては音声が歪む等の悪影響を与える恐れがあります。その際には、マイク音量設定レベルを下げるか、プレーヤー後面のアッテネータスイッチをオンの状態にしてご使用ください。（P.73）

製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

保証とアフターサービス

保証書（別添）
保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談は
お買い上げの販売店または、最寄りの当社サービスステーションをご利用ください。
所在地、電話番号は別添の「ご相談・修理窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるときは
76〜77ページに従って調べていただき、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または、お近くのパイオニアサービスステーションにご連絡下さい。

連絡していただきたい内容について：
- **品名　DVD LD プレーヤー**
- **品番　DVL-K88**
- **お買上げ日**
- **故障の状況「できるだけ具体的に」「ディスクのタイトル」**
- **ご住所　「付近の目印も合わせてお知らせください」**
- **お名前**
- **電話番号**
- **訪問ご希望日**

保証期間中は：
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。

保証期間が過ぎているときは：
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

仕様

一般
形式 .... DVD、LD、ビデオ CD およびコンパクトディスクデジタルオーディオシステム
電源 .... AC100V、50/60Hz
消費電力 43W
質量 8.6kg
外形寸法 .. 420（幅）× 466 ×（奥行）× 146（高さ）mm
許容動作温度 .... ＋ 5℃〜＋ 35℃
許容動作湿度 .... 5%〜85%（結露のないこと）

S2 映像出力
Y 出力レベル .... 1Vp-p（75 Ω）
C 出力レベル .... 286mVp-p（75 Ω）
出力端子 .... S 端子

映像出力< 2 系統>
出力レベル .... 1Vp-p（75 Ω負荷時、同期負）
出力端子 .... ピンジャック

音声出力< 2 系統>
出力レベル
　アナログ音声出力 .... 200mVrms（1KHz、40%）
　デジタル音声出力 .... 200mVrms（1KHz、－ 20dB）
チャンネル数 .... 2 チャンネル

デジタル音声特性（DVD　fs=48 kHz時）

周波数特性	4Hz〜22kHz (DVD) 4Hz〜20kHz (LD、CD)
SN 比	115dB（EIAJ）
ダイナミックレンジ	97dB （EIAJ）
ワウ・フラッター	測定限界（± 0.001%W.PEAK）以下 （EIAJ）

LD は EIAJ に準拠

その他の端子
光デジタル出力（PCM/DD（光））.......... 光コネクター
同軸デジタル出力（PCM/DD）.......... ピンジャック
コントロール入力／出力 .... ミニジャック（3.5 φ）
ドルビーデジタル RF 出力 .... ピンジャック
外部入力端子 .... ピンジャック

付属品
リモコンユニット 1
単 3 形乾電池（R6P）.......... 2
オーディオコード 1
ビデオコード 1
電源コード 1
取扱説明書、安全上のご注意、保証書、
ご相談窓口・修理窓口のご案内、
DVL-K88 の多彩なカラオケ機能 .... 各 1

●本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

お客様ご相談窓口（修理に関しては別添『ご相談窓口･修理窓口のご案内』）参照

お客様相談センター		●03－3491－8181		
技術相談窓口	◎札　幌	●011-644-4779	◎大　阪	●06-353-3705
	◎仙　台	●022-375-4417	◎広　島	●082-228-2239
	◎名古屋	●052-532-1141	◎福　岡	●092-441-8076

長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか

・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
・電源コードにさけめやひび割れがある。
・電気が入ったり切れたりする。
・本体から異常な音、熱、臭いがする。

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または当社サービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。

お客様メモ

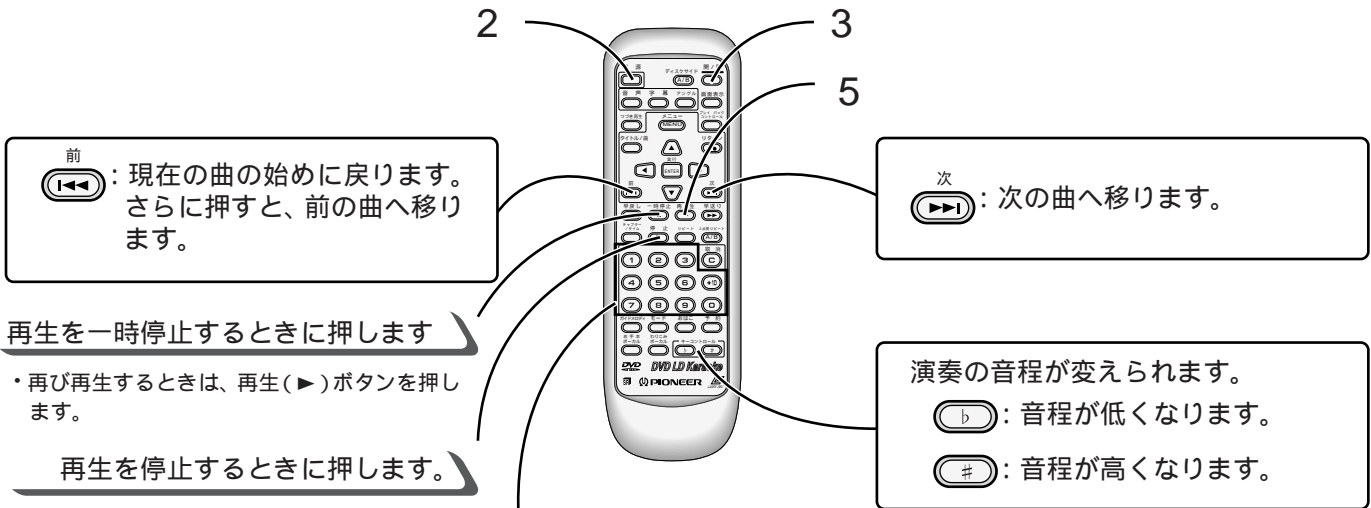
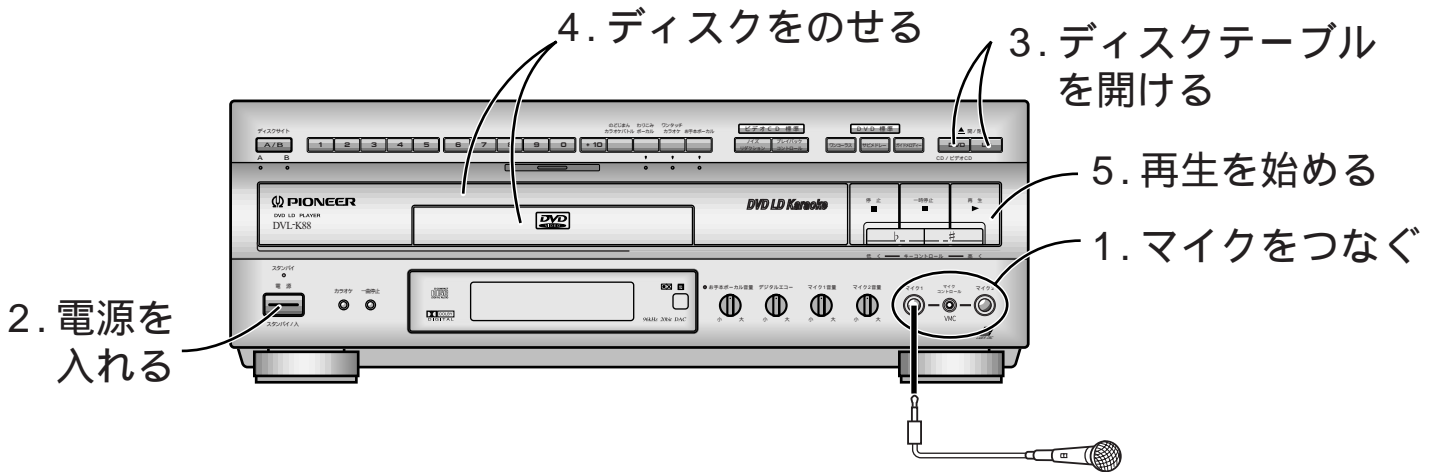
●おぼえのため記入されますと便利です。

ご購入店名	住所 電話番号	お近くのご相談窓口	住所 電話番号
ご購入年月日	年　　月　　日	型　番	この機種は DVL-K88 です

パレンタル暗証番号

●忘れたときの用心のために記入されますと安心です。

記入欄

カラオケ操作をしてみよう

DVD、ビデオ CD では、ディスクによってメニュー（選択画面）機能を持っているものがあります。これらのディスクをご使用になる場合は、ディスクの説明書の指示に従ってください。

LaserDisc レーザーディスクは、パイオニアの登録商標です。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

パイオニア 株式会社 〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<97J00FF0A01> <VRA1142-B>